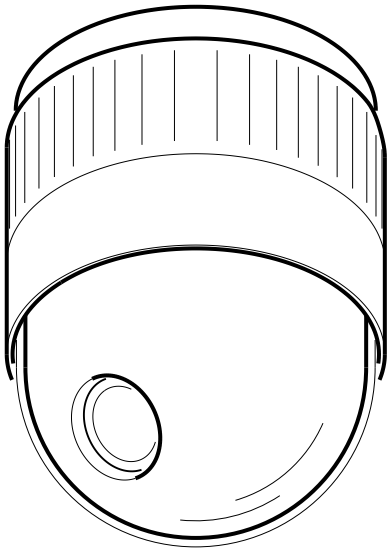
Victor
"HIS MASTER'S VOICE"

コンビネーションカメラ

型名 **TK-S655**

取扱説明書 (A)



お買い上げありがとうございます。
ご使用の前にこの**「取扱説明書」**と別冊の**「安全上のご注意」**をお読みのうえ、正しくお使いください。
特に**「安全上のご注意」**は必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときお読みください。

製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は本機に製造番号が正しく記されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているかお確かめください。

LWT0049-001F-H

目　次

はじめに

特長 4
添付物・付属品 4
安全上のご注意 5
正しくお使いいただくためのご注意 5
各部の名称とはたらき 7

接続・設置

RM-P2200 のシステム 9
RM-P2600 のシステム 10
RM-P2100 のシステム 11
RM-P2580 のシステム 12
スイッチの設定 13, 14
ケーブルの接続 15, 16
天井取付金具の取り付け 17
カメラの取り付け 17,18

RM-P2200 からカメラの設定を変える

設定方法 19
メニュー画面の流れ 20
カメラ機能画面 22
カメラタイトル／アラーム画面 23
カメラ ALC ／映像画面 24
ヤカンモード画面 26
オートパン／トレース画面 26
ポジション映像設定画面 27
オートパン／トレース映像設定画面 29
プライベートマスクの設定 31
カメラタイトルの設定 32
ホームポジションタイトルの設定 33
エリアタイトルの設定 34
リモコンアラームタイトルの設定 35
オートパンの設定 36
オートトレースの設定 37
オートホワイトバランス調整 38

RM-P2600 からカメラの設定を変える

設定方法 39
メニュー画面の流れ 40
カメラ機能画面 42
カメラタイトル／アラーム画面 43
カメラ ALC ／映像画面 44
ヤカンモード画面 46
オートパン／トレース画面 46
ポジション映像設定画面 47
オートパン／トレース映像設定画面 49
プライベートマスクの設定 51
カメラタイトルの設定 52
ホームポジションタイトルの設定 53
エリアタイトルの設定 54

リモコンアラームタイトルの設定 55
オートパンの設定 56
オートトレースの設定 57
オートホワイトバランス調整 58

RM-P2100（C）からカメラの設定を変える

設定方法 59
メニュー画面の流れ 60
カメラ機能画面 61
カメラタイトル／アラーム画面 62
カメラ映像画面 63
カメラ ALC/ExDR 画面 63
プライベートマスクの設定 66
カメラタイトルの設定 67
エリアタイトルの設定 68
リモコンアラームタイトルの設定 69

RM-P2580 からカメラの設定を変える

設定方法 70
メニュー画面の流れ 71
カメラ機能画面 72
カメラタイトル／アラーム画面 73
カメラ ALC ／映像画面 74
ヤカンモード画面 76
オートパン／パトロール／トレース画面 76
ポジション機能設定画面 77
データークリア画面 78
オートパン／パトロール／トレース映像設定画面 79
プライベートマスクの設定 81
カメラタイトルの設定 82
エリアタイトルの設定 83
リモコンアラームタイトルの設定 84
オートパンの設定 85
オートパトロールの設定 86
オートトレースの設定 87
ポジションタイトルの設定 88

その他

天井埋込ブラケット（WB-S575：別売）の取り付け方 89
天井埋込ブラケット（WB-S575：別売）のはずし方 91
間違った設定をした場合の表示について 92
故障かな？と思ったら 94
保証とアフターサービス 96
仕様 96

はじめに

特長

■ ワイドダイナミックレンジ搭載 DSP

照度差のある被写体でも鮮明に撮影することができます。

■ 昼夜監視可能

低照度時、IR フィルターの ON/OFF 切り換えにより自動的に高感度モード(白黒)に切り換えることができます。また赤外線照明器(波長 850 nm ～ 880 nm)にも対応しています。

■ プライベートマスキング機能搭載

撮影する場所に、映したくない場所がある場合、その部分を映さないよう設定することができます。

■ 簡易防水設計

簡易防水設計(JIS 防滴Ⅱ型)されており、軒下など直接水のかからない場所への設置が可能です。(屋外では使用できません)

■ 光学＋電子ズーム

25 倍光学ズームレンズ＋ 2 倍電子ズームにより細かな監視がおこなえます。

■ 高感度 CCD と明るいズームレンズの採用

従来当社比で 7 割近く感度を向上させた CCD の採用と、最大口径比 F1.6(WIDE 端)と明るいズームレンズの採用で、カラーモード 2.0 lx(AGC 20 dB, 50%)の高感度を実現しています。

■ 同軸多重／ビデオ信号出力の両システムに対応

SW-2200, RM-P2200, カメラコントロールユニット(CCU)を組み合わせた同軸多重システムに対応、またビデオ信号を直接カメラから出力することもできますので CCU を使用しないシステムを組むことも可能です。

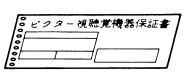
■ 高速回転台を装備

水平 300˚／秒、垂直 180˚／秒の高速回転台を装備していますので、あらかじめプリセットしたポジションをすばやく呼び出すことができます。

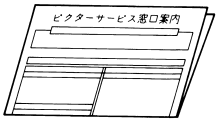
添付物・付属品



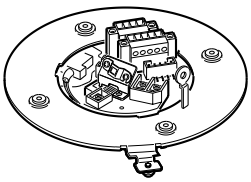
取扱説明書
(本紙)



保証書



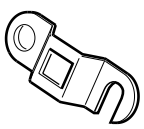
ビクターサービス窓口案内



天井取付金具



スクリュー
(M3×12 mm)
ケーブル取付金具使用時



ケーブル取付金具



スクリュー
(4ヶ)
(M4×12 mm)
天井埋込ブラケット使用時

安全上のご注意

⚠警告

十分な強度を持った場所に取り付ける

本機は高速回転をおこなうため、振動や本機質量（約2.4 kg）などを考慮し、十分な強度を持った場所に取り付けてください。化粧合板、石膏ボード、ブラスターボードなど、天井材質に強度が足りない場合は補強材（ベニヤ合板など）を当てて補強してください。補強が不十分な場合は、振動のためモニター上で画ブレが発生したり、最悪の場合落下し、下に人がいた場合、重大な事故となる危険があります。

専用の取付金具で正しく取り付ける

必ず専用の取付金具を使用してください。落下防止ワイヤーは必ず接続し、取付ネジやナットはきちんと締め付けてください。

正しい電源、電圧で使用する

本機の電源定格はAC24V 50 Hz/60 Hzです。定格を超えた電源を供給すると故障や最悪の場合発煙、発火のおそれがあります。

本機は、本機自身や接続ケーブルへの誘雷に対しある程度の対応はしておりますが、万全ではありません。落雷の被害が考えられる取付場所では、必ず接続ケーブルにアレスターを追加する等の対応をとってください。

⚠注意

本機を設置する場合は、専門技術が必要となりますので、販売店にご依頼ください。
取り付けネジやナットでの締め付けが不確実だと落下する恐れがありますので確実に締め付けてください。

定期的に点検してください。

取付部の劣化や振動によるネジのゆるみを定期的に点検し、落下の危険がないことを確認してください。

正しくお使いいただくためのご注意

消耗部品について

以下の部品は消耗部品であり寿命時間、回数を目安に交換が必要です。
寿命時間は目安であり、使用環境や使用条件により異なります。
消耗部品の交換は、保証期間内であっても有償となります。

- ズームレンズ組立
  - ズーム動作 200万動作
  - フォーカス動作..... 400万動作
- スリップリング 約500万動作
- 冷却ファン 約3万時間
- アラーム出力1用リレー 20万回

オートフォーカスについて

本機はワンプッシュオートフォーカス、EASY AFのオートフォーカス機能を備えていますが、被写体やカメラの設定ではピントが合わせられない場合があります。
この場合は、手動でピント合わせを行ってください。

オートフォーカスが合わせにくい被写体

- 画面の輝度が極端に高い（明るい）とき
- 画面の輝度が極端に低い（暗い）とき
- 画面の輝度が常に変化しているとき（点滅中のライトなど）
- コントラスト（明暗差）のほとんどないとき
- 画面上に繰り返しの縦縞パターンがあるとき

オートフォーカスが動作困難な設定

- AGCで感度アップし画面がザラついているとき
- 電子増減で画面の動きが少ないとき
- 電子ズーム中で十分な輪郭成分がないとき

RM-P2100リモートコントロールユニットの（B）バージョン:シリアルナンバーの下4桁が0450以前のセットではFOCUSボタンの同時押しによるワンプッシュオートフォーカスは設定できません。

設置上のお願い

- エアコンの吹き出し口近くや外気の入り込む扉付近など急激に温度の変化する所には設置しないでください。ドームカバーが曇ったり結露する場合があります。
- 湿度の高いときに本機の設置を行うと内部に湿気がたまり、ドームカバー内が曇ることがありますのでご注意ください。

正しくお使いいただくためのご注意

●節電のため使用しないときは、システムの電源を切ってください。

●本機は屋内用カメラです。屋外での使用はできません。

●本機は吊り下げ専用です。据え置きや傾けて使用すると正常に動作しなかったり、いちじるしく寿命が短くなる場合があります。

●次のような場所への設置およびご使用はできません。

・雨や水のかかる場所（本機の防水性はJIS保護等級で防滴Ⅱレベルです）
・厨房など蒸気や油分の多い場所
・使用周囲温度（－10℃～50℃）を超える場所
・放射線やX線及び強力な電波や磁気の発生する場所
・振動する場所
・ほこりの多い場所

●本機の放熱が不十分になると故障の原因となります。
本機周辺の通風を妨げないようにしてください。
本機は本体表面（天井面、側面）から放熱をおこなっています。壁の近くなど、熱がこもる場所に設置しないでください。

●エアコンの吹き出し口近くなど直接冷気の当たる所に設置しないでください。ドームカバー内部が結露することがあります。

●レンズを太陽などの強い光源に向けないでください。故障の原因となります。

●本機はAGC回路内蔵のため、暗い場所では自動的に感度が上がり、画面がザラついた感じになる場合がありますが、これは故障ではありません。

●AGCが動作中、トランシーバーなど強い磁気を発生する機器を本機の近くで使用すると、画像にビートなど発生することがあります。
トランシーバーなどを使用する場合は、本機から3m以上はなれてお使いください。

●オートアイリス時、AGC ONの場合アイリスコントロールボタンでアイリスを可変しても、感度アップ機能が働き画面の明るさの変化しないことがあります。この場合はAGCをOFFにするかアイリスをマニュアルにしてください。

●オートアイリス時、画面の明るさによっては、（十分な光量が得られないとき）アイリスコントロールボタンが働かないことがあります。この場合は、アイリスをマニュアルにしてください。

●本機をホワイトバランスATW（自動調整）で使用した時、自動追尾ホワイトバランス回路の原理上、実際の色と多少色合いが異なることがありますが、故障ではありません。

●高輝度の被写体（ランプなど）を撮影した時、画面上で高輝度の被写体の上下方向に白い尾引き現象が現われます。これは固体撮像素子特有の現象（スミア現象）で故障ではありません。

●本機は電子シャッターを出荷時1/60秒に設定しています。商用電源周波数50Hz地域で蛍光照明下ではリモートコントロールユニットで1/100秒に切り換えてご使用ください。（1/100秒の時、感度が少し下がります。）
ただし、ExDRモード項目をON設定時は、フリッカー（チラツキ）が消えない場合があります。

●リモートコントロールユニットとしてRM-P2100を使った場合、TK-S655のシャッタースピードを1/125に切り換えても実際のシャッタースピードは1/100となります。

●24時間連続して長期間同じポジションを監視する場合、水平回転部の接点抵抗の増加により映像にノイズが発生したり、リモートコントロールユニットからの操作が不安定になることが考えられます。そのため1週間に1回、システムの電源を再投入（カメラをイニシャル動作させる）し、接点のクリーニングをおこなってください。

●ドームカバーは、直接手で触れないでください。カバーが汚れると画質劣下の原因となります。

●ドームカバーは、半球形をしているため半球の端では像のゆがみが発生します。本機では半球の端をマスクしており、チルト方向で水平を映すと半球の端が画角に入るため、画面の上端が黒くなったり、ピントが甘くなることがあります。

●光源（照明など）の付近や輝度差のある被写体を撮影すると、画面上にゴーストが発生することがありますが、これはドームカバーと内蔵レンズの特性によるもので、故障ではありません。

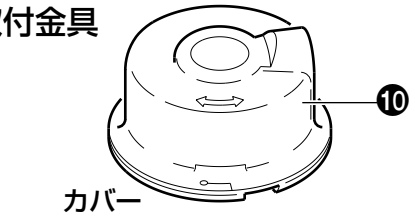
●お手入れは
・電源を切ってからおこなってください。
・ドームカバー部は、レンズふき用布（又は紙）を使用して汚れをふきとってください。使用環境によっては短期間で汚れが付着することがあります。
汚れがひどい場合は、中性洗剤を水にうすめレンズふき用布（又は紙）にしみ込ませふきとってください。

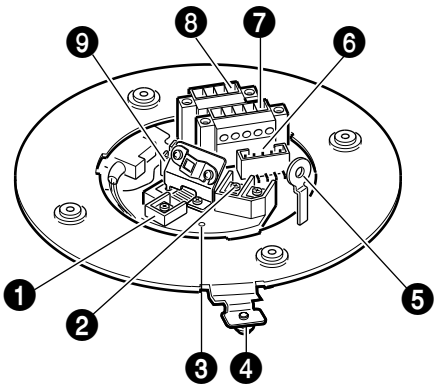
■ズーム動作
マニュアル操作あるいはプリセット選択によりTELE端付近でズーム動作が止まった後フォーカスがかすかに動くことがあります。
また、マニュアルでズーム操作中動きがなめらかでないことがあります。
これらの現象は内蔵レンズの性能によるもので故障ではありません。

■プリセットポジション
・本機で設定できるプリセットポジション数は、ホームポジションと63ヵ所のプリセットポジションで合計64ヵ所です。
・電子ズームは×2倍でプリセットされている場合、メニュー画面で電子ズームをOFFに設定すると、電子ズーム機能が動作しない状態でプリセットされた位置に移動します。

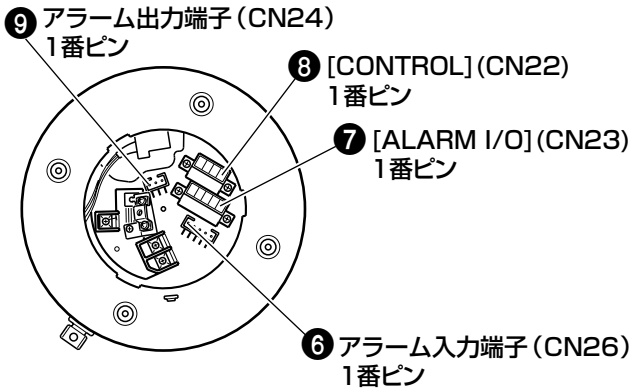
各部の名称とはたらき

■ 天井取付金具





（端子側）



（各端子のピン配置）

❶【TO CCU/VIDEO OUT】同軸ケーブル接続端子

本機は⓯**設定スイッチ**の切り換えで、カメラコントロールユニット(CCU)を接続するシステムでも、CCUを使用しない直接ビデオ出力のシステムでも対応できます。

・TO CCU
同期信号、制御信号、映像信号を重畳した特殊信号用の端子です。SW-2200、SW-2600、またはカメラコントロールユニット(CCU)などと接続します。

・VIDEO OUT
複合映像信号(1V(p-p)、出力インピーダンス75Ω)の出力端子です。スイッチャーなどと接続します。

❷【AC～24V INPUT】AC24V入力端子

電源ユニット(TK-A241)から**AC24V**電源を入力します。

❸ カバー位置合わせマーク

カバーを取り付ける時の、位置合わせマークです。

❹ ロックスクリュー

カメラ本体を固定するため、このスクリューで**カメラ本体固定金具** ⓲ を必ず固定してください。

❺ 安全ワイヤー取付穴

万一のカメラ落下に備え、この穴に天井スラブまたはチャンネルからのワイヤーを取り付けます。

❻ アラーム入力端子(CN26)

この端子はご使用になれません。

❼【ALARM I/O】アラーム端子(CN23)

アラーム入力1、アラーム出力1の端子です。
本機では、アラーム入力1は、白黒切換信号入力、アラーム出力1は、白黒切換出力信号となります。
☞16ページ

ピン番号	信　号　名
1	アラーム出力1（N. OPEN） (白黒切換信号出力)
2	アラーム出力1（COM） (白黒切換信号出力)
3	アラーム出力1（N. CLOSE） (白黒切換信号入力)
4	アラーム入力1 (白黒切換信号入力)
5	GND

❽【CONTROL】制御信号接続端子(CN22)

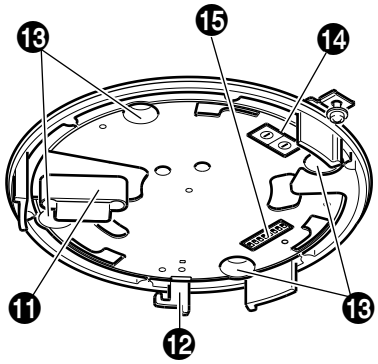
リモートコントロールユニット(RM-P2580)と接続します。

ピン番号	信　号　名	記号
1	TX ＋	Ⓐ
2	TX －	Ⓑ
3	RX ＋	Ⓒ
4	RX －	Ⓓ

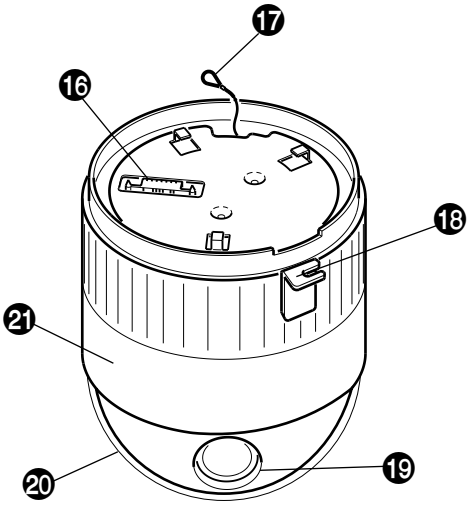
❾ アラーム出力端子(CN24)

この端子はご使用になれません。

各部の名称とはたらき（つづき）



（設定スイッチ側）



⓾ カバー
保護カバーです。ケーブル類を通すときは、ゴム製のキャップに切り込みを入れてください。
☞15ページ

⓫ カメラ接続端子（メス）
カメラ本体の**接続端子⓰** とつなぎます。

⓬ 落下防止ワイヤー固定フック
このフックにカメラ本体の**落下防止ワイヤー⓱** をひっかけます。

⓭ 固定用穴（4 ヵ所）
この穴を利用して天井あるいは、天井埋込ブラケット（WB-S575：別売）に取り付けます。

⓮【マシン ID】マシン ID 設定スイッチ
RM-P2580 のシステムなど、通信方式として RS-485 マルチドロップ方式の場合、カメラごとにマシン ID を設定します。
☞14ページ

⓯ 設定スイッチ
ケーブル長、接続機器などの設定をおこないます。
☞13ページ

⓰ 接続端子（オス）
天井取付金具の**カメラ接続端子⓫** とつなぎます。

⓱ 落下防止ワイヤー
このワイヤーを、天井取付金具の**落下防止ワイヤー固定フック⓬** にかけます。

⓲ カメラ本体固定金具
ロックスクリュー❹ をこの金具に締め付けてカメラ本体と天井取付金具を固定します。

⓳ レンズ部
レンズを交換することはできません。

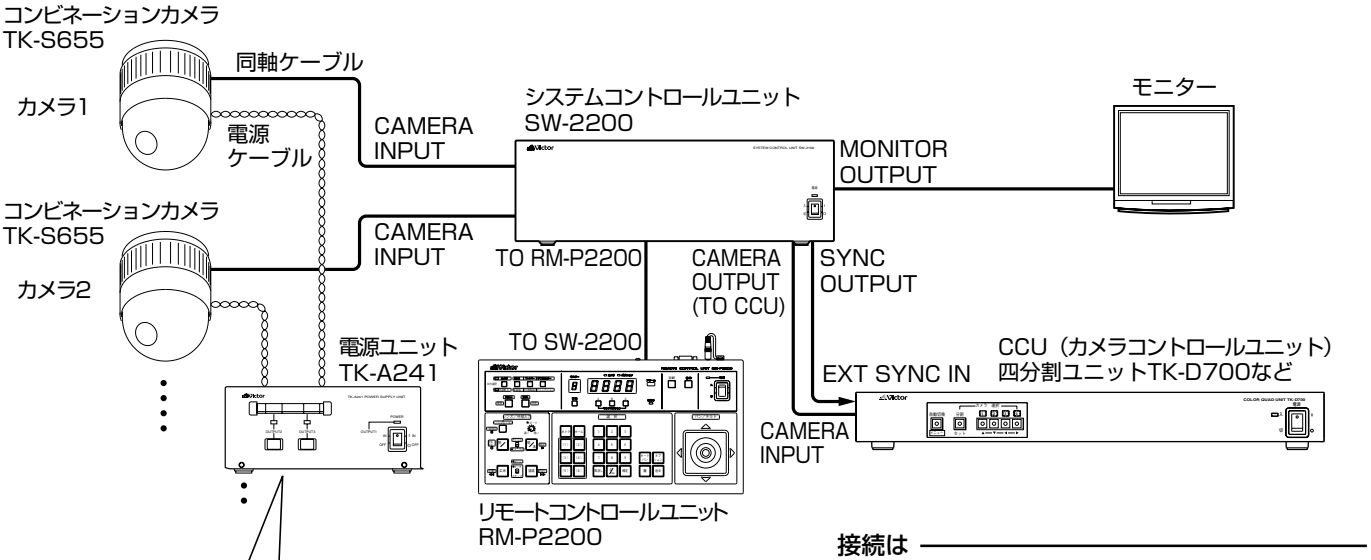
⓴ ドームカバー
ドームカバーは傷が付きやすいので、取り扱いには注意してください。

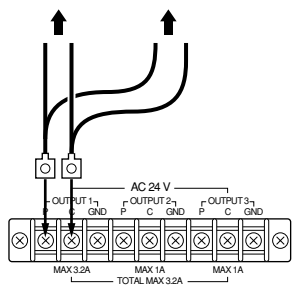
㉑ 本体カバー
カメラを天井に設置した状態で本体カバーをはずすと、ドームカバーが落下するおそれがあります。本体カバーははずさないでください。

接続・設置

RM-P2200 のシステム

システムコントロールユニット(SW-2200)1 台に、カメラ 16 台まで接続可能。最大80台までの拡張に対応。(各カメラごとに 64 ポジション設定可能)





TK-A241背面端子台部

ご注意

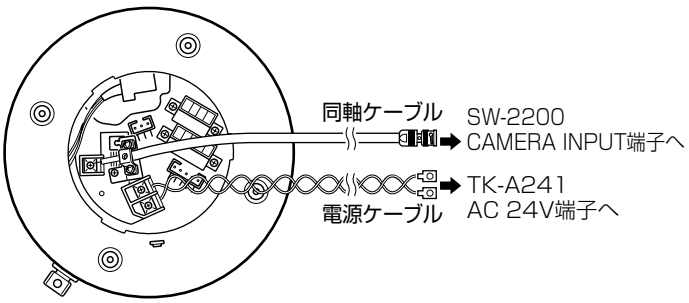
- 電源ユニット(TK-A241)に本機を接続する時は、**"OUTPUT1"**(MAX3.2A)に接続してください。
  "OUTPUT2"(MAX1A)
  "OUTPUT3"(MAX1A)に接続すると電流容量が不足することがあります。
  本機を2台接続する時も、図の様にラグ板を用いて、どちらのカメラも**"OUTPUT1"**に接続してください。
- TK-A241は1台につきTK-S655を2台まで駆動できます。

接続は

- 使用機器の電源を切ってからおこなってください。
- 使用機器の「取扱説明書」をお読みのうえ、おこなってください。
- 接続ケーブル種類および距離は、☞15ページ「ケーブルの接続」を、よくお読みになってからおこなってください。

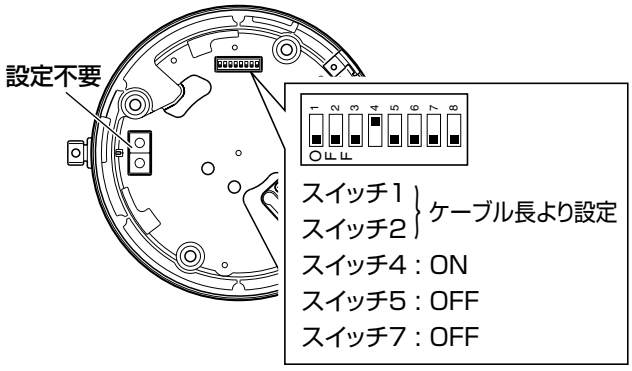
ケーブルの接続 ☞15ページ

(天井取付金具の端子側)



スイッチの設定 ☞13ページ

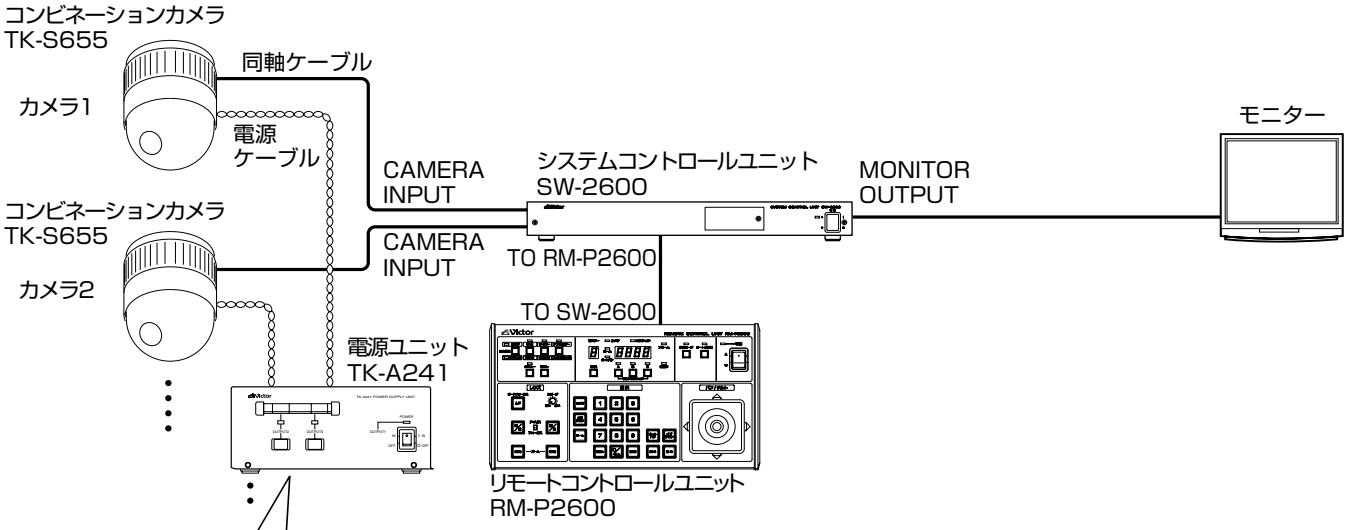
(天井取付金具の設定スイッチ側)

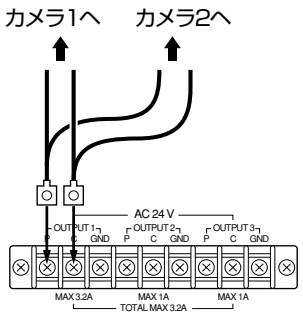


(スイッチ7 は必ず OFFに設定してください)

RM-P2600 のシステム

システムコントロールユニット(SW-2600)1 台に、カメラ９台まで接続可能。(各カメラごとに 64 ポジション設定可能)





TK-A241背面端子台部

ご注意

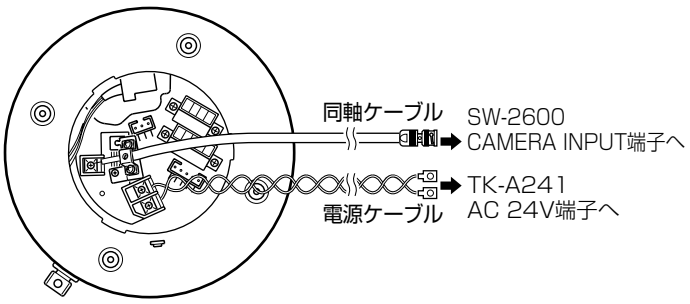
- 電源ユニット(TK-A241)に本機を接続する時は、**"OUTPUT1"**(MAX3.2A)に接続してください。
  "OUTPUT2"(MAX1A)
  "OUTPUT3"(MAX1A)に接続すると電流容量が不足することがあります。
  本機を2台接続する時も、図の様にラグ板を用いて、どちらのカメラも**"OUTPUT1"**に接続してください。
- TK-A241は1台につきTK-S655を2台まで駆動できます。

接続は

- 使用機器の電源を切ってからおこなってください。
- 使用機器の「取扱説明書」をお読みのうえ、おこなってください。
- 接続ケーブル種類および距離は、☞15ページ「ケーブルの接続」を、よくお読みになってからおこなってください。

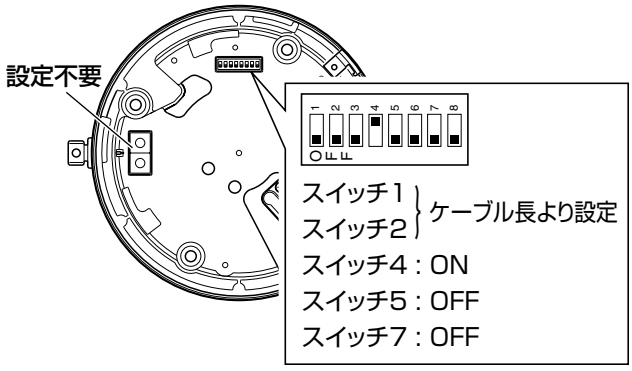
ケーブルの接続 ☞15ページ

(天井取付金具の端子側)



スイッチの設定 ☞13ページ

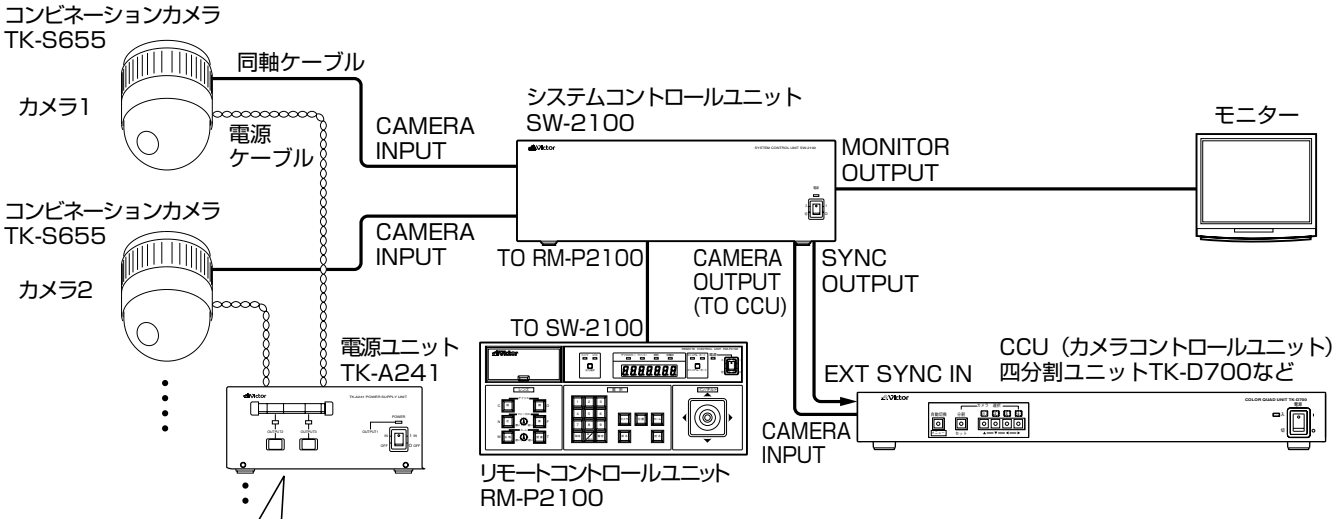
(天井取付金具の設定スイッチ側)

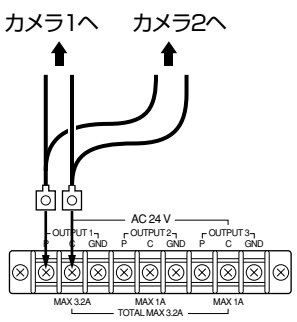


(スイッチ7 は必ず OFFに設定してください)

RM-P2100 のシステム

システムコントロールユニット(SW-2100)1台に、カメラ16台まで接続可能。最大64台までの拡張に対応。(各カメラごとに 64 ポジション設定可能)





TK-A241背面端子台部

ご注意

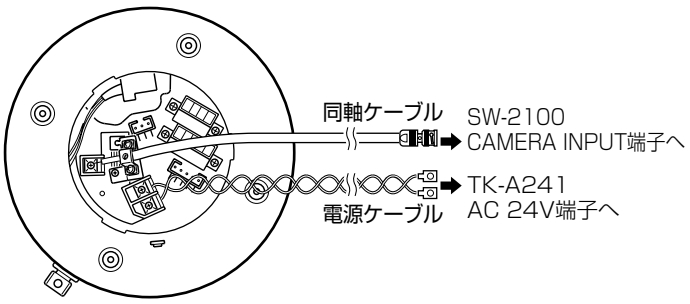
- ●電源ユニット(TK-A241)に本機を接続する時は、**“OUTPUT1”**(MAX3.2A)に接続してください。“OUTPUT2”(MAX1A)“OUTPUT3”(MAX1A)に接続すると電流容量が不足することがあります。
  本機を2台接続する時も、図の様にラグ板を用いて、どちらのカメラも**“OUTPUT1”**に接続してください。
- ●TK-A241は1台につきTK-S655を2台まで駆動できます。

接続は

- ・使用機器の電源を切ってからおこなってください。
- ・使用機器の「取扱説明書」をお読みのうえおこなってください。
- ・接続ケーブル種類および距離は、☞15ページ「ケーブルの接続」を、よくお読みになってからおこなってください。
- ・SW-2100のEXT SYNC THRU OUTPUTを使用しないときは、SW-2100背面の75Ω終端スイッチを必ずONにしてご使用ください。“OFF”側になっていると同期がみだれることがあります。

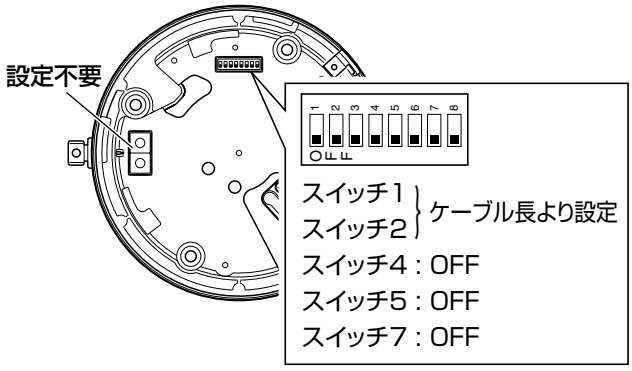
ケーブルの接続 ☞15ページ

(天井取付金具の端子側)



スイッチの設定 ☞13ページ

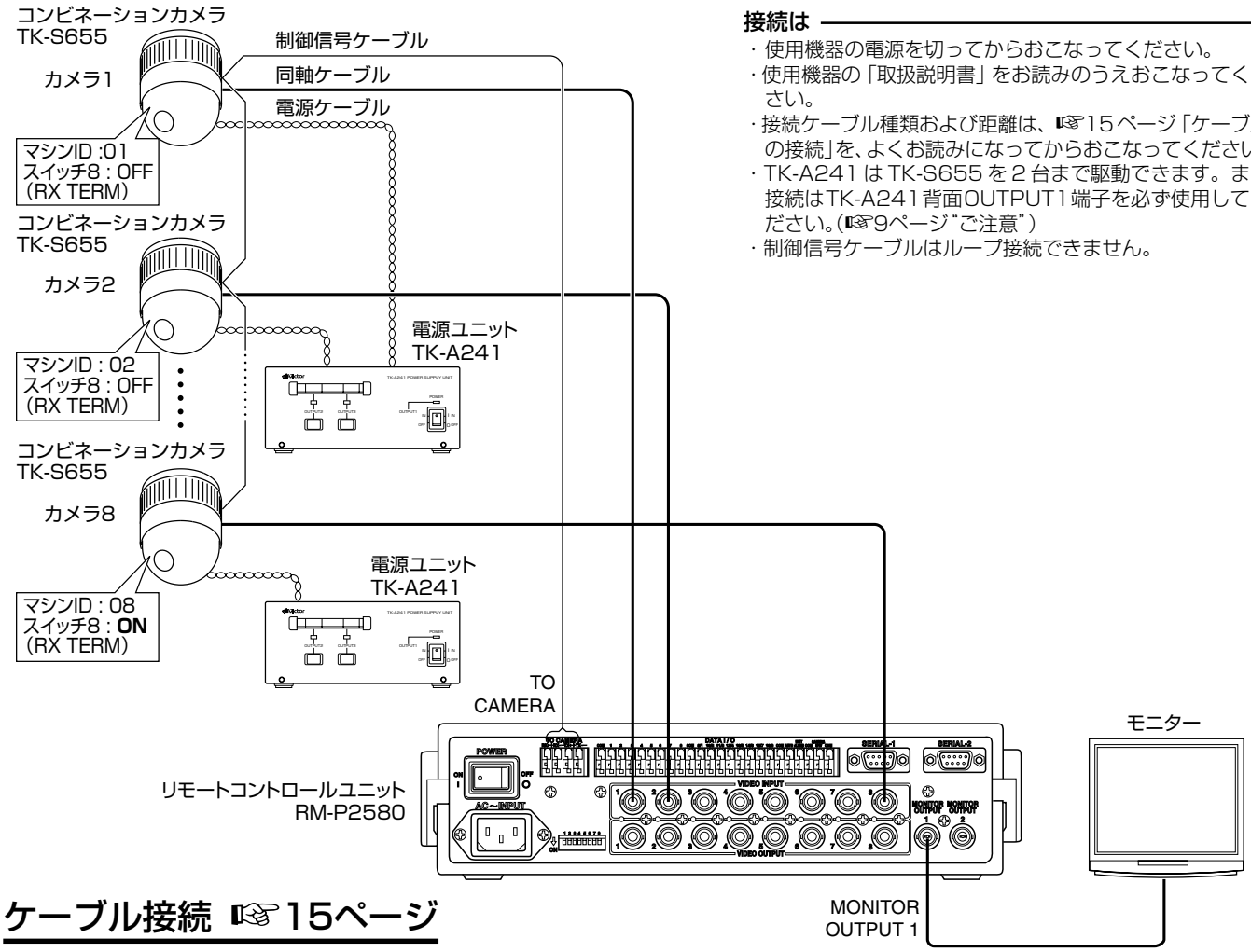
(天井取付金具の設定スイッチ側)



(スイッチ7 は必ず OFFに設定してください)

RM-P2580 のシステム

カメラ８台までのシステムです。（各カメラごとに 64 ポジション設定可能）

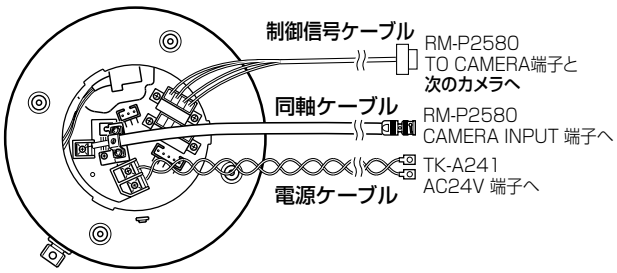


接続は

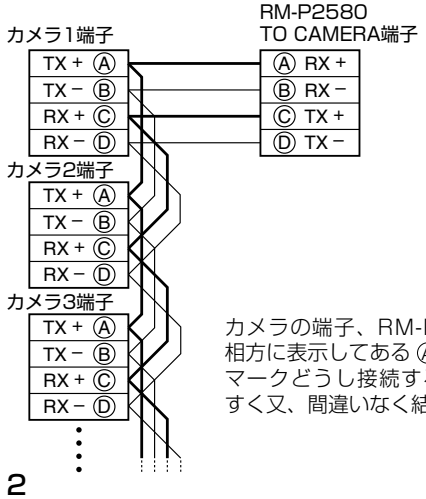
- 使用機器の電源を切ってからおこなってください。
- 使用機器の「取扱説明書」をお読みのうえおこなってください。
- 接続ケーブル種類および距離は、☞15ページ「ケーブルの接続」を、よくお読みになってからおこなってください。
- TK-A241 は TK-S655 を２台まで駆動できます。また接続はTK-A241背面OUTPUT1端子を必ず使用してください。(☞9ページ"ご注意")
- 制御信号ケーブルはループ接続できません。

ケーブル接続 ☞15ページ

（天井取付金具の端子側）



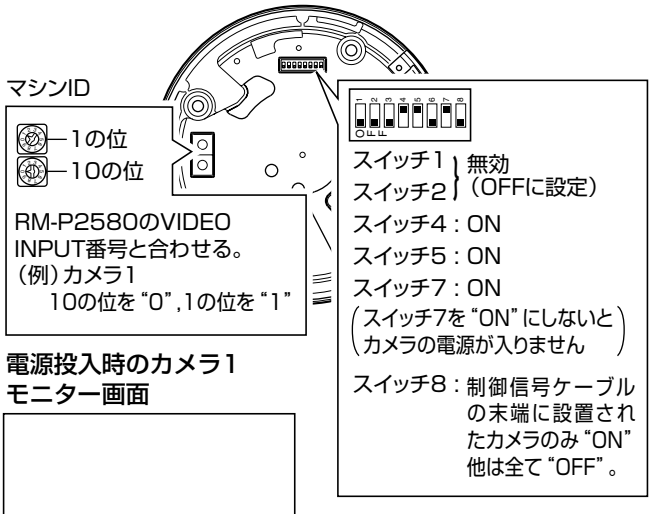
制御信号ケーブルの接続（より対ケーブル推奨）



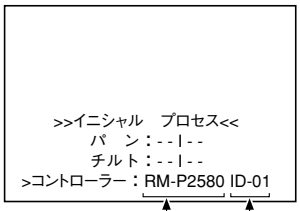
カメラの端子、RM-P2580 の端子相方に表示してある ⒶⒷⒸⒹ を同じマークどうし接続すると、わかりやすく又、間違いなく結線できます。

スイッチの設定 ☞13ページ

（天井取付金具の設定スイッチ側）



電源投入時のカメラ1 モニター画面

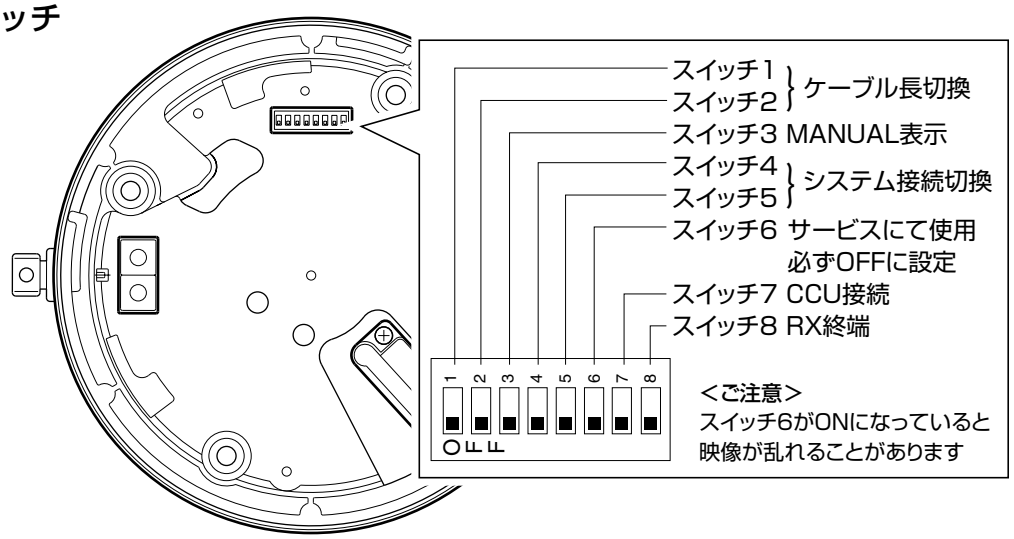


DUPLEX表示 ― ID番号を表示
(IDの確認方法 ☞14ページ)

スイッチの設定

カメラを取り付ける前に、天井取付金具にあるスイッチを設定します。
設定は使用するシステムにより異なります。

■ 設定スイッチ



●ケーブル長切換(スイッチ 1、スイッチ 2)

本機とCCU(カメラコントロールユニット)もしくはSW-2600を接続する同軸ケーブルの距離によって設定します。

ケーブル長	スイッチ 1	スイッチ 2
0m ～ 125m	OFF	OFF
126m ～ 250m	ON	OFF
251m ～ 375m	OFF	ON
376m ～ 500m	ON	ON

(初期設定値：ケーブル長 0m ～ 125m)

RM-P2580のシステムでは設定の必要はありません。

●MANUAL 表示(スイッチ 3)

プリセットされたポジション以外にリモートコントロールでマニュアル操作をおこなった時に、画面上に“マニュアル”表示をするかどうかの設定をおこないます。

MANUAL 表示	スイッチ 3
有	OFF
無	ON

(初期設定値：表示 有)

●システム接続切換(スイッチ 4、スイッチ 5)

本機に接続する機器に合わせて設定します

接続機器	スイッチ 4	スイッチ 5
SW-2100	OFF	OFF
Point to Point	OFF	ON
RM-P2580	ON	ON
SW-2200/2600	ON	OFF

(初期設定値：SW-2200/2600)

Point to Point

PC 等を使用して、外部からコントロールする時に使用します。
詳細は、営業部へお問い合わせください。

●CCU 接続(スイッチ 7)

本機の電源を、CCU(カメラコントロールユニット)の電源入切に連動して入切させるかどうかの設定です。CCUを使ったシステム(RM-P2200、RM-P2100 のシステム)では必ず**“有”**に設定してください。
SW-2600のシステムでは、CCU(カメラユニット)を接続しませんが、**“有”**に設定してください。
CCUを使わないシステム(RM-P2580のシステム)では必ず**“無”**に設定してください。“有”だと電源が入りません。

CCU 接続	スイッチ 7
有	OFF
無	ON

(初期設定値：有)

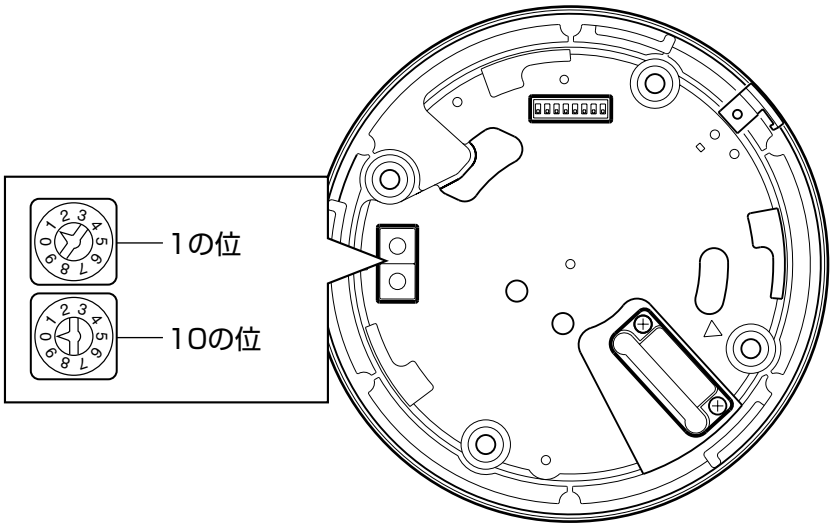
●RX 終端(スイッチ 8)

制御信号端子RX ＋、RX －間を 110 Ωの抵抗値で終端するかどうかの設定です。

RX 終端	スイッチ 8
終端(110 Ω)	ON
開放	OFF

(初期設定値：終端(110Ω))

本機を含むシステムがRM-P2580などマルチドロップ(RS-485)方式の場合、制御信号ケーブルの末端に設置したカメラのみ“終端”に設定し、他のカメラは“開放”に設定します。

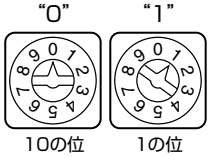


●マシン ID

RM-P2580などマルチドロップ方式でシステムを制御する場合、各カメラにマシンIDの設定をおこないます。マシンIDは、RM-P2580に接続された複数のカメラをそれぞれ識別するための番号です。マシンIDは、RM-P2580のVIDEO INPUT番号と合わせてください。

(例)

VIDEO INPUT1に接続されたカメラは、右図の様に“0”“1”と設定します。



MEMO

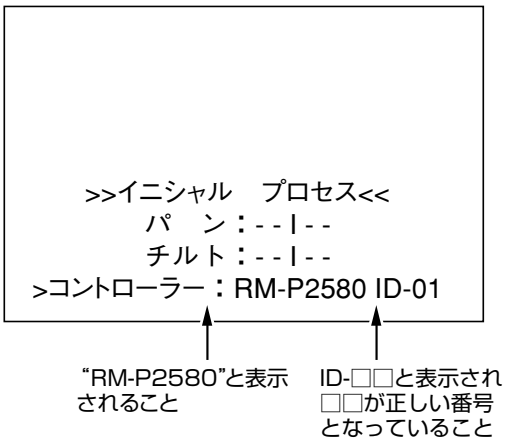
RM-P2580を使用したシステムでは、1組の制御信号ケーブルに、複数台を接続して使用するため、各カメラのスイッチ設定が1台でもおかしいとシステム全体が動作不良となります。

＜下記手順で確認できます＞

1. チェックをおこなうカメラ映像をモニターに出力する。

2. カメラのAC24V電源を切→入する。

3. カメラがイニシャル動作する。
下図画面が表示されます。



4. “RM-P2580”“ID-□□”が表示されること、RM-P2580のVIDEO INPUT番号と合っているか確認する。

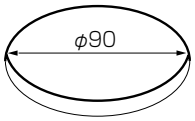
5. 誤っていたら、設定しなおしてください。

ケーブルの接続

下記手順で天井取付金具端子側にケーブルを接続します。
（水滴がセットに着いた状態で取り付け取り外しをおこなうと、水が内部に浸入するおそれがあります。）

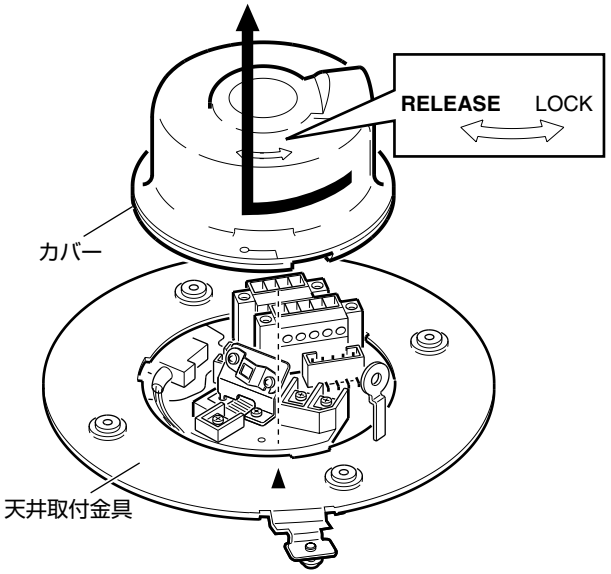
1. 天井に穴(φ90)をあける

接続ケーブルを天井裏に通すために穴(φ 90)を、あけます。



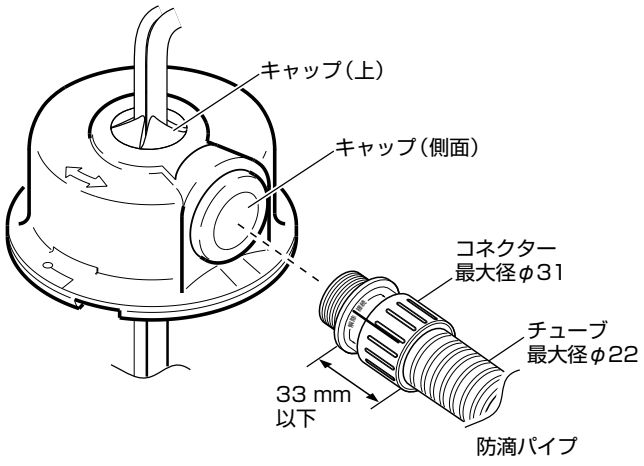
2. カバーをはずす

天井取付金具からカバーをはずします。



3. カバーにケーブルを通す

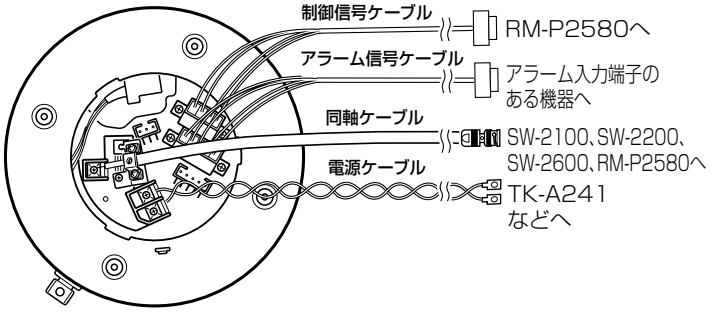
カバーに付いているキャップ(ゴム製)に切り込みを入れ、ケーブルを通します。



キャップをはずした状態でのカバー穴径はφ20.5 mmです。
軒下など雨にさらされる場所に設置する場合は、キャップ(側面)をはずし防滴パイプを使用してください。
(防滴パイプは、IP52適合品を使用してください。また、パイプコネクターの最大径はφ 31 mmです。)
ケーブルを横出しする場合は、天井直付ブラケットWB-S573を使用してください。この時、コネクター部の長さ33 mm以下、チューブの最大形はφ 22 mmです。

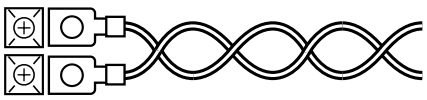
4. ケーブルをつなぐ

P9～P11に従いシステムに合わせて天井取付金具の端子にケーブル類を接続します。接続ケーブルは、AC24V電源ケーブル、同軸ケーブル、制御信号ケーブル、アラーム信号ケーブルがあります。



AC24V 電源ケーブル

AC24V電源ケーブルを端子台のAC24V入力端子に接続します。
このとき、接続ミスやケーブルのはずれを防ぐため、AC 24 V端子との接続には、ラグ板の使用をおすすめします。



2芯VVF(ビニル絶縁ビニルシースケーブル)を使用した場合、接続距離は下記のようになります。(参考値)

最大接続距離	100m	260m	410m	500m
導体直径	1.0φ以上	1.6φ以上	2.0φ以上	2.6φ以上

ご注意

- 細いケーブルを使用するとケーブルの抵抗値が大きくなり、本機の消費電力が最大の時に（パン、チルトとズーム同時に動作する時）有効電圧が低下してしまいます。太い、抵抗値の小さいケーブルを使用する、もしくは電源ユニットをカメラの近くに設置し、ケーブル長を短くする等の処置を行い、カメラの定格電流が流れた時の電圧降下を10%以内に抑えるよう設置してください。動作中電圧が低下すると、性能が不安定になったり、プリセット位置が正しく再現されないことがあります。

⚠注意

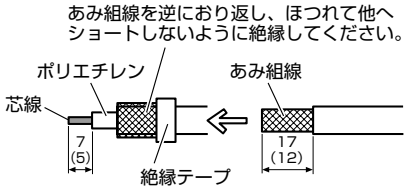
- AC24Vケーブルは間違えてAC100Vに接続しない様にしてください。間違えると本機が破損します。
- 万一誤って接続してしまった場合、内部回路が破損している可能性がありますので、絶対にそのまま使用せず最寄りのビクターサービスで点検を受けてください。
- 天井取付金具内部へ異物の混入を防ぐために必ずカバーをとりつけてください。内部に異物が入りますと故障の原因となり、最悪の場合、発煙・発火の危険があります。

同軸ケーブル

5C-2V あるいは 3C-2V 同軸ケーブルを接続します。

（7C-2Vをご使用の場合、直接端子台への接続はできませんので、5C-2V ケーブルを本機に接続し 7C-2V ケーブルに中継してください。）

同軸ケーブルの先端は、下図の様に処理してから接続してください。



（ ）内は、ケーブルをカバー側面から引き出す場合の寸法です。（単位：mm）

●CCU 接続システムの場合

CCU（カメラコントロールユニット）との最大延長距離は下記の様になります。

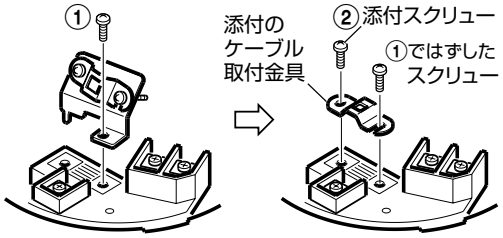
ケーブルの種類	ケーブルの最大接続距離	
	ケーブル補償なしCCU	ケーブル補償ありCCU
3C-2V	200 m	200 m
5C-2V	350 m	500 m
7C-2V	500 m	500 m

●CCU を使用しない直接ビデオ出力システム（RM-P2580 のシステム）で使用する場合

ケーブルの延長距離が延びるほど信号が減衰して、解像度が低下しノイズが増えます。

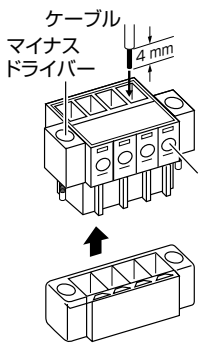
より太いケーブルを使用したり、ケーブル補償器を使用することで延長距離を延ばすことができます。最大延長距離は、使用システム、ケーブルの特性等により異なります。

カバー側面のキャップから同軸ケーブルを引き出す場合は，下記のように金具を付け変えてください。



制御信号ケーブル

最大接続距離は **1200m** です。（1 組のケーブルに複数のカメラを接続する場合も、ケーブル総延長は 1200m 以内となります。）



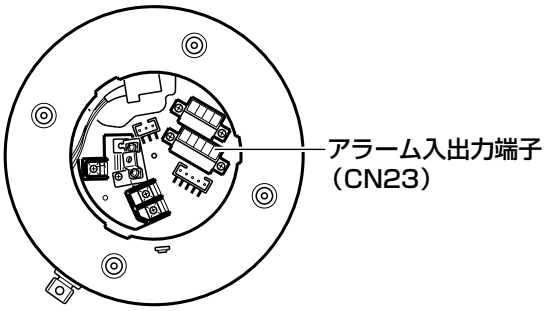
コネクターは図のように、両わきのネジ2つをゆるめるとはずすことができます。

ケーブルは、被ふくを4 mm程むいてから差し込み、側面のネジを回し、固定します。

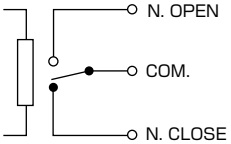
使用ケーブルは、0.65−4芯（2対）より対ケーブルもしくは、イーサネット等で用いられるカテゴリー3以上のツイストペアーケーブルを推奨します。

使用できるケーブルの太さは16 AWG～26AWGです。
制御信号ケーブルは、TX+とTX−信号、RX+とRX−信号を対（ペア）になるようにしてください。

アラーム信号ケーブル ☞ 7ページ



アラーム出力端子の電気的仕様

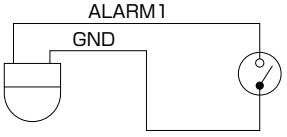


- アラーム出力端子は、接点出力となっており、映像が白黒モードに切り換わると、N. OPEN − COM 間がショート（メイク）、N. CLOSE − COM 間がオープン（ブレイク）となります。

定格

最大印加電圧：DC 30 V もしくは AC 24 V
最大印加電流：2 A
接 点 寿 命：20 万回

アラーム入力端子の電気的仕様

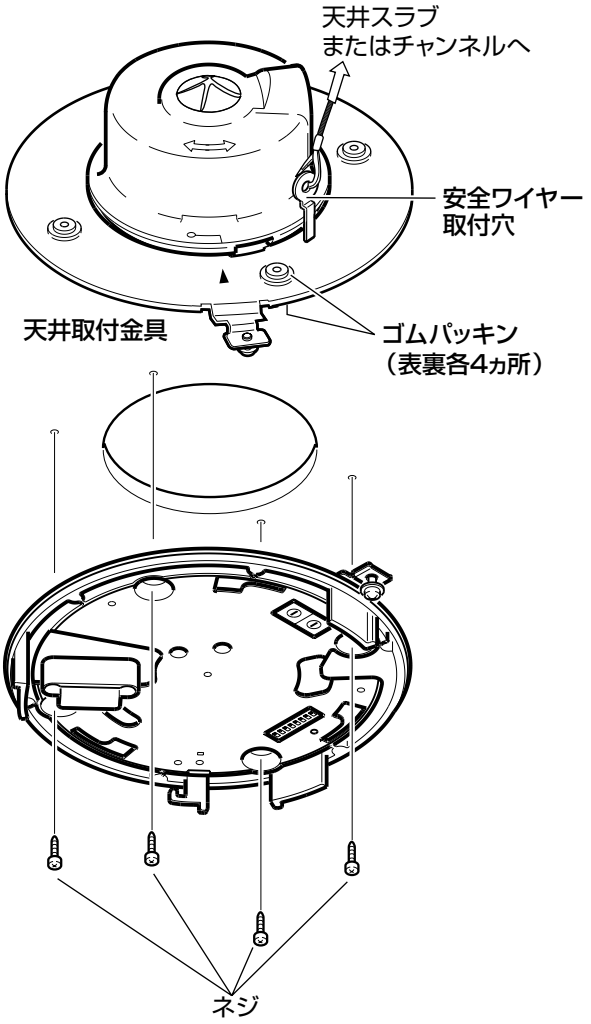


- アラーム入力端子は、内部回路へのノイズ混入を防止するため無電圧接点信号を加えてください。電圧を供給しないでください。
- メニューで接点がショート（メイク）時にアラームとするか、接点がオープン（ブレイク）時にアラームとするか設定可能です。
- アラーム信号は最低でも200 ms以上続けて加えるようにしてください。それより短い場合、アラーム信号として認識される保証はありません。

5. カバーをつける

2. と逆の手順でカバーを天井取付金具につけます。

天井取付金具の取り付け



1. 落下防止ワイヤーをつける

万一の落下に備え、天井スラブ又はチャンネルと天井取付金具をワイヤーで接続してください。天井取付金具とワイヤーの接続は、安全ワイヤー取付穴をご利用ください。（左図参考）

MEMO

- ワイヤーは天井構造物と絶縁できるように接続してください。
  天井構造物が金属の場合、カメラとの絶縁をとらないと映像にノイズが入ることがあります。
- ワイヤーおよび天井構造物は、万一の落下時に危険を防止できる強度と、適切な長さのものを選んでください。
- ワイヤーは付属されていませんので、市販品をおもとめください。

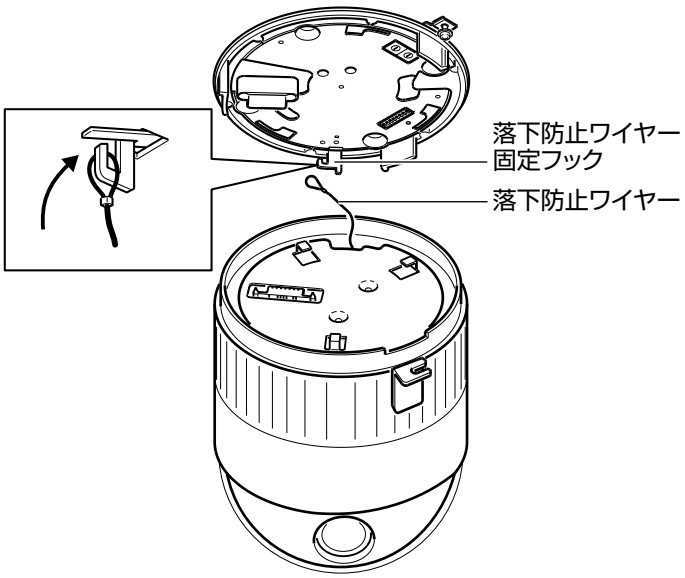
2. 天井取付金具を天井に固定する

接続ケーブルをはさみ込まない様注意して、天井取付金具をネジ４本で天井に固定します。
固定用ネジ、ボルトはM4を使用してください。
木ネジはφ4.1をお使いください。

MEMO

- 必ず4本のネジを用いて、確実に取付けてください。ネジの締め付けが不十分の場合、止めネジ穴より、ゴミや水が浸入することがあります。
- 天井取付金具の天井取付用ネジ穴についているゴムパッキンは、防滴目的の他に、天井取付金具と天井構造物の絶縁目的でも使用しています。天井構造物が金属の場合カメラとの絶縁をおこなわないと、映像にノイズが入ることがあります。
  必ず絶縁するように設置してください。

カメラの取り付け



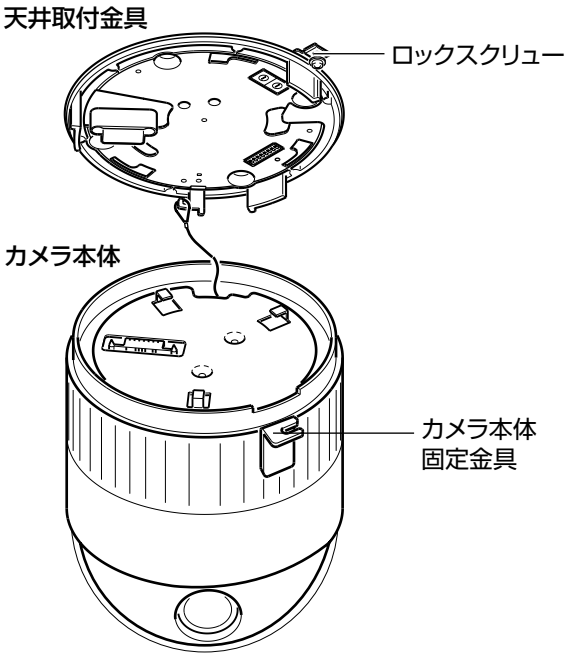
1. 落下防止ワイヤーを付ける

図のように、カメラ本体から**落下防止ワイヤー**を引き出し、天井取付金具の**落下防止ワイヤー固定フック**に引っかけます。

落下防止ワイヤーは必ず接続してください。接続しないとカメラと天井取付金具が正しくかん合しないようになっています。
無理にかん合させると破損する場合があります。

⚠注意

落下防止ワイヤーは必ず接続してください。接続しないとカメラ本体が落下する恐れがあります。

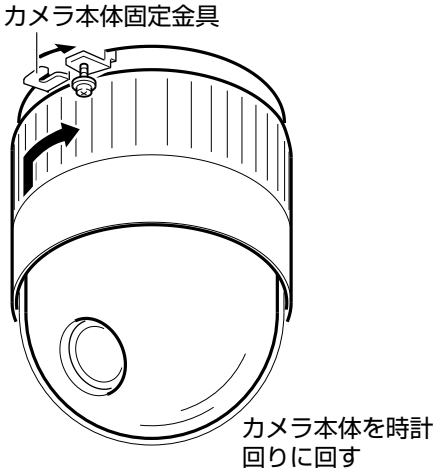


2. ロックスクリューが緩んでいることを確認する

天井取付金具のロックスクリューが緩んでいないとカメラ本体が正しく取り付きません。

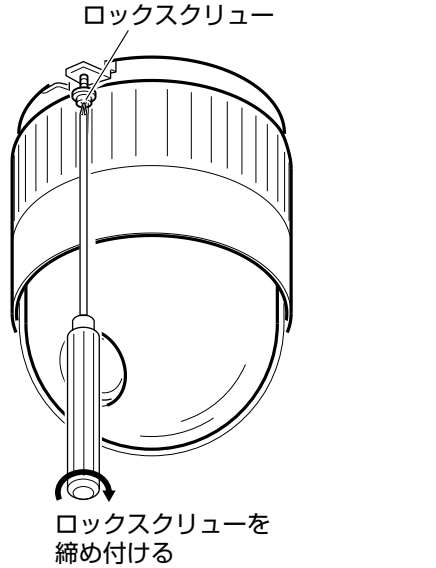
3. カメラ本体を挿入

カメラ本体の固定金具と天井取付金具のロックスクリューの位置をよく確かめてからカメラ本体を天井取付金具に挿入します。



4. カメラ本体を回す

カメラが傾いていないことを確かめ、カメラ本体を天井側に押し付けながら時計方向に止まるまで回します。この時、カメラ本体固定金具が天井取付金具のロックスクリューの位置にきていることを確認してください。



5. ロックスクリューを締める

ロックスクリューをプラスドライバーで締め付けます。

⚠注意
ロックスクリューの締め付けが不確実だとカメラ本体ががたついたり、落下する恐れがあります。ロックスクリューは確実に取り付けてください。

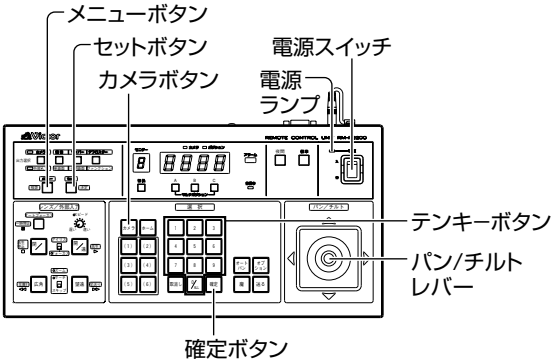
※取り外しは*1.*～*5.*を逆の手順でおこなってください。

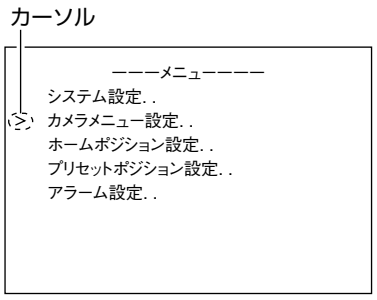
RM-P2200からカメラの設定を変える

設定方法

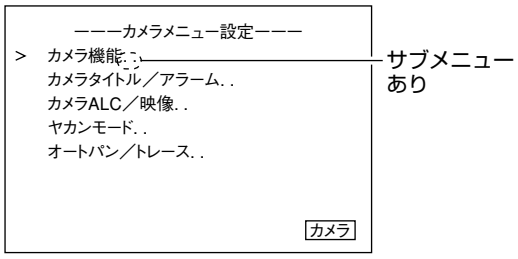
リモートコントロールユニットRM-P2200を使用したシステムの場合、カメラ側メニューをリモコンから呼び出し、機能設定をおこなうことができます。
（RM-P2200の「取扱説明書」をあわせてご覧ください。）

＜RM-P2200からカメラ側メニューの設定をおこなう方法＞

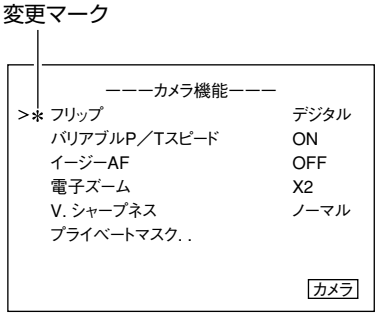




メニュー画面



カメラメニュー設定画面



サブメニュー画面例

1. 電源スイッチを“ON”にする

電源ランプが点灯します。

2. メニューボタンを1秒間押す

・パスワード入力画面が表示されます。

3. テンキーボタンでパスワード“2222”を入力する

4. 確定ボタンを押す

・メニュー画面が表示されます。
・「パスワードが正しくありません」と表示された場合は、正しいパスワードを再入力してください。

5. パン／チルトレバーを上下に動かし、カーソル(>)を、カメラメニュー設定項目に移動する

・レバーを上側(▲)に押すと、カーソルは上に移動します。
・レバーを下側(▼)に押すと、カーソルは下に移動します。

6. セットボタンを押す

・カメラメニュー設定画面が表示されます。
・項目の最後に“‥”が付いているものは、サブメニューがあります。

7. パン／チルトレバーを上下に動かし項目を選択する

8. セットボタンを押す

・カメラ側のサブメニュー画面が表示されます。

9. パン／チルトレバーを左右に動かし、項目の値を変更する

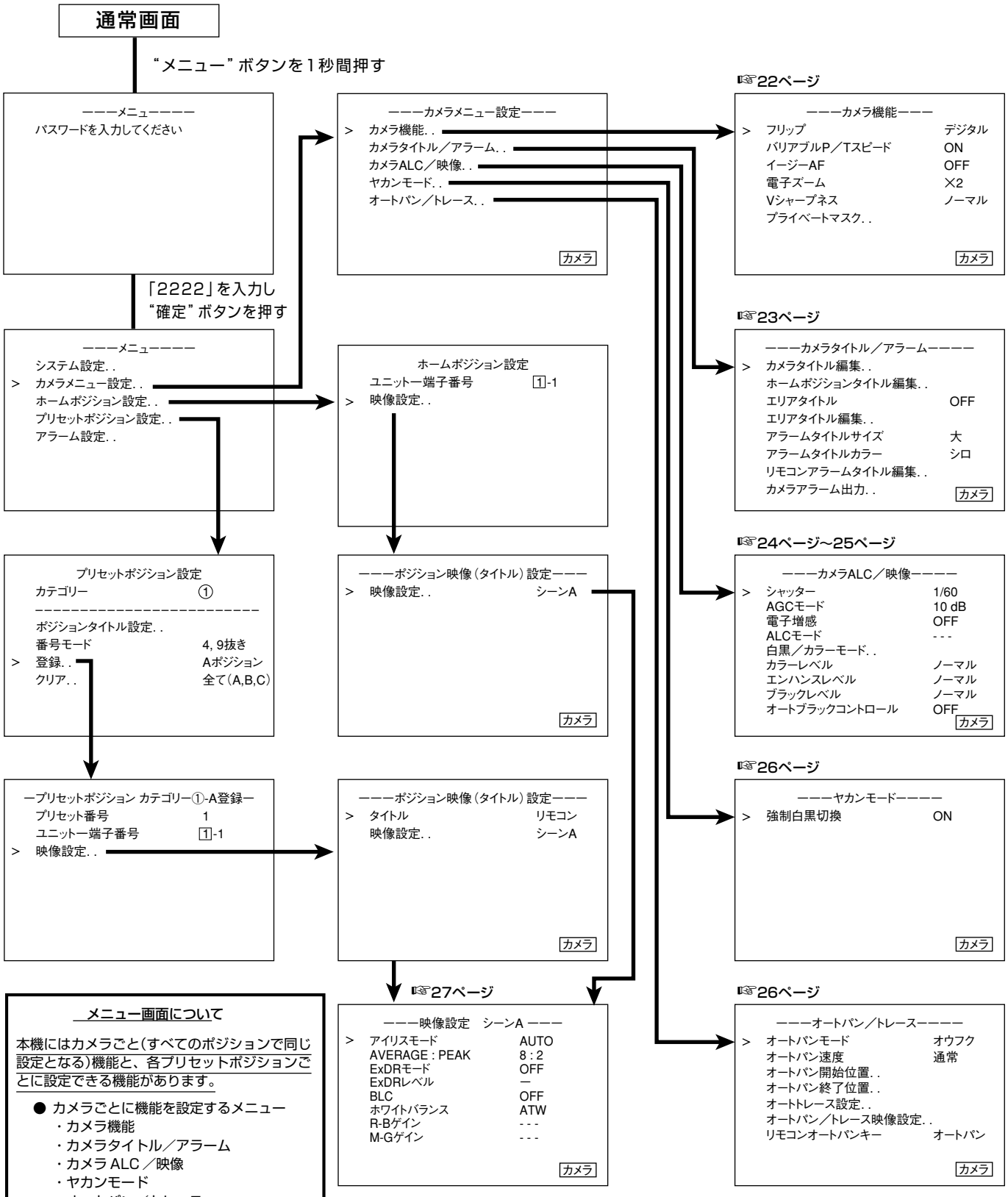
・レバーを左側(◀)に押すと、数値が小さくなります。
・レバーを右側(▶)に押すと、数値が大きくなります。
項目の設定値を変更すると左図のような変更マーク(*)が表示されます。
サブメニューの設定方法の詳細は、次ページ以降をご覧ください。

10. メニューボタンを押す

項目の設定が終わったら、メニューボタンを押し、上位メニュー画面にもどします。

メニュー画面の流れ

メニュー画面は下図のような流れになっています。（詳細は各項目内に記載されている参照ページをご覧ください）



メニュー画面について

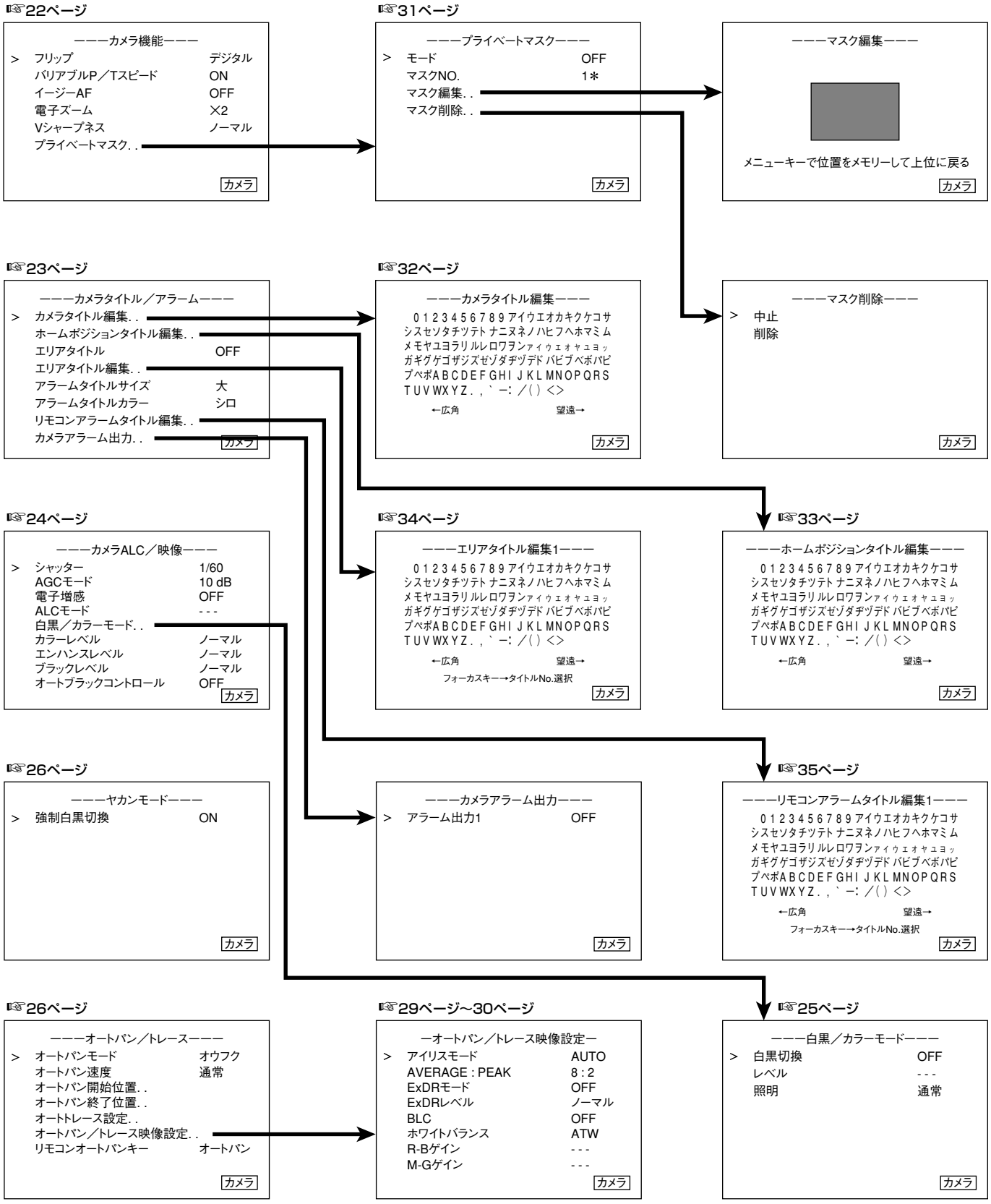
本機にはカメラごと（すべてのポジションで同じ設定となる）機能と、各プリセットポジションごとに設定できる機能があります。

- カメラごとに機能を設定するメニュー
  - ・カメラ機能
  - ・カメラタイトル／アラーム
  - ・カメラ ALC ／映像
  - ・ヤカンモード
  - ・オートパン／トレース
- 各プリセットポジションに対して設定するメニュー
  - ・ポジション設定→映像設定

ポジションごとの映像設定で用いるシーンファイルについて

本機では、ポジションごとに細かな映像設定ができるよう、あらかじめ A-H ８種のシーンファイルを用意しています。
各シーンファイルの内容は自由に設定し保存しておくことができます。そして、各プリセットポジションごとに A-H のうち好みのシーンファイルを選ぶことで、各プリセットポジションへの映像設定を行ないます。

メニュー画面の流れ（つづき）



カメラ機能画面

カメラのもつ機能を設定します。

項　目	機　能　と　設　定　値	初　期　値
フリップ	OFFに設定したときは、垂直回転動作をすると、本機は真下を向いたところで停止します。被写体が真下を通過する場合のカメラ操作は、①真下に向ける②水平に 180° 回転させる③上に向ける。この 3 つの手順が必要です。 オートフリップ機能を使うと、この手順を減らすことができます。カメラの真下を通る被写体を撮影するときに設定します。 OFF　：オートフリップ 機能は動作しません。 デジタル ：カメラが真下を過ぎ135° の位置で、映像の上下左右が反転します。 オート　：カメラが真下の位置にくると 180° 水平回転し、止まります。	デジタル
バリアブルP／T スピード	レンズのズームに応じて、パン（水平回転）、チルト（垂直回転）の動作速度を自動的に可変します。ズームレンズを望遠側にすると、パン、チルトの速度は遅くなり、広角側にすると、パン、チルトの速度は早くなります。ズーム比の異なる被写体を撮影する場合に設定します。 OFF ：機能しません。 ON　：機能します。	ON
イージー AF	ON に設定すると手動でパン、チルト、ズーム操作をおこなっている間、自動的にオートフォーカス（AF）が働きます。手動で操作することが多い場合、カメラを動かすごとにフォーカスを取り直す必要がなく便利です。 OFF ：機能しません。 ON ：機能します。 **MEMO** オートフォーカスは被写体によって十分にピントが合わないことがあります。 (☞5 ページ) その場合は手動でピントを合わせてください。	OFF
電子ズーム	ズームレンズを望遠側にすると、光学ズームが機能しその後電子ズームが機能します。この電子ズーム機能の最大値を設定します。 [設定値：× 1，× 2] **MEMO** ●電子ズームは映像をデジタル処理するため、多少映像品質が劣化します。 ●電子ズームの倍率を上げていくと、画面中心が左上方向にずれますが、これは本機の特性であり故障ではありません。 ●光学ズームから電子ズームへ連続動作しません。光学ズームがTELE端にきたら、望遠ボタンを押し直してください。	× 2
V シャープネス	映像の垂直方向に対する鮮明度を設定します。 ノーマル　：鮮明度は普通です。 高い　　：鮮明な映像になります。 **MEMO** “高い”に設定時、次のような現象が見られることがありますが、故障ではありません。 ・高輝度の被写体を写すと横しまが発生することがあります。 ・低照度時にうすい横しまが発生することがあります。	ノーマル
プライベートマスク. .	撮影画面の中で、映したくない部分を設定し、その部分だけを灰色にし、映さないようにする機能です。設定した部分は、パン、チルト、ズームに連動して移動します。 ☞31 ページ「プライベートマスクの設定」	―

カメラタイトル／アラーム画面

タイトルおよびアラームについての設定をします。

項　目	機　能　と　設　定　値	初　期　値
カメラタイトル編集..	画面左下に常に表示されるタイトルを設定します。タイトルは最大16文字まで設定できます。 ☞32ページ「カメラタイトル の設定」	―
ホームポジション タイトル編集..	ホームポジションタイトルの設定画面です。 ☞33ページ「ホームポジションタイトルの設定」	―
エリアタイトル	水平回転範囲360°を16エリアに等分し、各エリアに16文字のタイトルを設定することができます。カメラを手動でパンニング（水平回転)させると、設定したエリアタイトルを表示します。 ON　：エリアタイトルを表示します。 OFF ：エリアタイトルを表示しません。	**OFF**
エリアタイトル編集..	エリアタイトルの設定画面です。 ☞34ページ「エリアタイトル の設定」	―
アラームタイトル サイズ	アラーム時に表示するタイトルのサイズを設定します。 小 ：メニュー画面の文字と、同じサイズです。 大 ：メニュー画面の文字に比べ縦・横2倍サイズです。	**大**
アラームタイトル カラー	アラーム時に表示するタイトルの色を設定します。 [設定値：シロ，ミドリ，ミズイロ，キイロ]	**シロ**
リモコンアラーム タイトル編集..	アラーム時に表示するタイトルの設定画面です。 ☞35ページ「リモコンアラームタイトル の設定」	―
カメラアラーム 出力..	天井取付金具にあるアラーム出力端子についての設定をおこないます。	―
アラーム出力1	アラーム出力1端子についての設定をおこないます。 OFF ：アラームは出力しません。 白黒 ：本機が白黒モードになった時、アラーム信号を出力します。 ***MEMO*** ● アラーム出力端子は、メカニカルリレーを使用しているため、静かな場所ではリレーの動作音が気になる場合があります。 ● アラーム出力端子は、メカニカルリレーを使用しているため、頻繁にアラームとなる信号で使用した場合、リレーの寿命を縮めてしまいますので御注意ください。リレーの寿命は20万動作です。リレーは消耗部品であり、保証期間内であっても交換は有料となります。	**OFF**

カメラ ALC ／映像画面

明るさにより自動的に調整をおこないます。
カラーレベル、輪郭強調などカメラの映像信号についての設定をおこないます。

項　目	機　能　と　設　定　値	初　期　値
シャッター	電子シャッターのスピードを設定します。 電子増感項目を×2以上に設定すると、可変できる設定値は1/60と1/100のみです。 **[設定値： 1/60, 1/100, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000, 1/4000, 1/10000]** ***MEMO*** ●商用電源周波数50Hz地域ではシャッタースピードを1/100に、60Hz地域では1/60に設定すると、蛍光灯などのチラツキを軽減することができます。 ●シャッタースピードは、高速になるほど明るい光源の上下に白い帯のような線が発生するCCD特有のスミア現象が強調されます。	1/60
AGC モード	光量の少ない被写体で電気的に感度を上げるAGC（自動ゲイン調整)の最大ゲインを設定します。 OFF　：自動ゲイン調整はおこないません。 10 dB　：被写体の明るさに応じて最大 10 dB までゲインを上げます。 20 dB　：被写体の明るさに応じて最大 20 dB までゲインを上げます。 スーパー　：20 dB に設定しても明るさが不足のときに設定します。 ***MEMO*** ●白黒 項目がオート に設定されている場合は、AGC モード 項目がスーパー のときは［スーパー］を、その他の設定時は［20 dB］を表示して、表示した値までゲインを上げます。 ●ゲインを上げると暗い場所では画面がザラ付きます。 ●スーパーに設定すると、急激なレベル変化に対しては動作時間がかかることがあります。	10 dB
電子増感	電子増感は、露光時間を長くして感度を上げる機能です。（電子感度アップ） この項目では被写体が暗くなったとき、感度が自動的に何倍まで上るかを設定します。 × 32 の場合、標準レベルに比べ32 倍まで自動的に連続で感度があがります。感度が上がるとシャッタースピードが遅くなるため動きは不自然なものとなります。シャッター項目を 1/250 以上に設定すると“- - -”と表示され電子増感は機能しません。 [設定値：OFF, × 2, × 4, × 8, × 16, × 24, × 32] ***MEMO*** 電子増感の倍率を上げると、画面がザラついたり白っぽくなったり、白キズが現れる場合がありますが、異常ではありません。	OFF
ALC モード	被写体が暗くなったとき、動きを優先するか、画像を優先するかを設定します。 ウゴキ優先　：動きを優先します。 被写体が暗くなると、AGC（自動ゲイン調整)が優先的に機能するため、動きの早い被写体に適しています。 ガシツ優先　：画像を優先します。 被写体が暗くなると、電子増感（電子感度アップ）が優先的に機能するため、画像を優先する被写体に適しています。 ***MEMO*** ●AGC モード 項目と電子増感 項目どちらか一方でもOFF に設定されていると“---”と表示されALCモード 設定できません。 ●白黒項目がオートに設定されている場合はALCモード項目はウゴキ優先モードとなり“---”と表示されます。	**ウゴキ優先**

カメラALC／映像画面（つづき）

項　目	機　能　と　設　定　値	初　期　値
白黒／カラーモード..	白黒／カラーの切り換えに関する設定をおこないます。 **MEMO** 白黒モードでは可視光域と近赤外光域両方に感度をもつため、光源の種類によってはカラーモードから白黒モードに切り換えるとフォーカスがずれることがあります。この時は白黒モードでフォーカスを合わせなおしてください。 また、必要に応じて赤外照明を使用してください。	―
白黒切換	カラーから白黒モードに切り換える機能について設定します。 OFF　：白黒モードには切り換わりません。 ON　：いつも白黒モードとなります。 オート　：被写体の輝度が高い場合はカラーモード、低い場合は白黒モードに自動的に切り換わります。 アラーム入力１：アラーム入力があった場合、白黒モードになります。接点がショート（メイク）時は白黒モードON、オープン（ブレイク）時は白黒モードOFF となります。 **MEMO** 〈白黒／カラー切り換えを確実に行なうために〉 白黒 項目をオート に設定すると、被写体の明るさに応じて白黒／カラーの切り換えをおこなうことができますが、照明の条件や画角によっては切り換わらないことがあります。 より確実に切り換えを行なうためには、外部センサー（別途購入ください）の信号を本機のアラーム端子へ入力し、切り換えを行なうことをおすすめいたします。	OFF
オートレベル	白黒項目がオートに設定されている場合、白黒モードに切り換わる被写体の信号レベルを設定します。 低 ：被写体の信号レベルが低輝度で白黒モードに切り換わります。 中 ：被写体の信号レベルが標準で白黒モードに切り換わります。 高 ：被写体の信号レベルが高輝度で白黒モードに切り換わります。 **MEMO** 白黒項目がオート以外に設定されている場合は“---”と表示され、オートレベル項目の設定変更はおこなえません。	中
照明	白黒モード時、被写体を照らす照明により設定します。 通常 ：通常の照明はこの設定にします。 赤外 ：赤外発光の照明を使用する場合に設定します。 **MEMO** 通常の太陽光、蛍光灯下で赤外に設定すると、カラーから白黒モードに正常に切り換わりません。	通常
カラーレベル	映像信号の色レベル調整をおこないます。 色を薄くする　……　数を小さく 色を濃くする　……　数を大きく [設定値：－５～ ノーマル ～５]	ノーマル
エンハンスレベル	モニター画面上の鮮明さを強調する輪郭補正調整をおこないます。 画質をソフトにする　……　数を小さく 画質をシャープにする　……　数を大きく [設定値：－５～ ノーマル ～５]	ノーマル
ブラックレベル	映像信号のペデスタルレベル（黒の基準)の調整をおこないます。 画質を暗くする　……　数を小さく 画質を明るくする　……　数を大きく [設定値：－５～ ノーマル ～５]	ノーマル
オートブラックコントロール	AGC（自動ゲイン調整)でゲインを上げても映像の暗い部分が見えにくいときに設定します。 ON　：映像信号の黒レベルが低いと、黒の基準となるペデスタルレベルが自動的に上がり、暗い部分を見えやすくします。 OFF　：オートブラックコントロールは機能しません。	OFF

ヤカンモード画面

項　目	機　能　と　設　定　値	初　期　値
強制白黒切換	夜間モード時の白黒制御を設定します。 OFF　：夜間時の白黒制御しません。 ON　：夜間時の白黒制御します。 **── *MEMO* ──** ”ON”に設定すると白黒切換が”OFF”、”オート”に設定されていても強制的に白黒になります。	ON

オートパン／トレース画面

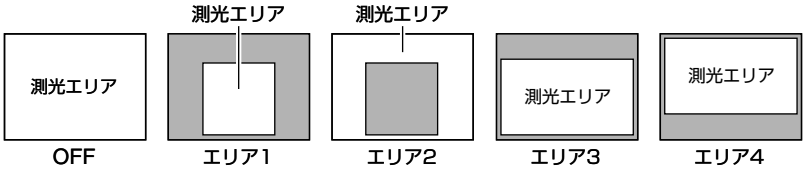
ゆっくり水平回転するオートパン機能、手動でカメラ操作した内容を再現するオートトレース機能に関する設定をおこないます。

項　目	機　能　と　設　定　値	初　期　値
オートパンモード	オートパン時の回転方向を設定します。 オウフク　：スタート位置と反転位置の往復 右回転　：右回転 左回転　：左回転 ☞36 ページ「オートパン の設定」	オウフク
オートパン速度	オートパン時の回転速度を設定します。 低速　：低速回転 通常　：標準回転 高速　：高速回転	通常
オートパン開始位置..	オートパン時の開始位置を設定します	──
オートパン終了位置..	オートパン時の反転位置を設定します。	──
オートトレース設定..	オートトレースの設定をおこないます。 ☞37 ページ「オートトレースの設定」	──
オートパン／トレース映像設定..	オートパン／トレース時の映像を設定します。	──
リモコンオートパンキー	リモコンのオートパンボタンを押すと動作する機能を設定します。 オートパン　　：オートパン機能 オートトレース　：オートトレース機能	オートパン

ポジション映像設定画面(シーンファイル)

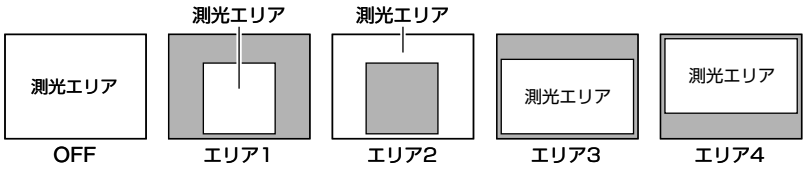
項　目	機　能　と　設　定　値	初　期　値
タイトル	プリセットポジションタイトルの表示を設定します。 リモコン　：リモートコントロールユニットRM-P2200で設定した値を表示します。カテゴリタイトル、ポジション番号、マルチポジションなどを表示します。 カメラ編集　：編集したタイトルを表示します。 SET ボタンを押して、下位メニューを起動し、設定します。 **MEMO** タイトルはホームポジション設定では表示されません。	リモコン
映像設定..	映像に関する設定をおこないます。 A～Hの8種のシーン設定をおこないます。	シーン A
アイリスモード	レンズアイリスの調整方法を設定します。 AUTO　：自動でアイリスを標準状態に調整します。 AUTO+　：自動でアイリスを標準状態より明るめに調整します。 AUTO－　：自動でアイリスを標準状態より暗めに調整します。 MANUAL　：手動でアイリスを調整するときに設定します。	AUTO
AVERAGE : PEAK	露出検出のしかたを平均値とピーク値の割合で設定します。 ・AVERAGE 値大　：画面のハイライト部以外が暗くつぶれ気味のとき設定します。(例　10:0) ・PEAK 値大　：画面のハイライト部がハレーション気味のとき設定します。(例　5：5) [設定値 10：0，9：1，8：2，7：3，6：4，5：5]	8：2
ExDR モード	ExDR 機能は、シャッタースピード1/100 秒で撮影した映像と高速シャッターで撮影した映像を合成することにより、照度差のある被写体でも撮影することができます。 シャッター項目を 1/250 以上に設定すると“- - -”と表示されExDR は機能しません。 OFF　：ExDR は機能しません。 ON　：ExDR は機能します。	OFF
ExDR レベル	ExDR モード時、被写体のどの明るさを見やすくするかを設定します。 ・被写体の低輝度部を見やすく　…… 数字を大きく ・被写体の高輝度部を見やすく　…… 数字を小さく [設定値：－ 5 ～ ノーマル ～ 5] **MEMO** ● 被写体の照度差が大きい場合、ExDR レベルを可変させても映像が変化しない場合がありますが、これは本機の特性で故障ではありません。 ● シャッター項目を1/250以上に設定すると“---”と表示され、ExDR レベル項目の設定変更はおこなえません。 ● ExDRモード項目がOFFに設定されているとExDRレベル項目の設定変更はおこなえません。	ノーマル

ポジション映像設定画面（つづき）

項　目	機　能　と　設　定　値	初　期　値
BLC	逆光補正機能を設定します。被写体の背景に明るい光源などがあり、オートアイリス機能で被写体が暗くなってしまう場合に設定します。不要な光源が測光エリア外となるようにします。  **MEMO** ExDRモード 項目（☞27ページ）がON に設定されている場合、BLC 項目はOFF に設定され“---”と表示されます。この時BLC項目の設定変更はおこなえません。	OFF
ホワイトバランス	ホワイトバランス調整機能を設定します。色温度2500K～8000Kの範囲内の照明に対して調整できます。 ATW ：Auto-Tracking White Balance（自動色温度追尾)モードになります。照明の色温度に応じて自動的にホワイトバランスを調整します。ATW 設定時は、R-B ゲイン , M-G ゲイン 項目は“- - -”と表示され、色相調整はおこなえません。 AWC ：Auto White Control（自動白バランス調整)モードとなり、“セットキーで開始します”と表示されます。セットボタンを押すと AWC が機能し、白バランスを調整します。	ATW
R-B ゲイン	AWC 時の R（赤)、B（青)の色相を調整します。 青色を強調　…… 数字を小さく 赤色を強調　…… 数字を大きく [設定値　0 ～ 255]	95
M-G ゲイン	AWC 時の M（マゼンタ)、G（緑)の色相を調整します。 緑色を強調　…… 数字を小さく マゼンタ色を強調　…… 数字を大きく [設定値　0 ～ 255]	63

オートパン／トレース映像設定画面

映像に関する設定をおこないます。

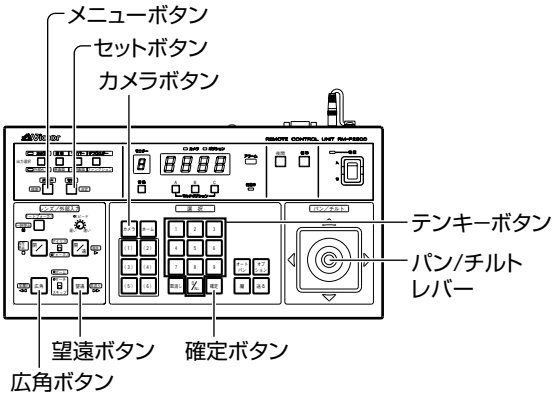
項　目	機　能　と　設　定　値	初　期　値
アイリスモード	レンズアイリスの調整方法を設定します。 AUTO　：自動でアイリスを標準状態に調整します。 AUTO+　：自動でアイリスを標準状態より明るめに調整します。 AUTO －　：自動でアイリスを標準状態より暗めに調整します。 MANUAL　：手動でアイリスを調整するときに設定します。	AUTO
AVERAGE : PEAK	露出検出のしかたを平均値とピーク値の割合で設定します。 ・AVERAGE 値大 ：画面のハイライト部以外が暗くつぶれ気味のとき設定します。（例　10:0） ・PEAK 値大　：画面のハイライト部がハレーション気味のとき設定します。（例　5：5） [設定値 10：0，9：1，8：2，7：3，6：4，5：5]	8：2
ExDR モード	ExDR 機能は、シャッタースピード1/100 秒で撮影した映像と高速シャッターで撮影した映像を合成することにより、照度差のある被写体でも撮影することができます。 シャッター項目を 1/250 以上に設定すると“- - -”と表示され ExDR は機能しません。 OFF　：ExDR は機能しません。 ON　：ExDR は機能します。	OFF
ExDR レベル	ExDR モード時、被写体のどの明るさを見やすくするかを設定します。 ・被写体の低輝度部を見やすく　…… 数字を大きく ・被写体の高輝度部を見やすく　…… 数字を小さく [設定値：－ 5 ～ ノーマル ～ 5] **MEMO** ● 被写体の照度差が大きい場合、ExDR レベルを可変させても映像が変化しない場合がありますが、これは本機の特性で故障ではありません。 ● シャッター項目を1/250以上に設定すると“---”と表示され、ExDR レベル項目の設定変更はおこなえません。 ● ExDRモード項目がOFFに設定されているとExDRレベル項目の設定変更はおこなえません。	ノーマル
BLC	逆光補正機能を設定します。被写体の背景に明るい光源などがあり、オートアイリス機能で被写体が暗くなってしまう場合に設定します。不要な光源が測光エリア外となるようにします。  **MEMO** ExDRモード 項目（☞29ページ）がON に設定されている場合、BLC 項目はOFF に設定され“---”と表示されます。この時BLC項目の設定変更はおこなえません。	OFF

オートパン／トレース映像設定画面（つづき）

項　目	機　能　と　設　定　値	初　期　値
ホワイトバランス	ホワイトバランス調整機能を設定します。色温度2500K～8000Kの範囲内の照明に対して調整できます。 ATW　：Auto-Tracking White Balance（自動色温度追尾)モードになります。照明の色温度に応じて自動的にホワイトバランスを調整します。ATW 設定時は、R-B ゲイン , M-G ゲイン 項目は“- - -”と表示され、色相調整はおこなえません。 AWC　：Auto White Control（自動白バランス調整)モードとなり、“セットキーで開始します”と表示されます。セットボタンを押すと AWC が機能し、白バランスを調整します。	ATW
R-B ゲイン	AWC 時の R（赤)、B（青)の色相を調整します。 青色を強調　…… 数字を小さく 赤色を強調　…… 数字を大きく [設定値　0 ～ 255]	95
M-G ゲイン	AWC 時の M（マゼンタ)、G（緑)の色相を調整します。 緑色を強調　…… 数字を小さく マゼンタ色を強調　…… 数字を大きく [設定値　0 ～ 255]	63

プライベートマスクの設定

撮影画面で映したくない部分を灰色にするプライベートマスクの設定をおこないます。
設定は表示画面中に 4 か所、カメラ全体で 8 か所設定できます。



1. カメラを選択(☞ RM-P2200「取扱説明書」)
カメラボタン→テンキーボタン（カメラ番号）→確定ボタン

選択カメラの映像が出力されます。

2. 画角を設定

・パン / チルトレバーおよびレンズボタンでプライベートマスクを機能させる画角を設定します。

3. カメラメニュー設定画面を表示(☞19ページ*2.*～ *6.*)

カメラメニュー設定画面が表示されます。

4. パン／チルトレバーを上下に動かし、カーソル(>)をカメラ機能項目に移動し、セットボタンを押す

カメラ機能画面が表示されます。

5. カーソル(>)をプライベートマスク項目に移動し、セットボタンを押す

プライベートマスク画面が表示されます。

6. 機能の ON/OFF を設定

モード項目がONでプライベートマスクが機能、OFFで機能しません。
(初期値：OFF)

7. マスク番号を選択

マスクNO1 ～８でプライベートマスクするNO を選択してからカーソルをマスク編集項目に移動します。
一画面に設定できるのはそのうちの４ か所のみです。
すでに設定されたマスク番号を選択した時は(＊)マークが表示されます。

8. マスク範囲を設定

・マスク編集 項目にカーソルを移動し、セットボタンを押しマスク編集 画面を表示させます。(マスクエリアが灰色に表示されます)
・パン/チルトレバーでマスクをかける中心に灰色部を移動させます。
・望遠ボタン、広角ボタンでマスクをかける範囲を設定します。

9. メニューボタンを押す

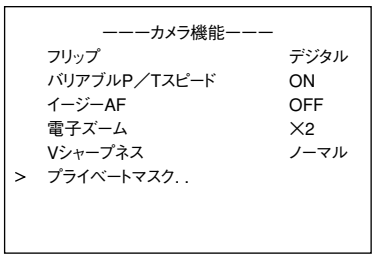
・上位メニュー画面(プライベートマスク 画面)にもどります。
・プライベートマスクエリアを消去する場合は、マスク削除項目を選択し、削除にカーソルを移動し、セットボタンを押します。
データ消去後に、プライベートマスク画面にもどります。
消去をやめる場合は、中止項目を選択しセットボタンを押します。

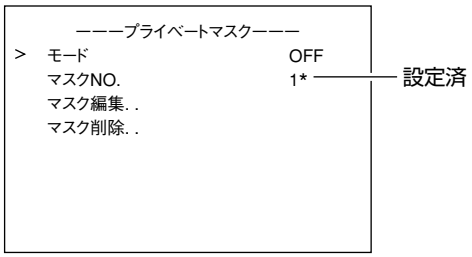
10. 6. ～ *9.* を繰り返す

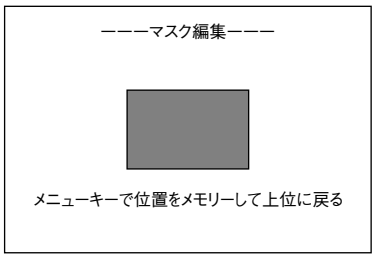
11. メニューボタンを押す

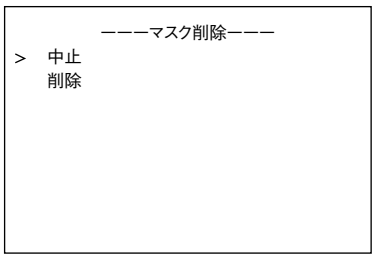
―― *MEMO* ――

- 設定されたプライベートマスク範囲でもカメラの向き、またはズーム位置によっては対象物が映ってしまう場合があります。必ず設定後にカメラの向きとズーム位置を動かしてプライベートマスク設定範囲が映らないことを確認してください。また対象物が映ってしまう場合は“8. マスク範囲を設定”でマスク範囲を大きく設定してください。
- 電源投入直後の初期動作時は、プライベートマスク機能は正常に動作しません
- 電子増感 の倍率が高いほどプライベートマスク範囲でもカメラの向きによっては映ってしまう場合があります。
- マスクが5 つ以上設定されている画面を映した場合は、全画面にマスクが表示されます。



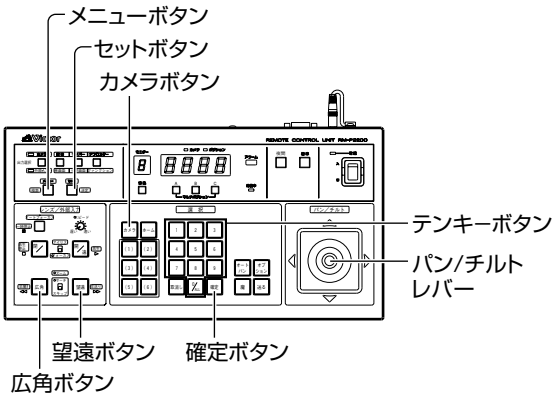


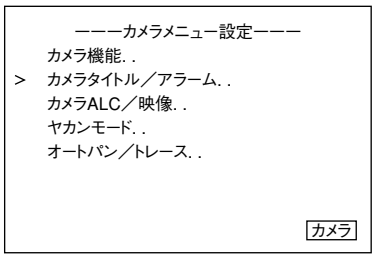




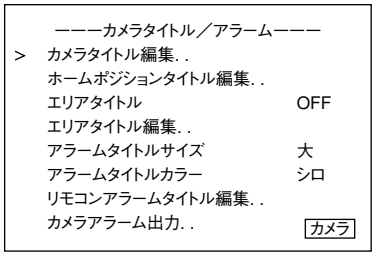
カメラタイトルの設定

タイトルを最大 16 文字まで設定できます。
画面左下に常に表示されます。

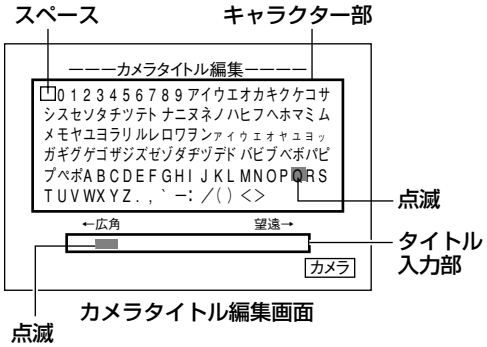




カメラメニュー設定画面



カメラタイトル／アラーム画面



カメラタイトル編集画面

1. カメラを選択(☞RM-P2200「取扱説明書」)

カメラボタン→**テンキー**ボタン(カメラ番号)→**確定**ボタン

選択カメラの映像が出力されます。

2. カメラメニュー設定画面を表示(☞19ページ*2.*～*6.*)

カメラメニュー設定画面が表示されます。

3. パン/チルトレバーを上下に動かし、カーソル(>)をカメラタイトル／アラーム項目に移動し、セットボタンを押す

カメラタイトル／アラーム画面が表示されます。

4. カメラタイトル編集にカーソル(>)があることを確認し、セットボタンを押す

- カメラタイトル画面が表示されます。
- キャラクター部とタイトル入力部の1文字目が点滅し入力状態となります。

5. パン/チルトレバーを上下左右に動かし、キャラクター部から1文字目を選択する

- 選択した文字は点滅表示します。
- 選択した文字はタイトル入力部に表示されます。

6. 望遠ボタンを押す

- タイトルの１文字目が確定し、２文字目が入力状態となります。
- 広角ボタンを押すと、タイトル入力部の点滅位置が左に移動します。設定したタイトルを修正するときに使用します。

7. *5.*～*6.*を繰り返す

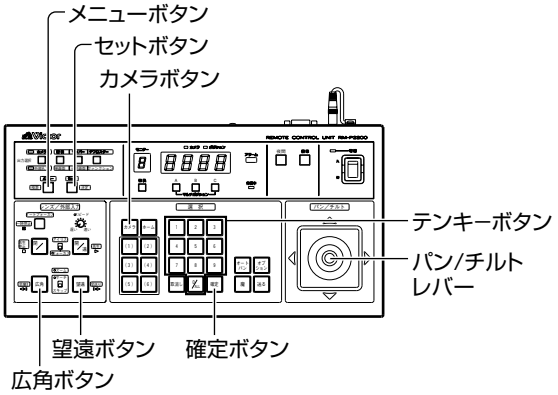
カメラタイトルを全て入力します。

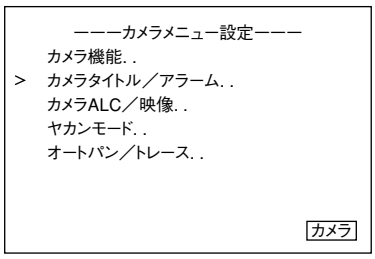
8. メニューボタンを押す

- 上位メニュー画面が表示されます。
- 複数のカメラタイトルを設定する場合は、*1.*～*7.*を繰り返しおこなってください。

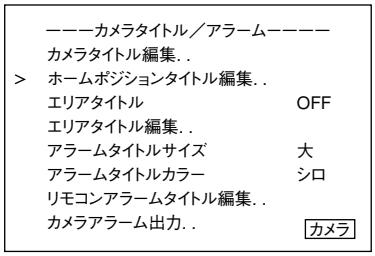
ホームポジションタイトルの設定

タイトルを最大２行 40 文字まで設定できます。
カメラがホームポジションの画面下に表示されます。

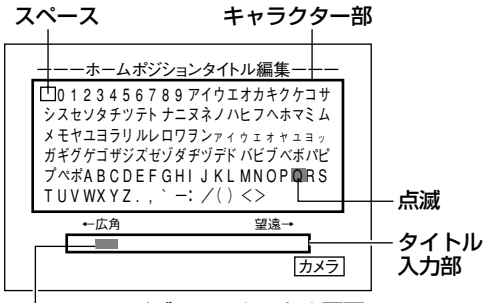




カメラメニュー設定画面



カメラタイトル／アラーム画面



ホームポジションタイトル画面

点滅

1. カメラを選択(☞RM-P2200「取扱説明書」)カメラボタン→テンキーボタン(カメラ番号)→確定ボタン

選択カメラの映像が出力されます。

2. カメラメニュー設定画面を表示(☞19ページ*2.*～ *6.*)

カメラメニュー設定画面が表示されます。

3. パン／チルトレバーを上下に動かし、カーソル(>)をカメラタイトル／アラーム項目に移動し、セットボタンを押す

カメラタイトル／アラーム 画面が表示されます。

4. ホームポジションタイトル編集にカーソル(>)があることを確認し、セットボタンを押す

・ホームポジションタイトル 画面が表示されます。
・キャラクター部とタイトル入力部の 1 文字目が点滅し入力状態となります。

5. パン／チルトレバーを上下左右に動かし、キャラクター部から1文字目を選択する

・選択した文字は点滅表示します。
・選択した文字はタイトル入力部に表示されます。

6. 望遠ボタンを押す

・タイトルの1 文字目が確定し、2 文字目が入力状態となります。
・広角ボタンを押すと、タイトル入力部の点滅位置が左に移動します。設定したタイトルを修正するときに使用します。

7. *5.*～ *6.*を繰り返す

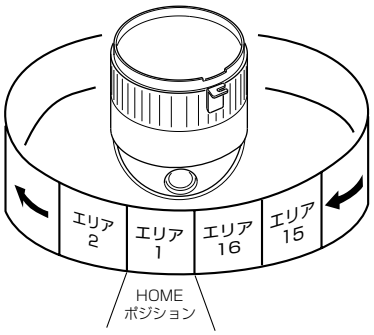
ホームポジションタイトルを全て入力します。

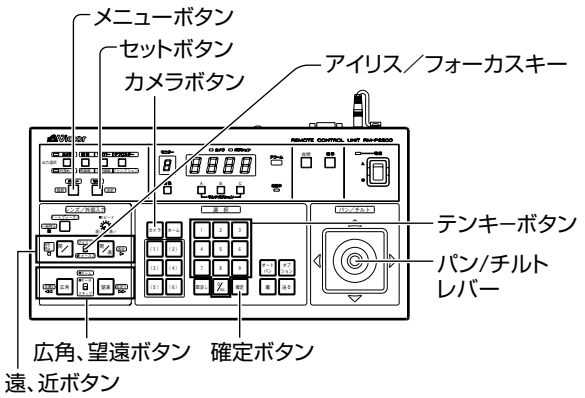
8. メニューボタンを押す

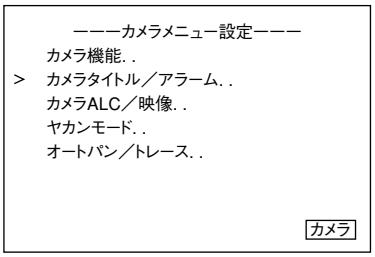
・上位メニュー画面が表示されます。
・複数のカメラタイトルを設定する場合は、 *1.*～ *7.*を繰り返しおこなってください。

エリアタイトルの設定

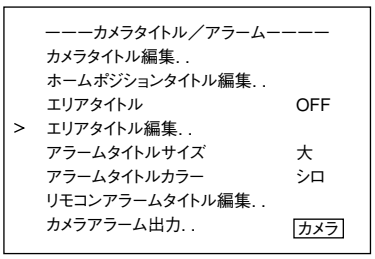
360°のパンニング(水平回転)範囲を 16 エリアに等分割し、カメラを手動で回転させるとき、エリアタイトルを画面に表示します。各エリアに 16 文字まで設定できます。(エリアタイトル表示の入 / 切 ☞ 23 ページエリアタイトル項目)



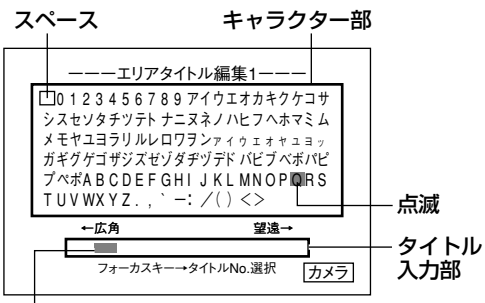




カメラメニュー設定画面



カメラタイトル／アラーム画面



エリアタイトル編集画面

1. カメラを選択(☞ RM-P2200「取扱説明書」)
カメラボタン→テンキーボタン(カメラ番号)
→確定ボタン

選択カメラの映像が出力されます。

2. カメラメニュー設定画面を表示(☞19ページ*2.*～ *6.*)

カメラメニュー設定画面が表示されます。

3. パン／チルトレバーを上下に動かし、カーソル(>)をカメラタイトル／アラーム項目に移動し、セットボタンを押す

カメラタイトル／アラーム 画面が表示されます。

4. エリアタイトル編集項目にカーソル(>)を移動し、セットボタンを押す

・エリアタイトル編集 1 画面が表示されます。
(ホームポジションはエリアタイトル 1 に対応)
・キャラクター部とタイトル入力部の 1 文字目が点滅し、入力状態となります。

5. パン／チルトレバーを上下左右に動かし、キャラクター部から 1 文字目を選択する

・選択した文字は点滅表示します。
・選択した文字はタイトル入力部に表示されます。

6. 望遠ボタンを押す

・タイトルの 1 文字目が確定し、2 文字目が入力状態となります。
・広角ボタンを押すと、タイトル入力部の点滅位置が左に移動します。設定したタイトルを修正するときに使用します。

7. アイリス／フォーカスキーをフォーカスにして、遠ボタンを押す

・カメラが次のエリアに移動し、エリアタイトル 2 画面が表示されます。
・近ボタンを押すと前のエリアに戻り、前のエリアタイトル 1 画面が表示されます。

8. *5.* ～ *7.* を繰り返す

・全てのエリアタイトルを入力します。

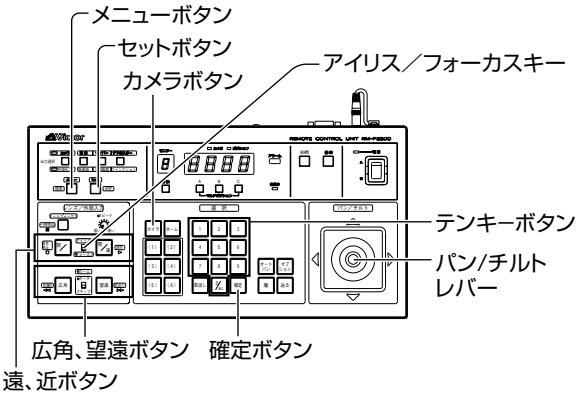
9. メニューボタンを押す

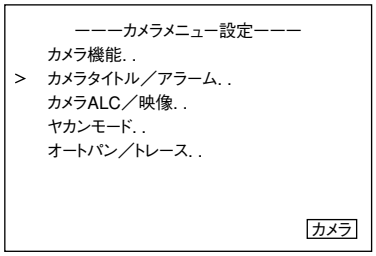
・上位メニュー画面が表示されます。

リモコンアラームタイトルの設定

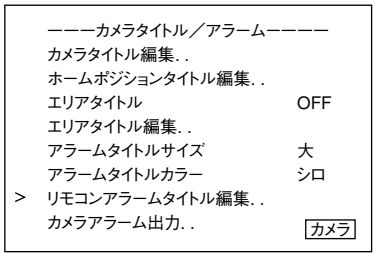
アラーム入力時、表示するタイトルを設定します。

タイトルは 10 種類(リモコンアラームタイトル 1 ～ 10)設定でき、それぞれ 12 文字設定できます。

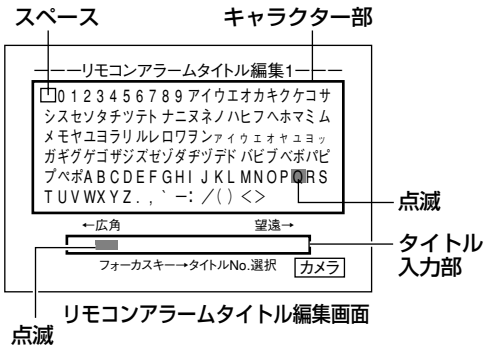




カメラメニュー設定画面



カメラタイトル／アラーム画面



リモコンアラームタイトル編集画面

1. カメラを選択(☞ RM-P2200「取扱説明書」)カメラボタン→テンキーボタン(カメラ番号)→確定ボタン

選択カメラの映像が出力されます。

2. カメラメニュー設定画面を表示(☞19ページ*2.*～ *6.*)

カメラメニュー設定画面が表示されます。

3. パン／チルトレバーを上下に動かし、カーソル(>)をカメラタイトル／アラーム項目に移動し、セットボタンを押す

カメラタイトル／アラーム 画面が表示されます。

4. リモコンアラームタイトル編集項目にカーソル(>)を移動しセットボタンを押す

・リモコンアラームタイトル 1 画面が表示されます。
・キャラクター部とタイトル入力部の 1 文字目が点滅し、入力状態となります。

5. パン／チルトレバーを上下左右に動かし、キャラクター部から1文字目を選択する

・選択文字は点滅表示します。
・選択文字はタイトル入力部に表示されます。

6. 望遠ボタンを押す

・タイトルの 1 文字目が確定し、2 文字目が入力状態となります。
・広角ボタンを押すと、タイトル入力部の点滅位置が左に移動します。設定したタイトルを修正するときに使用します。

7. アイリス／フォーカスキーをフォーカスにして、遠ボタンを押す

・次のアラーム入力(リモコンアラームタイトル 2)画面が表示されます。
・近ボタンを押すと、前のアラーム入力画面に戻ります。

8. *5.*～*7.* を繰り返す

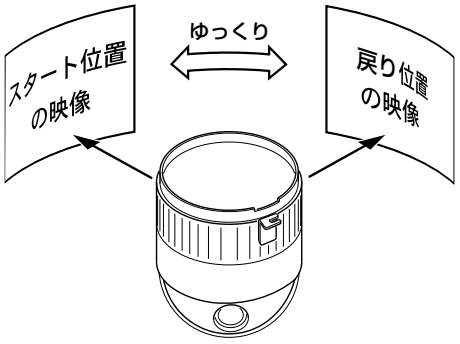
・全てのアラーム入力画面(リモコンアラームタイトル1 ～ 10)において、タイトルを設定します。

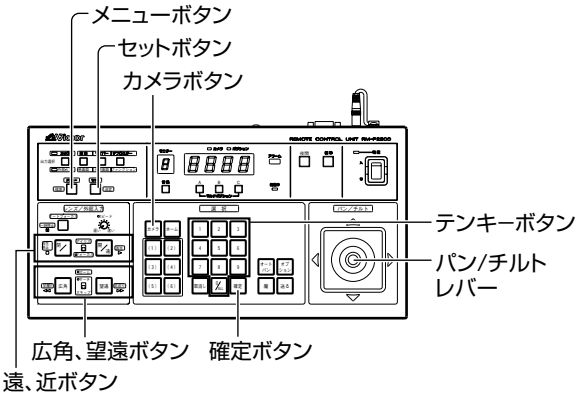
9. メニューボタンを押す

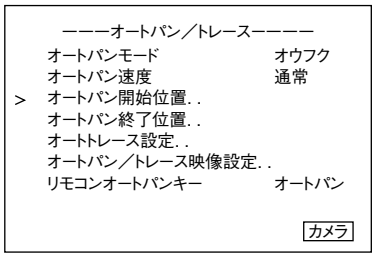
上位メニュー画面が表示されます。

オートパンの設定

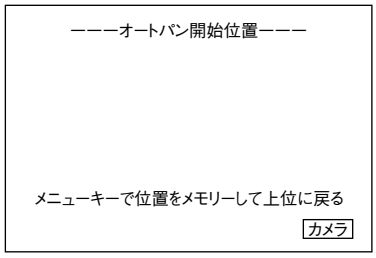
ゆっくり水平方向に回転するオートパン機能を設定します。
オートパンモードには、2 点間をオウフク，右回転，左回転の 3 つのモードがあります。



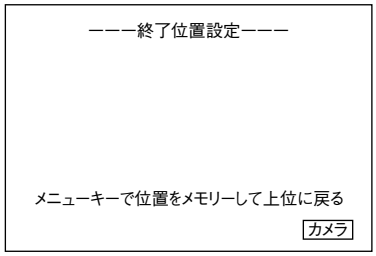




オートパン／トレース画面



開始位置設定画面



終了位置設定画面

1. カメラを選択(☞RM-P2200「取扱説明書」)

カメラボタン→**テンキー**ボタン(カメラ番号)→**確定**ボタン

選択カメラの映像が出力されます。

2. カメラメニュー設定画面を表示(☞19 ページ *2.*～ *6.*)

カメラメニュー設定画面が表示されます。

3. パン/チルトレバーを上下に動かし、カーソル(>)をオートパン/トレース項目に移動し、セットボタンを押す

オートパン／トレース画面が表示されます。

4. モードとスピードを設定

- オートパンモード項目でオートパンの動作を設定します。
  オウフク(2 点間の往復)、右回転、左回転
- オートパン速度項目で、オートパンの回転速度を設定します。
  低速、中速、高速

5. オートパン開始位置項目にカーソル(>)を移動し、セットボタンを押す

開始位置設定画面が表示されます。

6. スタート位置の画角を合わす

- パン/チルトレバー、フォーカス、ズームボタンで画面を合わせます。
- 戻り位置で上下方向およびフォーカス、ズームなどのレンズ操作はおこなえません。

7. メニューボタンを押す

- オートパン／トレース画面に " データをメモリーしました " と表示されスタート位置の画角が登録されます。

8. オートパン終了位置項目にカーソル(>)を移動しセットボタンを押す(オウフクモードのみ)

終了位置設定画面が表示されます。

9. 戻り位置の画角を合わす(オウフクモードのみ)

左右パン方向にカメラを移動し、画角を合わせます。

MEMO

- 戻り位置での上下(チルト)方向の移動およびレンズ操作はおこなえません。
- カメラが移動中に、セットボタン、またはメニューボタンを押すと、正しい設定データが書き込まれません。必ずカメラが停止していることを確認してからセットボタンまたはメニューボタンを押してください。

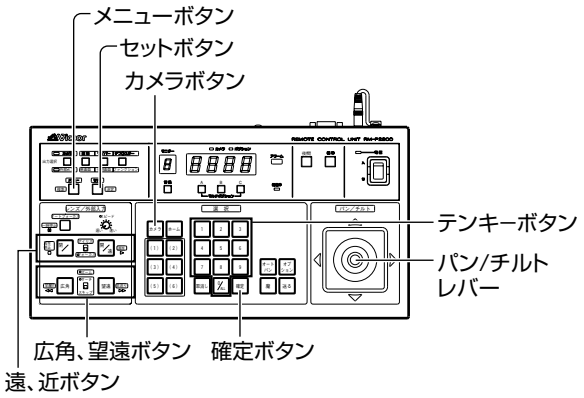
10. メニューボタンを押す

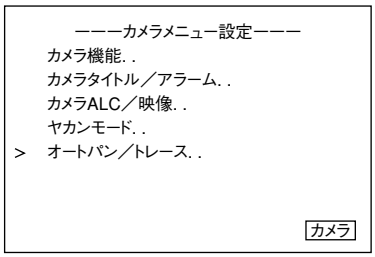
上位メニュー画面にもどります。

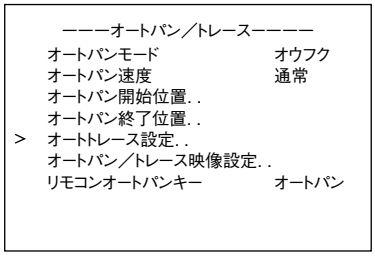
設定後、カメラをオートパン動作させるには、RM-P2200 のオートパンボタンを押します。
☞ RM-P2200 取扱説明書「オートパン動作」

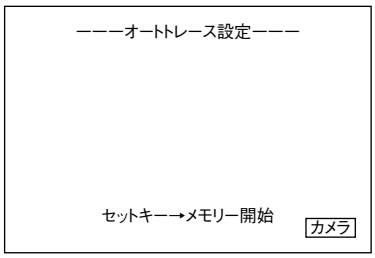
オートトレースの設定

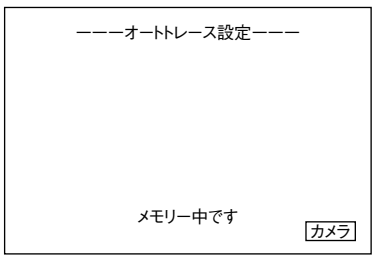
手動でカメラ操作した内容を再現するオートトレース機能を(約 30 秒間)を設定します。











1. カメラを選択(☞RM-P2200「取扱説明書」)カメラボタン→テンキーボタン(カメラ番号)→確定ボタン

選択カメラの映像が出力されます。

2. カメラメニュー設定画面を表示(☞19ページ*2.*～ *6.*)

カメラメニュー設定画面が表示されます。

3. パン／チルトレバーを上下に動かし、カーソル(>)をオートパン／トレース項目に移動し、セットボタンを押す

オートパン／トレース 画面が表示されます。

4. カーソルをオートトレース設定項目に移動し、セットボタンを押す

オートトレース設定 画面が表示されます。

5. 開始位置の設定

パン/チルトレバー、フォーカス、ズームボタンなどでオートトレース機能の開始位置を設定します。

6. セットボタンを押す(記憶開始)

・オートトレース記憶状態となりますので、パン / チルトレバー、フォーカス、ズームボタンでカメラを操作します。
・オートトレース機能は最大約30秒間記憶され、その間“メモリー中です”と表示されます。
・約 30 秒経過後、自動的に記憶は終了します。
・30 秒以内に記憶を終了する場合のみ 7. をおこなってください。
・操作する内容により、記憶する時間は短くなることがあります。(最少約 10 秒)

7. セットボタンを押す(記憶終了)

・オートトレース記憶状態は終了します。

8. メニューボタンを押す。

オートパン／トレース 画面にもどります。

MEMO

●電子ズームは最大2倍まで設定・動作できます。

オートトレース動作をさせるには

設定後カメラをオートトレース動作させるには、まずRM-P2200のオートパンボタンにオートトレース機能を設定する必要があります。

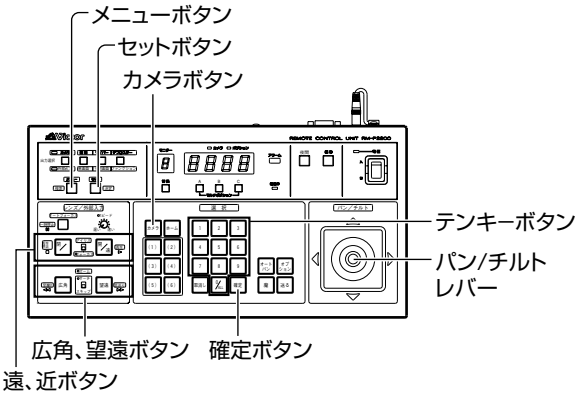
☞26 ページ「リモコンオートパンキー項目」

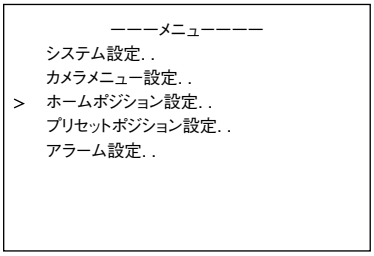
オートトレース機能を設定したボタンを押すと、ボタンランプが点灯し、オートトレース動作を開始します。オートトレース動作は動作終了後 30 秒間停止したのち繰り返し動作します。

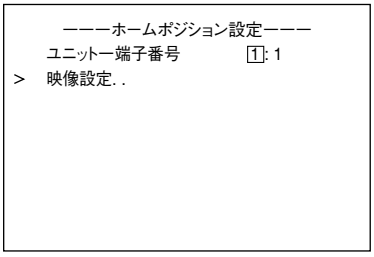
動作を終了するには、オートトレース機能を設定したボタンをもう一度押しボタンランプを消灯させます。

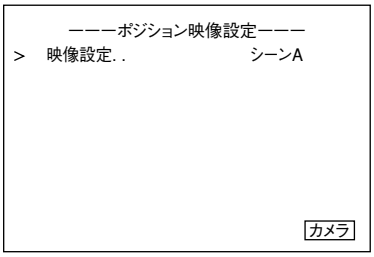
オートホワイトバランス調整

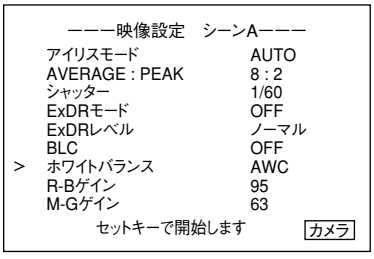
光源により光の色(色温度)が異なるため、被写体を照らす主要な光源が変わったときは、ホワイトバランス項目を AWC に設定してホワイトバランスを再調整してください。

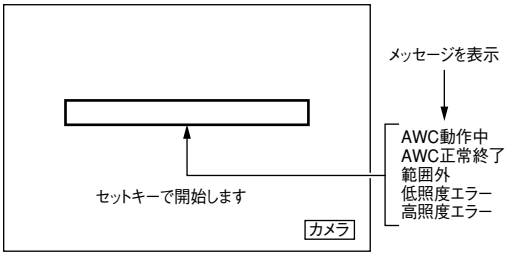












注記

映像設定シーン画面を表示するには下記に示すホームポジション設定から入る方法とプリセットポジション設定から入る方法の2とおりがあります。プリセットポジション設定から入る方法はP20のメニュー画面の流れを参照して操作してください。

1. 画面の中心附近に被写体と同じ照明条件のところに白いものを置き、ズームアップして画面に白を映します。

2. メニュー画面を表示 (☞19ページ *2.*～ *4.*)
パン／チルトレバーでホームポジション設定項目選択→セットボタン

カメラはホームポジションに移動します。
ホームポジション設定画面が表示されます。

3. パン／チルトレバーを上下に動かし、カーソル(>)を映像設定項目に移動し、セットボタンを押す

ポジション映像設定画面が表示されます。

4. 映像設定シーン A 画面を表示

パン／チルトレバーでシーンを選択→セットボタン
映像設定シーン画面が表示されます。

5. カーソルをホワイトバランス項目に移動し、パン／チルトレバーでAWCに設定します。

画面に“セットキーで開始します”が表示されます。

6. セットボタンを押す(調整開始)

オートホワイトバランス調整機能が動作中、画面に“AWC 動作中”と表示します。
正しくホワイトバランスがとれると、“AWC 正常終了”と表示します。

7. エラー表示

オートホワイトバランス調整が正常に終了しなかった場合、下記のようなメッセージを表示します。

- **範囲外(被写体不良)**
  被写体の白が少ない時や色温度が適正でないときなどに表示されます。
  白い被写体が画面に十分になるようにして、再びホワイトバランスを取り直してください。
- **低照度エラー(光量不足)**
  照明が暗いときに表示されますので照明を明るくしてホワイトバランスを取り直してください。
- **高照度エラー(光量過剰)**
  照明が明るすぎるときに表示されますので照明を暗くしてホワイトバランスを取り直してください。

MEMO

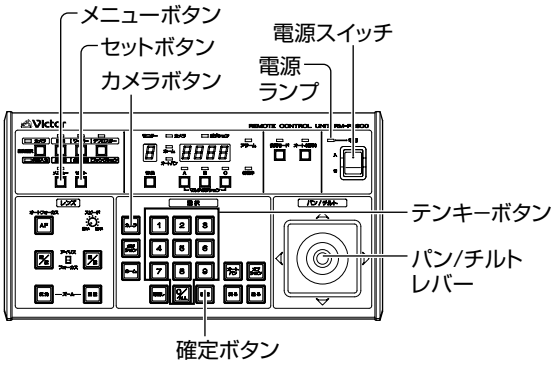
白黒モードで動作中はAWCに設定してもホワイトバランスは再調整されません。

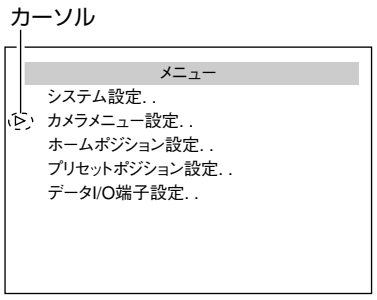
RM-P2600からカメラの設定を変える

設定方法

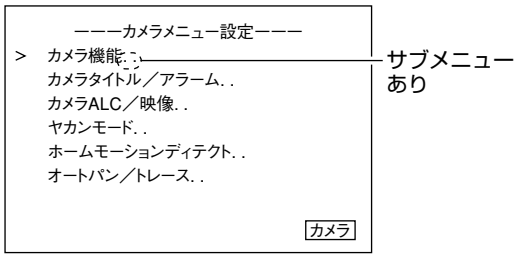
リモートコントロールユニットRM-P2600を使用したシステムの場合、カメラ側メニューをリモコンから呼び出し、機能設定をおこなうことができます。
（RM-P2600の「取扱説明書」をあわせてご覧ください。）

＜RM-P2600からカメラ側メニューの設定をおこなう方法＞

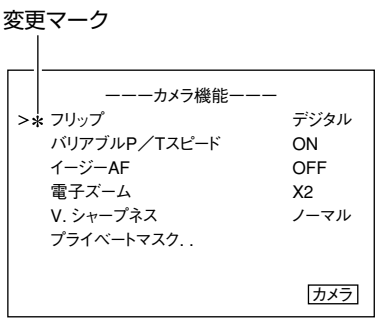




メニュー画面



カメラメニュー設定画面



サブメニュー画面例

1. 電源スイッチを“ON”にする

電源ランプが点灯します。

2. メニューボタンを1秒間押す

・パスワード入力画面が表示されます。

3. テンキーボタンでパスワード“2222”を入力する

4. 確定ボタンを押す

・メニュー画面が表示されます。
・「パスワードが正しくありません」と表示された場合は、正しいパスワードを再入力してください。

5. パン／チルトレバーを上下に動かし、カーソル(>)を、カメラメニュー設定項目に移動する

・レバーを上側(▲)に押すと、カーソルは上に移動します。
・レバーを下側(▼)に押すと、カーソルは下に移動します。

6. セットボタンを押す

・カメラメニュー設定画面が表示されます。
・項目の最後に“‥”が付いているものは、サブメニューがあります。

7. パン／チルトレバーを上下に動かし項目を選択する

8. セットボタンを押す

・カメラ側のサブメニュー画面が表示されます。

9. パン／チルトレバーを左右に動かし、項目の値を変更する

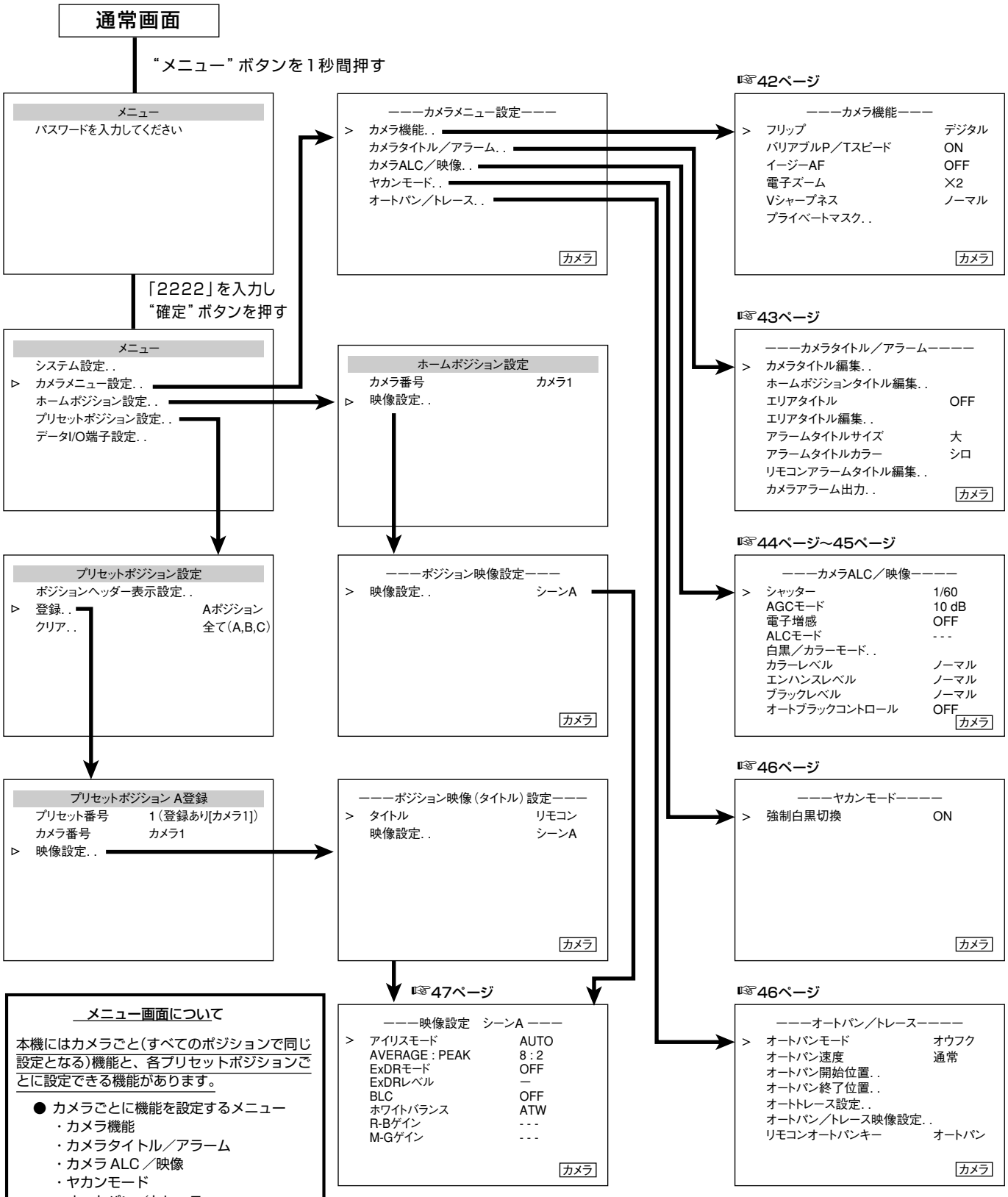
・レバーを左側(◀)に押すと、数値が小さくなります。
・レバーを右側(▶)に押すと、数値が大きくなります。
項目の設定値を変更すると左図のような変更マーク(*)が表示されます。
サブメニューの設定方法の詳細は、次ページ以降をご覧ください。

10. メニューボタンを押す

項目の設定が終わったら、メニューボタンを押し、上位メニュー画面にもどします。

メニュー画面の流れ

メニュー画面は下図のような流れになっています。（詳細は各項目内に記載されている参照ページをご覧ください）



メニュー画面について

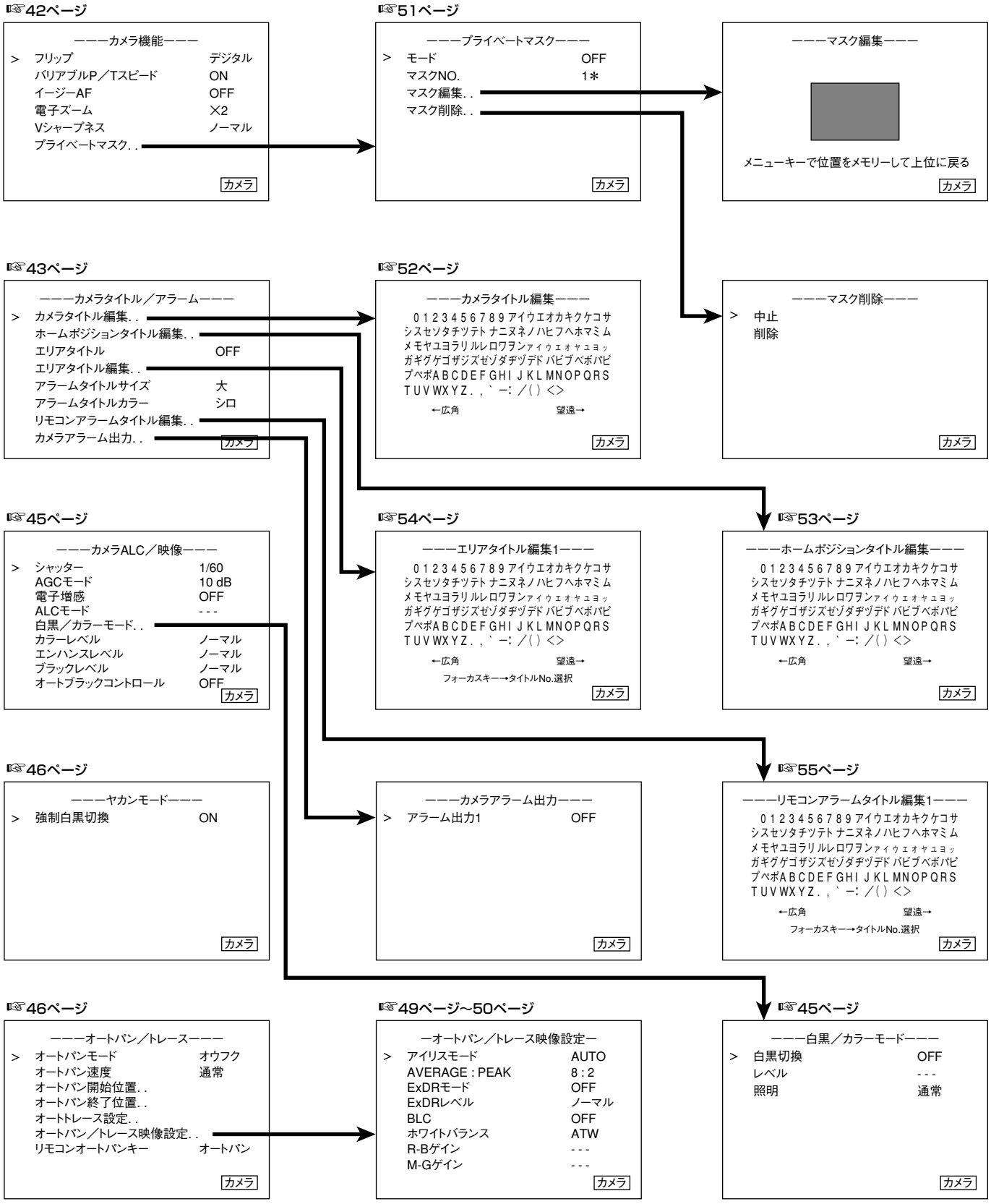
本機にはカメラごと（すべてのポジションで同じ設定となる）機能と、各プリセットポジションごとに設定できる機能があります。

- カメラごとに機能を設定するメニュー
  - ・カメラ機能
  - ・カメラタイトル／アラーム
  - ・カメラ ALC ／映像
  - ・ヤカンモード
  - ・オートパン／トレース
- 各プリセットポジションに対して設定するメニュー
  - ・ポジション設定→映像設定

ポジションごとの映像設定で用いるシーンファイルについて

本機では、ポジションごとに細かな映像設定ができるよう、あらかじめ A-H ８種のシーンファイルを用意しています。
各シーンファイルの内容は自由に設定し保存しておくことができます。そして、各プリセットポジションごとに A-H のうち好みのシーンファイルを選ぶことで、各プリセットポジションへの映像設定を行ないます。

メニュー画面の流れ（つづき）



カメラ機能画面

カメラのもつ機能を設定します。

項　目	機　能　と　設　定　値	初　期　値
フリップ	OFFに設定したときは、垂直回転動作をすると、本機は真下を向いたところで停止します。被写体が真下を通過する場合のカメラ操作は、①真下に向ける②水平に 180˚ 回転させる③上に向ける。この 3 つの手順が必要です。 オートフリップ機能を使うと、この手順を減らすことができます。カメラの真下を通る被写体を撮影するときに設定します。 OFF　　：オートフリップ 機能は動作しません。 デジタル ：カメラが真下を過ぎ135˚の位置で、映像の上下左右が反転します。 オート　：カメラが真下の位置にくると 180˚ 水平回転し、止まります。	デジタル
バリアブルP／Tスピード	レンズのズームに応じて、パン（水平回転）、チルト（垂直回転）の動作速度を自動的に可変します。ズームレンズを望遠側にすると、パン、チルトの速度は遅くなり、広角側にすると、パン、チルトの速度は早くなります。ズーム比の異なる被写体を撮影する場合に設定します。 OFF ：機能しません。 ON　：機能します。	ON
イージー AF	ON に設定すると手動でパン、チルト、ズーム操作をおこなっている間、自動的にオートフォーカス（AF）が働きます。手動で操作することが多い場合、カメラを動かすごとにフォーカスを取り直す必要がなく便利です。 OFF ：機能しません。 ON ：機能します。 **MEMO** オートフォーカスは被写体によって十分にピントが合わないことがあります。（☞5 ページ） その場合は手動でピントを合わせてください。	OFF
電子ズーム	ズームレンズを望遠側にすると、光学ズームが機能しその後電子ズームが機能します。この電子ズーム機能の最大値を設定します。 [設定値：× 1，× 2] **MEMO** ●電子ズームは映像をデジタル処理するため、多少映像品質が劣化します。 ●電子ズームの倍率を上げていくと、画面中心が左上方向にずれますが、これは本機の特性であり故障ではありません。 ●光学ズームから電子ズームへ連続動作しません。光学ズームがTELE端にきたら、望遠ボタンを押し直してください。	× 2
V シャープネス	映像の垂直方向に対する鮮明度を設定します。 ノーマル　：鮮明度は普通です。 高い　　：鮮明な映像になります。 **MEMO** “高い”に設定時、次のような現象が見られることがありますが、故障ではありません。 ・高輝度の被写体を写すと横しまが発生することがあります。 ・低照度時にうすい横しまが発生することがあります。	ノーマル
プライベートマスク. .	撮影画面の中で、映したくない部分を設定し、その部分だけを灰色にし、映さないようにする機能です。設定した部分は、パン、チルト、ズームに連動して移動します。 ☞51 ページ「プライベートマスクの設定」	―

カメラタイトル／アラーム画面

タイトルおよびアラームについての設定をします。

項　目	機　能　と　設　定　値	初　期　値
カメラタイトル編集..	画面左下に常に表示されるタイトルを設定します。タイトルは最大16文字まで設定できます。 ☞52ページ「カメラタイトル の設定」	**―**
ホームポジション タイトル編集..	ホームポジションタイトルの設定画面です。 ☞53ページ「ホームポジションタイトルの設定」	**―**
エリアタイトル	水平回転範囲360°を16エリアに等分し、各エリアに16文字のタイトルを設定することができます。カメラを手動でパンニング（水平回転)させると、設定したエリアタイトルを表示します。 ON　：エリアタイトルを表示します。 OFF ：エリアタイトルを表示しません。	**OFF**
エリアタイトル編集..	エリアタイトルの設定画面です。 ☞54ページ「エリアタイトル の設定」	**―**
アラームタイトル サイズ	アラーム時に表示するタイトルのサイズを設定します。 小 ：メニュー画面の文字と、同じサイズです。 大 ：メニュー画面の文字に比べ縦・横2 倍サイズです。	**大**
アラームタイトル カラー	アラーム時に表示するタイトルの色を設定します。 [設定値：シロ，ミドリ，ミズイロ，キイロ]	**シロ**
リモコンアラーム タイトル編集..	アラーム時に表示するタイトルの設定画面です。 ☞55ページ「リモコンアラームタイトル の設定」	**―**
カメラアラーム 出力..	天井取付金具にあるアラーム出力端子についての設定をおこないます。	**―**
アラーム出力1	アラーム出力1 端子についての設定をおこないます。 OFF ：アラームは出力しません。 白黒 ：本機が白黒モードになった時、アラーム信号を出力します。 ***MEMO*** ● アラーム出力端子は、メカニカルリレーを使用しているため、静かな場所ではリレーの動作音が気になる場合があります。 ● アラーム出力端子は、メカニカルリレーを使用しているため、頻繁にアラームとなる信号で使用した場合、リレーの寿命を縮めてしまいますので御注意ください。リレーの寿命は20万動作です。リレーは消耗部品であり、保証期間内であっても交換は有料となります。	**OFF**

カメラ ALC ／映像画面

明るさにより自動的に調整をおこないます。
カラーレベル、輪郭強調などカメラの映像信号についての設定をおこないます。

項　目	機　能　と　設　定　値	初　期　値
シャッター	電子シャッターのスピードを設定します。 電子増感項目を×2以上に設定すると、可変できる設定値は1/60と1/100のみです。 **[設定値： 1/60, 1/100, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000, 1/4000, 1/10000]** ***MEMO*** ●商用電源周波数50Hz地域ではシャッタースピードを1/100に、60Hz地域では1/60に設定すると、蛍光灯などのチラツキを軽減することができます。 ●シャッタースピードは、高速になるほど明るい光源の上下に白い帯のような線が発生するCCD特有のスミア現象が強調されます。	1/60
AGC モード	光量の少ない被写体で電気的に感度を上げるAGC（自動ゲイン調整)の最大ゲインを設定します。 OFF　：自動ゲイン調整はおこないません。 10 dB　：被写体の明るさに応じて最大 10 dB までゲインを上げます。 20 dB　：被写体の明るさに応じて最大 20 dB までゲインを上げます。 スーパー　：20 dB に設定しても明るさが不足のときに設定します。 ***MEMO*** ●白黒 項目がオート に設定されている場合は、AGC モード 項目がスーパー のときは［スーパー］を、その他の設定時は［20 dB］を表示して、表示した値までゲインを上げます。 ●ゲインを上げると暗い場所では画面がザラ付きます。 ●スーパーに設定すると、急激なレベル変化に対しては動作時間がかかることがあります。	10 dB
電子増感	電子増感は、露光時間を長くして感度を上げる機能です。（電子感度アップ） この項目では被写体が暗くなったとき、感度が自動的に何倍まで上るかを設定します。 × 32 の場合、標準レベルに比べ32 倍まで自動的に連続で感度があがります。感度が上がるとシャッタースピードが遅くなるため動きは不自然なものとなります。シャッター項目を 1/250 以上に設定すると“- - -”と表示され電子増感は機能しません。 [設定値：OFF, × 2, × 4, × 8, × 16, × 24, × 32] ***MEMO*** 電子増感の倍率を上げると、画面がザラついたり白っぽくなったり、白キズが現れる場合がありますが、異常ではありません。	OFF
ALC モード	被写体が暗くなったとき、動きを優先するか、画像を優先するかを設定します。 ウゴキ優先　：動きを優先します。 被写体が暗くなると、AGC（自動ゲイン調整)が優先的に機能するため、動きの早い被写体に適しています。 ガシツ優先　：画像を優先します。 被写体が暗くなると、電子増感（電子感度アップ）が優先的に機能するため、画像を優先する被写体に適しています。 ***MEMO*** ●AGC モード 項目と電子増感 項目どちらか一方でもOFF に設定されていると“---”と表示されALCモード 設定できません。 ●白黒項目がオートに設定されている場合はALCモード項目はウゴキ優先モードとなり“---”と表示されます。	**ウゴキ優先**

カメラALC／映像画面（つづき）

項　目	機　能　と　設　定　値	初　期　値
白黒／カラーモード..	白黒／カラーの切り換えに関する設定をおこないます。 **MEMO** 白黒モードでは可視光域と近赤外光域両方に感度をもつため、光源の種類によってはカラーモードから白黒モードに切り換えるとフォーカスがずれることがあります。この時は白黒モードでフォーカスを合わせなおしてください。 また、必要に応じて赤外照明を使用してください。	―
白黒切換	カラーから白黒モードに切り換える機能について設定します。 OFF　：白黒モードには切り換わりません。 ON　：いつも白黒モードとなります。 オート　：被写体の輝度が高い場合はカラーモード、低い場合は白黒モードに自動的に切り換わります。 アラーム入力１：アラーム入力があった場合、白黒モードになります。接点がショート（メイク）時は白黒モードON、オープン（ブレイク）時は白黒モードOFF となります。 **MEMO** 〈白黒／カラー切り換えを確実に行なうために〉 白黒 項目をオート に設定すると、被写体の明るさに応じて白黒／カラーの切り換えをおこなうことができますが、照明の条件や画角によっては切り換わらないことがあります。 より確実に切り換えを行なうためには、外部センサー（別途購入ください）の信号を本機のアラーム端子へ入力し、切り換えを行なうことをおすすめいたします。	OFF
オートレベル	白黒項目がオートに設定されている場合、白黒モードに切り換わる被写体の信号レベルを設定します。 低 ：被写体の信号レベルが低輝度で白黒モードに切り換わります。 中 ：被写体の信号レベルが標準で白黒モードに切り換わります。 高 ：被写体の信号レベルが高輝度で白黒モードに切り換わります。 **MEMO** 白黒項目がオート以外に設定されている場合は“---”と表示され、オートレベル項目の設定変更はおこなえません。	中
照明	白黒モード時、被写体を照らす照明により設定します。 通常 ：通常の照明はこの設定にします。 赤外 ：赤外発光の照明を使用する場合に設定します。 **MEMO** 通常の太陽光、蛍光灯下で赤外に設定すると、カラーから白黒モードに正常に切り換わりません。	通常
カラーレベル	映像信号の色レベル調整をおこないます。 色を薄くする　……　数を小さく 色を濃くする　……　数を大きく [設定値：－５～ ノーマル ～５]	ノーマル
エンハンスレベル	モニター画面上の鮮明さを強調する輪郭補正調整をおこないます。 画質をソフトにする　……　数を小さく 画質をシャープにする　……　数を大きく [設定値：－５～ ノーマル ～５]	ノーマル
ブラックレベル	映像信号のペデスタルレベル（黒の基準)の調整をおこないます。 画質を暗くする　……　数を小さく 画質を明るくする　……　数を大きく [設定値：－５～ ノーマル ～５]	ノーマル
オートブラックコントロール	AGC（自動ゲイン調整)でゲインを上げても映像の暗い部分が見えにくいときに設定します。 ON　：映像信号の黒レベルが低いと、黒の基準となるペデスタルレベルが自動的に上がり、暗い部分を見えやすくします。 OFF　：オートブラックコントロールは機能しません。	OFF

ヤカンモード画面

項　目	機　能　と　設　定　値	初　期　値
強制白黒切換	夜間モード時の白黒制御を設定します。 OFF　：夜間時の白黒制御しません。 ON　：夜間時の白黒制御します。 ***MEMO*** ”ON”に設定すると白黒切換が”OFF”、”オート”に設定されていても強制的に白黒になります。	ON

オートパン／トレース画面

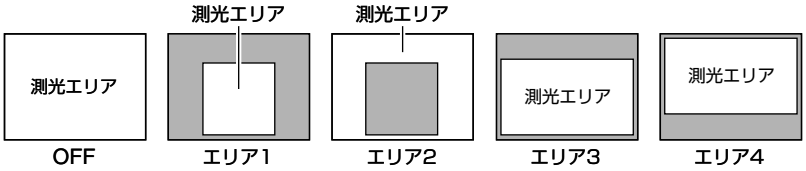
ゆっくり水平回転するオートパン機能、手動でカメラ操作した内容を再現するオートトレース機能に関する設定をおこないます。

項　目	機　能　と　設　定　値	初　期　値
オートパンモード	オートパン時の回転方向を設定します。 オウフク　：スタート位置と反転位置の往復 右回転　：右回転 左回転　：左回転 ☞56 ページ「オートパン の設定」	**オウフク**
オートパン速度	オートパン時の回転速度を設定します。 低速　：低速回転 通常　：標準回転 高速　：高速回転	**通常**
オートパン開始位置..	オートパン時の開始位置を設定します	―
オートパン終了位置..	オートパン時の反転位置を設定します。	―
オートトレース設定..	オートトレースの設定をおこないます。 ☞57 ページ「オートトレースの設定」	―
オートパン／トレース映像設定..	オートパン／トレース時の映像を設定します。	―
リモコンオートパンキー	リモコンのオートパンボタンを押すと動作する機能を設定します。 オートパン　　：オートパン機能 オートトレース　：オートトレース機能	**オートパン**

ポジション映像設定画面(シーンファイル)

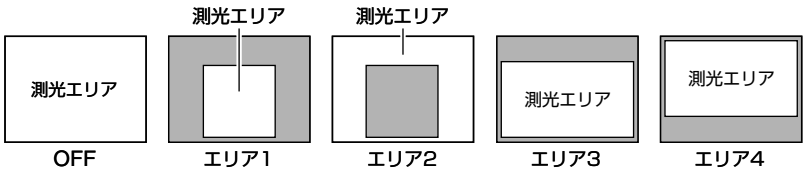
項　目	機　能　と　設　定　値	初　期　値
タイトル	プリセットポジションタイトルの表示を設定します。 リモコン　：リモートコントロールユニットRM-P2200で設定した値を表示します。カテゴリタイトル、ポジション番号、マルチポジションなどを表示します。 カメラ編集　：編集したタイトルを表示します。 SET ボタンを押して、下位メニューを起動し、設定します。 **MEMO** タイトルはホームポジション設定では表示されません。	リモコン
映像設定..	映像に関する設定をおこないます。 A～Hの8種のシーン設定をおこないます。	シーン A
アイリスモード	レンズアイリスの調整方法を設定します。 AUTO　：自動でアイリスを標準状態に調整します。 AUTO+　：自動でアイリスを標準状態より明るめに調整します。 AUTO－　：自動でアイリスを標準状態より暗めに調整します。 MANUAL　：手動でアイリスを調整するときに設定します。	AUTO
AVERAGE : PEAK	露出検出のしかたを平均値とピーク値の割合で設定します。 ・AVERAGE 値大　：画面のハイライト部以外が暗くつぶれ気味のとき設定します。(例　10:0) ・PEAK 値大　：画面のハイライト部がハレーション気味のとき設定します。(例　5：5) [設定値 10：0，9：1，8：2，7：3，6：4，5：5]	8：2
ExDR モード	ExDR 機能は、シャッタースピード1/100 秒で撮影した映像と高速シャッターで撮影した映像を合成することにより、照度差のある被写体でも撮影することができます。 シャッター項目を 1/250 以上に設定すると“- - -”と表示されExDR は機能しません。 OFF　：ExDR は機能しません。 ON　：ExDR は機能します。	OFF
ExDR レベル	ExDR モード時、被写体のどの明るさを見やすくするかを設定します。 ・被写体の低輝度部を見やすく　…… 数字を大きく ・被写体の高輝度部を見やすく　…… 数字を小さく [設定値：－ 5 ～ ノーマル ～ 5] **MEMO** ● 被写体の照度差が大きい場合、ExDR レベルを可変させても映像が変化しない場合がありますが、これは本機の特性で故障ではありません。 ● シャッター項目を1/250以上に設定すると“---”と表示され、ExDR レベル項目の設定変更はおこなえません。 ● ExDRモード項目がOFFに設定されているとExDRレベル項目の設定変更はおこなえません。	ノーマル

ポジション映像設定画面（つづき）

項　目	機　能　と　設　定　値	初　期　値
BLC	逆光補正機能を設定します。被写体の背景に明るい光源などがあり、オートアイリス機能で被写体が暗くなってしまう場合に設定します。不要な光源が測光エリア外となるようにします。  **MEMO** ExDRモード 項目（☞47ページ）がON に設定されている場合、BLC 項目はOFF に設定され“---”と表示されます。この時BLC項目の設定変更はおこなえません。	OFF
ホワイトバランス	ホワイトバランス調整機能を設定します。色温度2500K～8000Kの範囲内の照明に対して調整できます。 ATW ：Auto-Tracking White Balance（自動色温度追尾)モードになります。照明の色温度に応じて自動的にホワイトバランスを調整します。ATW 設定時は、R-B ゲイン , M-G ゲイン 項目は“- - -”と表示され、色相調整はおこなえません。 AWC ：Auto White Control（自動白バランス調整)モードとなり、“セットキーで開始します”と表示されます。セットボタンを押すと AWC が機能し、白バランスを調整します。	ATW
R-B ゲイン	AWC 時のR（赤)、B（青)の色相を調整します。 青色を強調　…… 数字を小さく 赤色を強調　…… 数字を大きく [設定値　0 ～ 255]	95
M-G ゲイン	AWC 時のM（マゼンタ)、G（緑)の色相を調整します。 緑色を強調　…… 数字を小さく マゼンタ色を強調　…… 数字を大きく [設定値　0 ～ 255]	63

オートパン／トレース映像設定画面

映像に関する設定をおこないます。

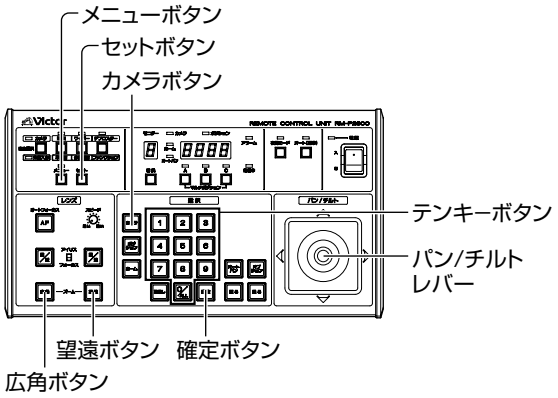
項　目	機　能　と　設　定　値	初　期　値
アイリスモード	レンズアイリスの調整方法を設定します。 AUTO　：自動でアイリスを標準状態に調整します。 AUTO+　：自動でアイリスを標準状態より明るめに調整します。 AUTO －　：自動でアイリスを標準状態より暗めに調整します。 MANUAL　：手動でアイリスを調整するときに設定します。	AUTO
AVERAGE : PEAK	露出検出のしかたを平均値とピーク値の割合で設定します。 ・AVERAGE 値大 ：画面のハイライト部以外が暗くつぶれ気味のとき設定します。（例　10:0） ・PEAK 値大　　：画面のハイライト部がハレーション気味のとき設定します。（例　5：5） [設定値 10：0，9：1，8：2，7：3，6：4，5：5]	8：2
ExDR モード	ExDR 機能は、シャッタースピード1/100 秒で撮影した映像と高速シャッターで撮影した映像を合成することにより、照度差のある被写体でも撮影することができます。 シャッター項目を 1/250 以上に設定すると“- - -”と表示され ExDR は機能しません。 OFF　：ExDR は機能しません。 ON　：ExDR は機能します。	OFF
ExDR レベル	ExDR モード時、被写体のどの明るさを見やすくするかを設定します。 ・被写体の低輝度部を見やすく　…… 数字を大きく ・被写体の高輝度部を見やすく　…… 数字を小さく [設定値：－ 5 ～ ノーマル ～ 5] **MEMO** ● 被写体の照度差が大きい場合、ExDR レベルを可変させても映像が変化しない場合がありますが、これは本機の特性で故障ではありません。 ● シャッター項目を1/250以上に設定すると“---”と表示され、ExDR レベル項目の設定変更はおこなえません。 ● ExDRモード項目がOFFに設定されているとExDRレベル項目の設定変更はおこなえません。	ノーマル
BLC	逆光補正機能を設定します。被写体の背景に明るい光源などがあり、オートアイリス機能で被写体が暗くなってしまう場合に設定します。不要な光源が測光エリア外となるようにします。  **MEMO** ExDRモード 項目（☞49ページ）がON に設定されている場合、BLC 項目はOFF に設定され“---”と表示されます。この時BLC項目の設定変更はおこなえません。	OFF

オートパン／トレース映像設定画面（つづき）

項　目	機　能　と　設　定　値	初　期　値
ホワイトバランス	ホワイトバランス調整機能を設定します。色温度2500K～8000Kの範囲内の照明に対して調整できます。 ATW ：Auto-Tracking White Balance（自動色温度追尾)モードになります。照明の色温度に応じて自動的にホワイトバランスを調整します。ATW 設定時は、R-B ゲイン , M-G ゲイン 項目は“- - -”と表示され、色相調整はおこなえません。 AWC ：Auto White Control（自動白バランス調整)モードとなり、“セットキーで開始します”と表示されます。セットボタンを押すと AWC が機能し、白バランスを調整します。	ATW
R-B ゲイン	AWC 時の R（赤)、B（青)の色相を調整します。 青色を強調　…… 数字を小さく 赤色を強調　…… 数字を大きく [設定値　0 ～ 255]	95
M-G ゲイン	AWC 時の M（マゼンタ)、G（緑)の色相を調整します。 緑色を強調　…… 数字を小さく マゼンタ色を強調　…… 数字を大きく [設定値　0 ～ 255]	63

プライベートマスクの設定

撮影画面で映したくない部分を灰色にするプライベートマスクの設定をおこないます。
設定は表示画面中に 4 か所、カメラ全体で 8 か所設定できます。



1. カメラを選択(☞ RM-P2600「取扱説明書」)
カメラボタン→テンキーボタン（カメラ番号）→確定ボタン

選択カメラの映像が出力されます。

2. 画角を設定

・パン / チルトレバーおよびレンズボタンでプライベートマスクを機能させる画角を設定します。

3. カメラメニュー設定画面を表示(☞39ページ*2.*～ *6.*)

カメラメニュー設定画面が表示されます。

4. パン／チルトレバーを上下に動かし、カーソル(>)をカメラ機能項目に移動し、セットボタンを押す

カメラ機能画面が表示されます。

5. カーソル(>)をプライベートマスク項目に移動し、セットボタンを押す

プライベートマスク画面が表示されます。

6. 機能の ON/OFF を設定

モード項目がONでプライベートマスクが機能、OFFで機能しません。
(初期値：OFF)

7. マスク番号を選択

マスクNO1 ～ 8でプライベートマスクするNO を選択してからカーソルをマスク編集項目に移動します。
一画面に設定できるのはそのうちの 4 か所のみです。
すでに設定されたマスク番号を選択した時は(＊)マークが表示されます。

8. マスク範囲を設定

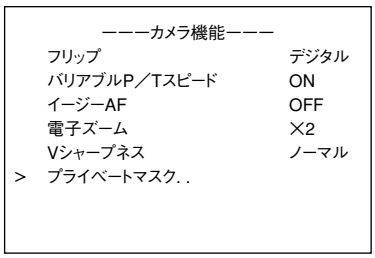
・マスク編集 項目にカーソルを移動し、セットボタンを押しマスク編集 画面を表示させます。(マスクエリアが灰色に表示されます)
・パン/チルトレバーでマスクをかける中心に灰色部を移動させます。
・望遠ボタン、広角ボタンでマスクをかける範囲を設定します。

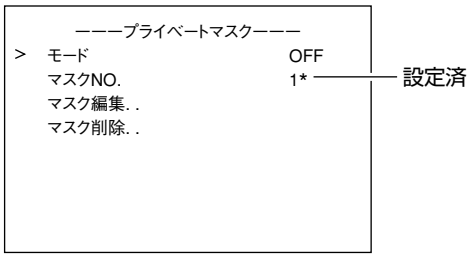
9. メニューボタンを押す

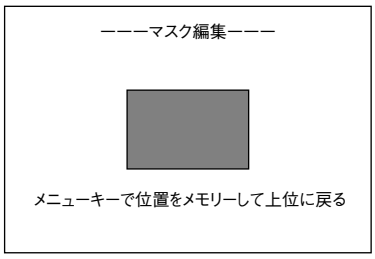
・上位メニュー画面(プライベートマスク 画面)にもどります。
・プライベートマスクエリアを消去する場合は、マスク削除項目を選択し、削除にカーソルを移動し、セットボタンを押します。
データ消去後に、プライベートマスク画面にもどります。
消去をやめる場合は、中止項目を選択しセットボタンを押します。

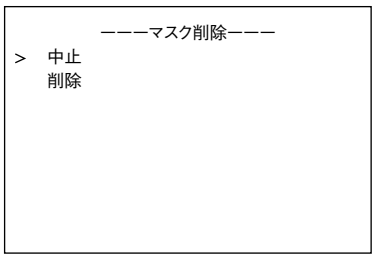
10. 6. ～ *9.* を繰り返す

11. メニューボタンを押す







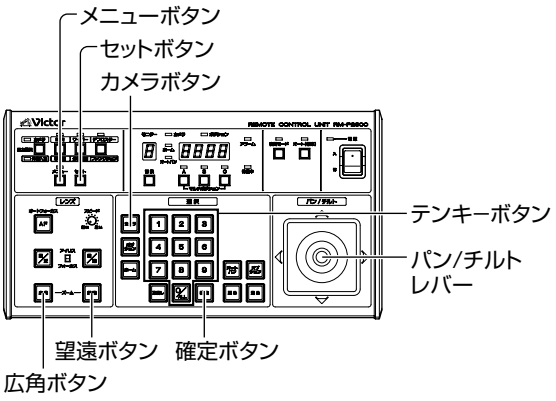


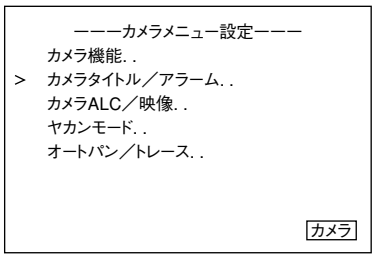
— *MEMO* —

- 設定されたプライベートマスク範囲でもカメラの向き、またはズーム位置によっては対象物が映ってしまう場合があります。必ず設定後にカメラの向きとズーム位置を動かしてプライベートマスク設定範囲が映らないことを確認してください。また対象物が映ってしまう場合は“8. マスク範囲を設定”でマスク範囲を大きく設定してください。
- 電源投入直後の初期動作時は、プライベートマスク機能は正常に動作しません
- 電子増感 の倍率が高いほどプライベートマスク範囲でもカメラの向きによっては映ってしまう場合があります。
- マスクが5 つ以上設定されている画面を映した場合は、全画面にマスクが表示されます。

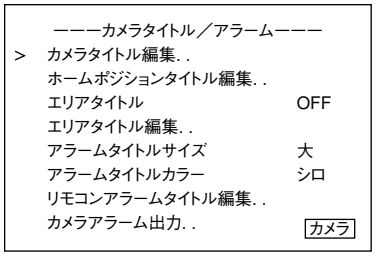
カメラタイトルの設定

タイトルを最大 16 文字まで設定できます。
画面左下に常に表示されます。

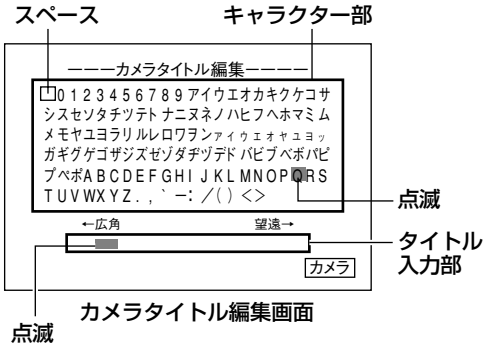




カメラメニュー設定画面



カメラタイトル／アラーム画面



カメラタイトル編集画面

1. カメラを選択(☞RM-P2600「取扱説明書」)

カメラボタン→**テンキー**ボタン(カメラ番号)→**確定**ボタン

選択カメラの映像が出力されます。

2. カメラメニュー設定画面を表示(☞39ページ*2.*～*6.*)

カメラメニュー設定画面が表示されます。

3. パン/チルトレバーを上下に動かし、カーソル(>)をカメラタイトル／アラーム項目に移動し、セットボタンを押す

カメラタイトル／アラーム画面が表示されます。

4. カメラタイトル編集にカーソル(>)があることを確認し、セットボタンを押す

- カメラタイトル画面が表示されます。
- キャラクター部とタイトル入力部の1文字目が点滅し入力状態となります。

5. パン/チルトレバーを上下左右に動かし、キャラクター部から1文字目を選択する

- 選択した文字は点滅表示します。
- 選択した文字はタイトル入力部に表示されます。

6. 望遠ボタンを押す

- タイトルの1文字目が確定し、2文字目が入力状態となります。
- 広角ボタンを押すと、タイトル入力部の点滅位置が左に移動します。設定したタイトルを修正するときに使用します。

7. *5.*～*6.*を繰り返す

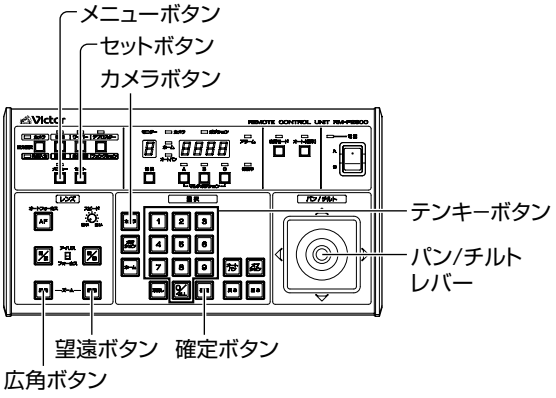
カメラタイトルを全て入力します。

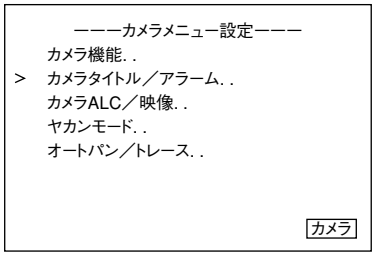
8. メニューボタンを押す

- 上位メニュー画面が表示されます。
- 複数のカメラタイトルを設定する場合は、*1.*～*7.*を繰り返しおこなってください。

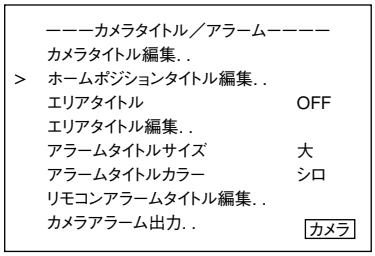
ホームポジションタイトルの設定

タイトルを最大２行 40 文字まで設定できます。
カメラがホームポジションの画面下に表示されます。

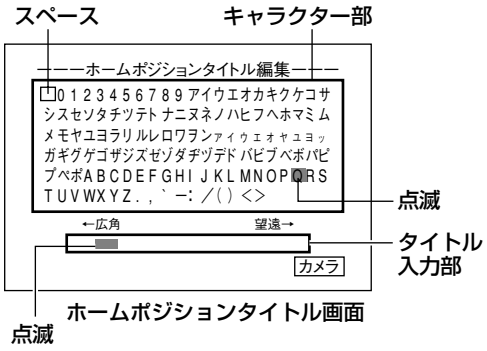




カメラメニュー設定画面



カメラタイトル／アラーム画面



ホームポジションタイトル画面

1. カメラを選択(☞RM-P2600「取扱説明書」)
カメラボタン→テンキーボタン(カメラ番号)
→確定ボタン

選択カメラの映像が出力されます。

2. カメラメニュー設定画面を表示(☞39ページ*2.*～ *6.*)

カメラメニュー設定画面が表示されます。

3. パン／チルトレバーを上下に動かし、カーソル(>)をカメラタイトル／アラーム項目に移動し、セットボタンを押す

カメラタイトル／アラーム 画面が表示されます。

4. ホームポジションタイトル編集にカーソル(>)があることを確認し、セットボタンを押す

・ホームポジションタイトル 画面が表示されます。
・キャラクター部とタイトル入力部の 1 文字目が点滅し入力状態となります。

5. パン／チルトレバーを上下左右に動かし、キャラクター部から1文字目を選択する

・選択した文字は点滅表示します。
・選択した文字はタイトル入力部に表示されます。

6. 望遠ボタンを押す

・タイトルの1 文字目が確定し、2 文字目が入力状態となります。
・広角ボタンを押すと、タイトル入力部の点滅位置が左に移動します。設定したタイトルを修正するときに使用します。

7. *5.*～ *6.*を繰り返す

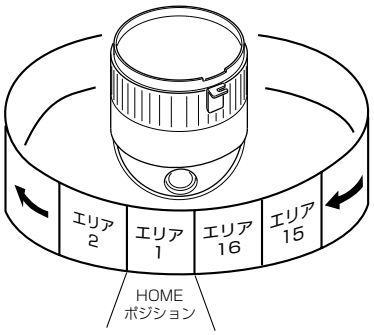
ホームポジションタイトルを全て入力します。

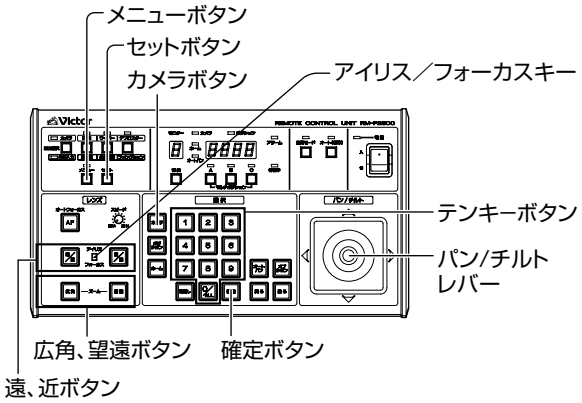
8. メニューボタンを押す

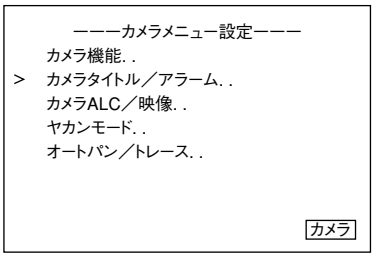
・上位メニュー画面が表示されます。
・複数のカメラタイトルを設定する場合は、 *1.*～ *7.*を繰り返しおこなってください。

エリアタイトルの設定

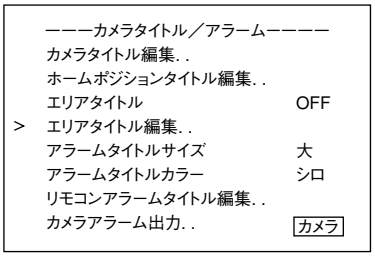
360°のパンニング(水平回転)範囲を 16 エリアに等分割し、カメラを手動で回転させるとき、エリアタイトルを画面に表示します。各エリアに 16 文字まで設定できます。(エリアタイトル表示の入 / 切 ☞ 43 ページエリアタイトル項目)



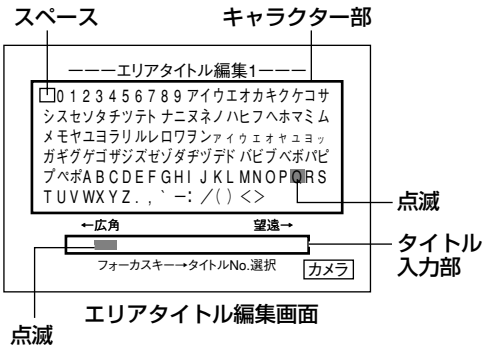




カメラメニュー設定画面



カメラタイトル／アラーム画面



エリアタイトル編集画面

1. カメラを選択(☞ RM-P2600「取扱説明書」)
カメラボタン→テンキーボタン（カメラ番号）→確定ボタン

選択カメラの映像が出力されます。

2. カメラメニュー設定画面を表示(☞39ページ*2.*～ *6.*)

カメラメニュー設定画面が表示されます。

3. パン／チルトレバーを上下に動かし、カーソル(>)をカメラタイトル／アラーム項目に移動し、セットボタンを押す

カメラタイトル／アラーム 画面が表示されます。

4. エリアタイトル編集項目にカーソル(>)を移動し、セットボタンを押す

・エリアタイトル編集 1 画面が表示されます。
（ホームポジションはエリアタイトル 1 に対応）
・キャラクター部とタイトル入力部の 1 文字目が点滅し、入力状態となります。

5. パン／チルトレバーを上下左右に動かし、キャラクター部から 1 文字目を選択する

・選択した文字は点滅表示します。
・選択した文字はタイトル入力部に表示されます。

6. 望遠ボタンを押す

・タイトルの 1 文字目が確定し、2 文字目が入力状態となります。
・広角ボタンを押すと、タイトル入力部の点滅位置が左に移動します。設定したタイトルを修正するときに使用します。

7. アイリス／フォーカスキーをフォーカスにして、遠ボタンを押す

・カメラが次のエリアに移動し、エリアタイトル 2 画面が表示されます。
・近ボタンを押すと前のエリアに戻り、前のエリアタイトル 1 画面が表示されます。

8. *5.*～ *7.* を繰り返す

・全てのエリアタイトルを入力します。

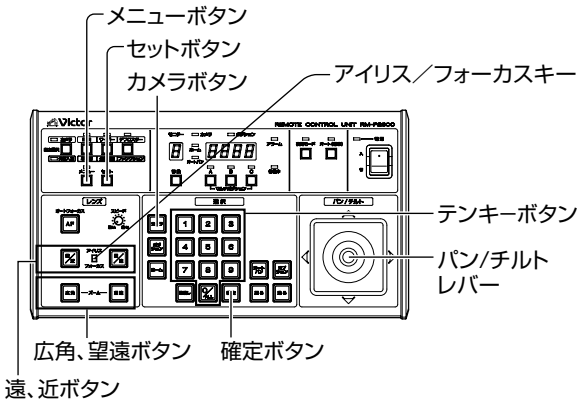
9. メニューボタンを押す

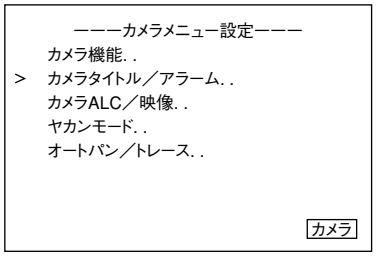
・上位メニュー画面が表示されます。

リモコンアラームタイトルの設定

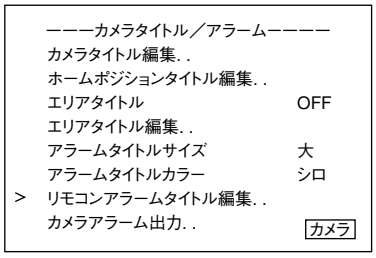
アラーム入力時、表示するタイトルを設定します。

タイトルは 10 種類(リモコンアラームタイトル 1 ～ 10)設定でき、それぞれ 12 文字設定できます。

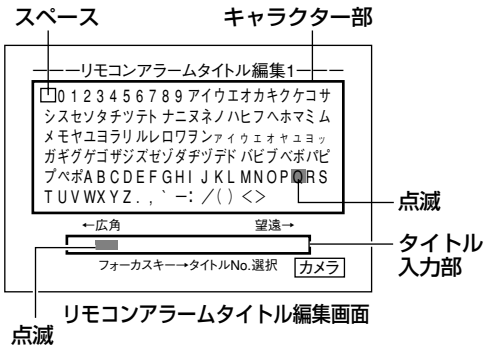




カメラメニュー設定画面



カメラタイトル／アラーム画面



リモコンアラームタイトル編集画面

点滅

1. カメラを選択(☞ RM-P2600「取扱説明書」)カメラボタン→テンキーボタン(カメラ番号)→確定ボタン

選択カメラの映像が出力されます。

2. カメラメニュー設定画面を表示(☞39ページ*2.*～ *6.*)

カメラメニュー設定画面が表示されます。

3. パン／チルトレバーを上下に動かし、カーソル(>)をカメラタイトル／アラーム項目に移動し、セットボタンを押す

カメラタイトル／アラーム 画面が表示されます。

4. リモコンアラームタイトル編集項目にカーソル(>)を移動しセットボタンを押す

・リモコンアラームタイトル 1 画面が表示されます。
・キャラクター部とタイトル入力部の 1 文字目が点滅し、入力状態となります。

5. パン／チルトレバーを上下左右に動かし、キャラクター部から1文字目を選択する

・選択文字は点滅表示します。
・選択文字はタイトル入力部に表示されます。

6. 望遠ボタンを押す

・タイトルの 1 文字目が確定し、2 文字目が入力状態となります。
・広角ボタンを押すと、タイトル入力部の点滅位置が左に移動します。設定したタイトルを修正するときに使用します。

7. アイリス／フォーカスキーをフォーカスにして、遠ボタンを押す

・次のアラーム入力(リモコンアラームタイトル 2)画面が表示されます。
・近ボタンを押すと、前のアラーム入力画面に戻ります。

8. *5.*～*7.* を繰り返す

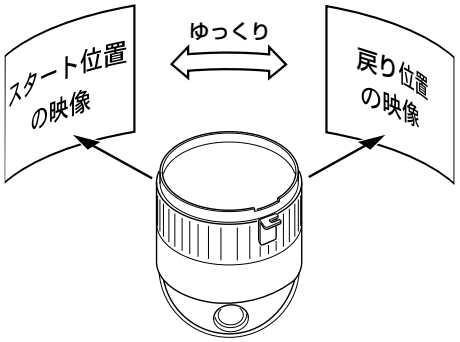
・全てのアラーム入力画面(リモコンアラームタイトル1 ～ 10)において、タイトルを設定します。

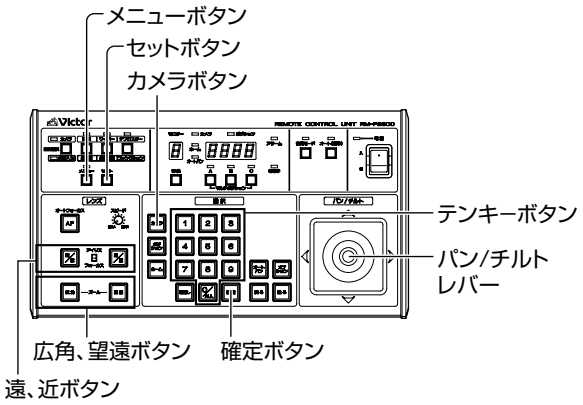
9. メニューボタンを押す

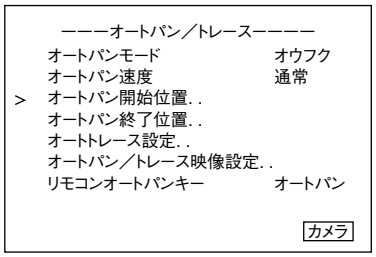
上位メニュー画面が表示されます。

オートパンの設定

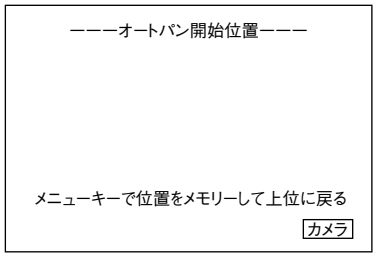
ゆっくり水平方向に回転するオートパン機能を設定します。
オートパンモードには、2 点間をオウフク，右回転，左回転の 3 つのモードがあります。



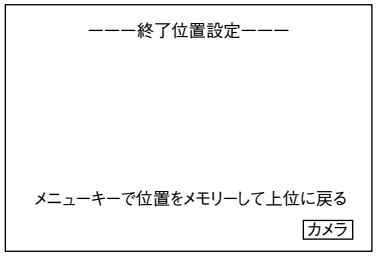




オートパン／トレース画面



開始位置設定画面



終了位置設定画面

1. **カメラを選択(☞RM-P2600「取扱説明書」)**
カメラボタン→**テンキー**ボタン(カメラ番号)
→**確定**ボタン
選択カメラの映像が出力されます。

2. **カメラメニュー設定画面を表示**
(☞39 ページ *2.*～ *6.*)
カメラメニュー設定画面が表示されます。

3. **パン/チルトレバーを上下に動かし、カーソル(>)をオートパン/トレース項目に移動し、セットボタンを押す**
オートパン／トレース画面が表示されます。

4. **モードとスピードを設定**
· オートパンモード項目でオートパンの動作を設定します。
オウフク(2 点間の往復)、右回転、左回転
· オートパン速度項目で、オートパンの回転速度を設定します。
低速、中速、高速

5. **オートパン開始位置項目にカーソル(>)を移動し、セットボタンを押す**
開始位置設定画面が表示されます。

6. **スタート位置の画角を合わす**
· パン/チルトレバー、フォーカス、ズームボタンで画面を合わせます。
· 戻り位置で上下方向およびフォーカス、ズームなどのレンズ操作はおこなえません。

7. **メニューボタンを押す**
· オートパン／トレース画面に " データをメモリーしました " と表示されスタート位置の画角が登録されます。

8. **オートパン終了位置項目にカーソル(>)を移動しセットボタンを押す(オウフクモードのみ)**
終了位置設定画面が表示されます。

9. **戻り位置の画角を合わす(オウフクモードのみ)**
左右パン方向にカメラを移動し、画角を合わせます。

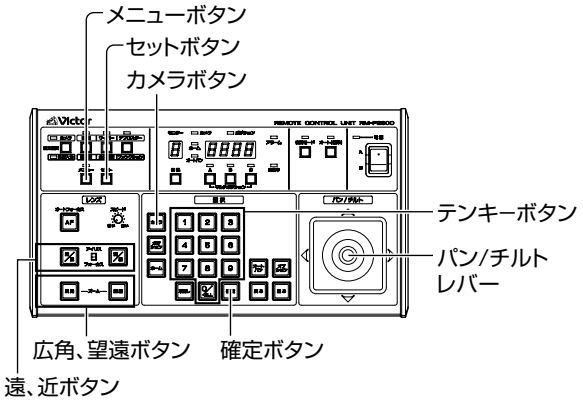
MEMO
- 戻り位置での上下(チルト)方向の移動およびレンズ操作はおこなえません。
- カメラが移動中に、セットボタン、またはメニューボタンを押すと、正しい設定データが書き込まれません。必ずカメラが停止していることを確認してからセットボタンまたはメニューボタンを押してください。

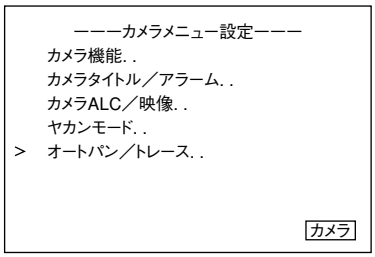
10. **メニューボタンを押す**
上位メニュー画面にもどります。

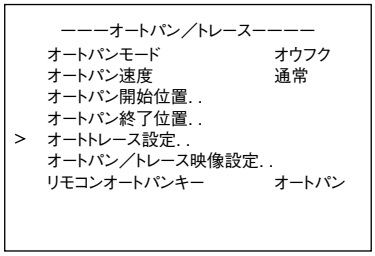
設定後、カメラをオートパン動作させるには、RM-P2600 のオートパンボタンを押します。
☞ RM-P2600 取扱説明書「オートパン動作」

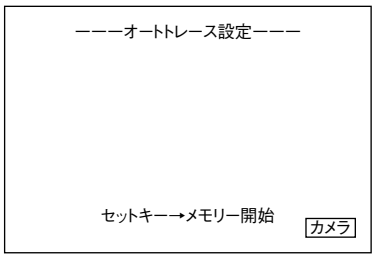
オートトレースの設定

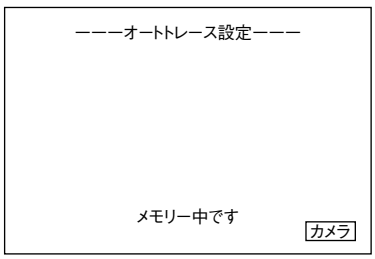
手動でカメラ操作した内容を再現するオートトレース機能を(約 30 秒間)を設定します。











1. カメラを選択(☞RM-P2600「取扱説明書」)カメラボタン→テンキーボタン(カメラ番号)→確定ボタン

選択カメラの映像が出力されます。

2. カメラメニュー設定画面を表示(☞39ページ*2.*～ *6.*)

カメラメニュー設定画面が表示されます。

3. パン／チルトレバーを上下に動かし、カーソル(>)をオートパン／トレース項目に移動し、セットボタンを押す

オートパン／トレース 画面が表示されます。

4. カーソルをオートトレース設定項目に移動し、セットボタンを押す

オートトレース設定 画面が表示されます。

5. 開始位置の設定

パン/チルトレバー、フォーカス、ズームボタンなどでオートトレース機能の開始位置を設定します。

6. セットボタンを押す(記憶開始)

・オートトレース記憶状態となりますので、パン / チルトレバー、フォーカス、ズームボタンでカメラを操作します。
・オートトレース機能は最大約30秒間記憶され、その間“メモリー中です”と表示されます。
・約 30 秒経過後、自動的に記憶は終了します。
・30 秒以内に記憶を終了する場合のみ 7. をおこなってください。
・操作する内容により、記憶する時間は短くなることがあります。(最少約 10 秒)

7. セットボタンを押す(記憶終了)

・オートトレース記憶状態は終了します。

8. メニューボタンを押す。

オートパン／トレース 画面にもどります。

MEMO

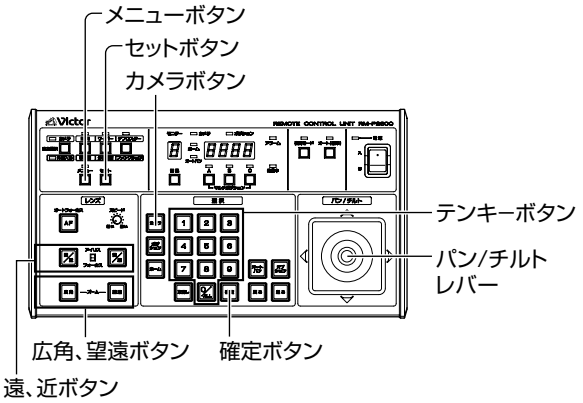
●電子ズームは最大2倍まで設定・動作できます。

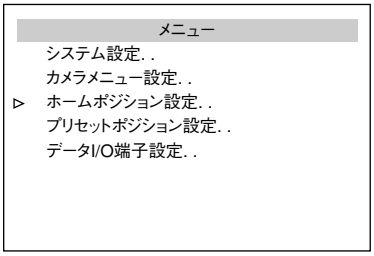
オートトレース動作をさせるには

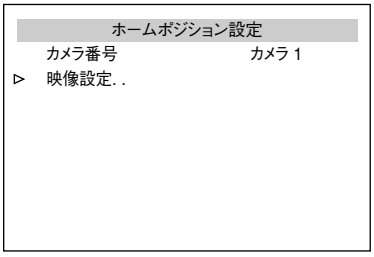
設定後カメラをオートトレース動作させるには、まずRM-P2600のオートパンボタンにオートトレース機能を設定する必要があります。
☞46 ページ「リモコンオートパンキー項目」
オートトレース機能を設定したボタンを押すと、ボタンランプが点灯し、オートトレース動作を開始します。オートトレース動作は動作終了後 30 秒間停止したのち繰り返し動作します。
動作を終了するには、オートトレース機能を設定したボタンをもう一度押しボタンランプを消灯させます。

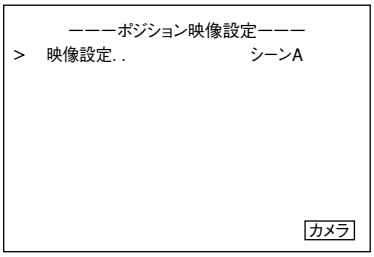
オートホワイトバランス調整

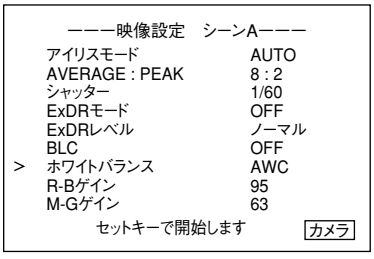
光源により光の色(色温度)が異なるため、被写体を照らす主要な光源が変わったときは、ホワイトバランス項目を AWC に設定してホワイトバランスを再調整してください。

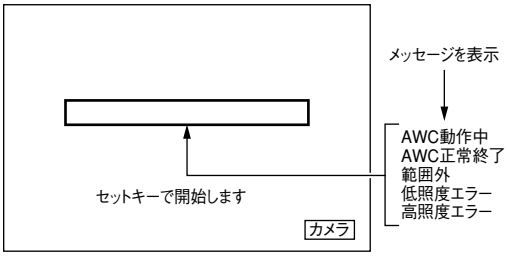












注記

映像設定シーン画面を表示するには下記に示すホームポジション設定から入る方法とプリセットポジション設定から入る方法の2とおりがあります。プリセットポジション設定から入る方法はP40のメニュー画面の流れを参照して操作してください。

1. 画面の中心附近に被写体と同じ照明条件のところに白いものを置き、ズームアップして画面に白を映します。

2. メニュー画面を表示 (☞39ページ *2.*～ *4.*)
パン／チルトレバーでホームポジション設定項目選択→セットボタン

カメラはホームポジションに移動します。
ホームポジション設定画面が表示されます。

3. パン／チルトレバーを上下に動かし、カーソル(>)を映像設定項目に移動し、セットボタンを押す

ポジション映像設定画面が表示されます。

4. 映像設定シーン A 画面を表示

パン／チルトレバーでシーンを選択→セットボタン
映像設定シーン画面が表示されます。

5. カーソルをホワイトバランス項目に移動し、パン／チルトレバーでAWCに設定します。

画面に“セットキーで開始します”が表示されます。

6. セットボタンを押す(調整開始)

オートホワイトバランス調整機能が動作中、画面に“AWC 動作中”と表示します。
正しくホワイトバランスがとれると、“AWC 正常終了”と表示します。

7. エラー表示

オートホワイトバランス調整が正常に終了しなかった場合、下記のようなメッセージを表示します。

- **範囲外(被写体不良)**
  被写体の白が少ない時や色温度が適正でないときなどに表示されます。
  白い被写体が画面に十分になるようにして、再びホワイトバランスを取り直してください。
- **低照度エラー(光量不足)**
  照明が暗いときに表示されますので照明を明るくしてホワイトバランスを取り直してください。
- **高照度エラー(光量過剰)**
  照明が明るすぎるときに表示されますので照明を暗くしてホワイトバランスを取り直してください。

MEMO

白黒モードで動作中はAWCに設定してもホワイトバランスは再調整されません。

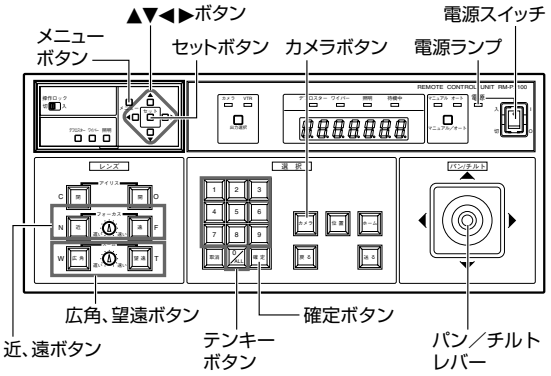
RM-P2100(C)からカメラの設定を変える

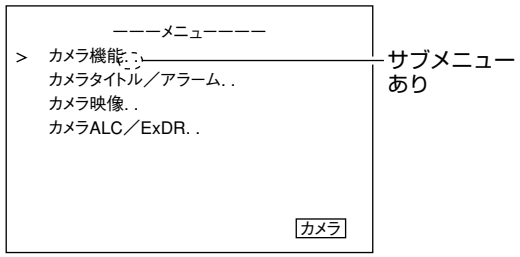
設定方法

リモートコントロールユニットRM-P2100(C)を使用したシステムの場合、カメラ側メニューをリモコンから呼び出し、機能設定をおこなうことができます。
(RM-P2100(C)の「取扱説明書」をあわせてご覧ください。)

注記
SW-2100システムコントロールユニットの(B)タイプ、シリアルナンバー下４桁# 1615 以前のセットではカメラメニューは操作できません。

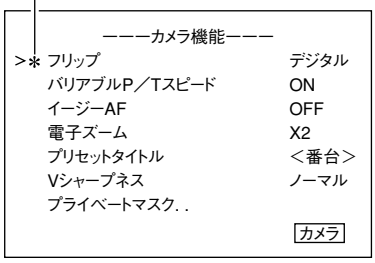
<RM-P2100(C)からカメラ側メニューの設定をおこなう方法>





メニュー画面

変更マーク



サブメニュー画面

1. 電源スイッチを“ON”にする
電源ランプが点灯します。

2. 次のモードを確認する
操作ロックスイッチが“切”に
マニュアル／オートボタンが“マニュアル”になっていることを確認します。

3. メニューボタンを押す
・パスワード入力画面が表示されます。

4. テンキーボタンでパスワード“1111”を入力する

5. 確定→セットボタンを押す
・メニュー画面が表示されます。
・「パスワードが、正しくありません」と表示された場合は、正しいパスワードを再入力してください。
・項目の最後に“‥”が付いているものは、サブメニューがあります。

6. “▲”“▼”ボタンを押し、項目を選択する

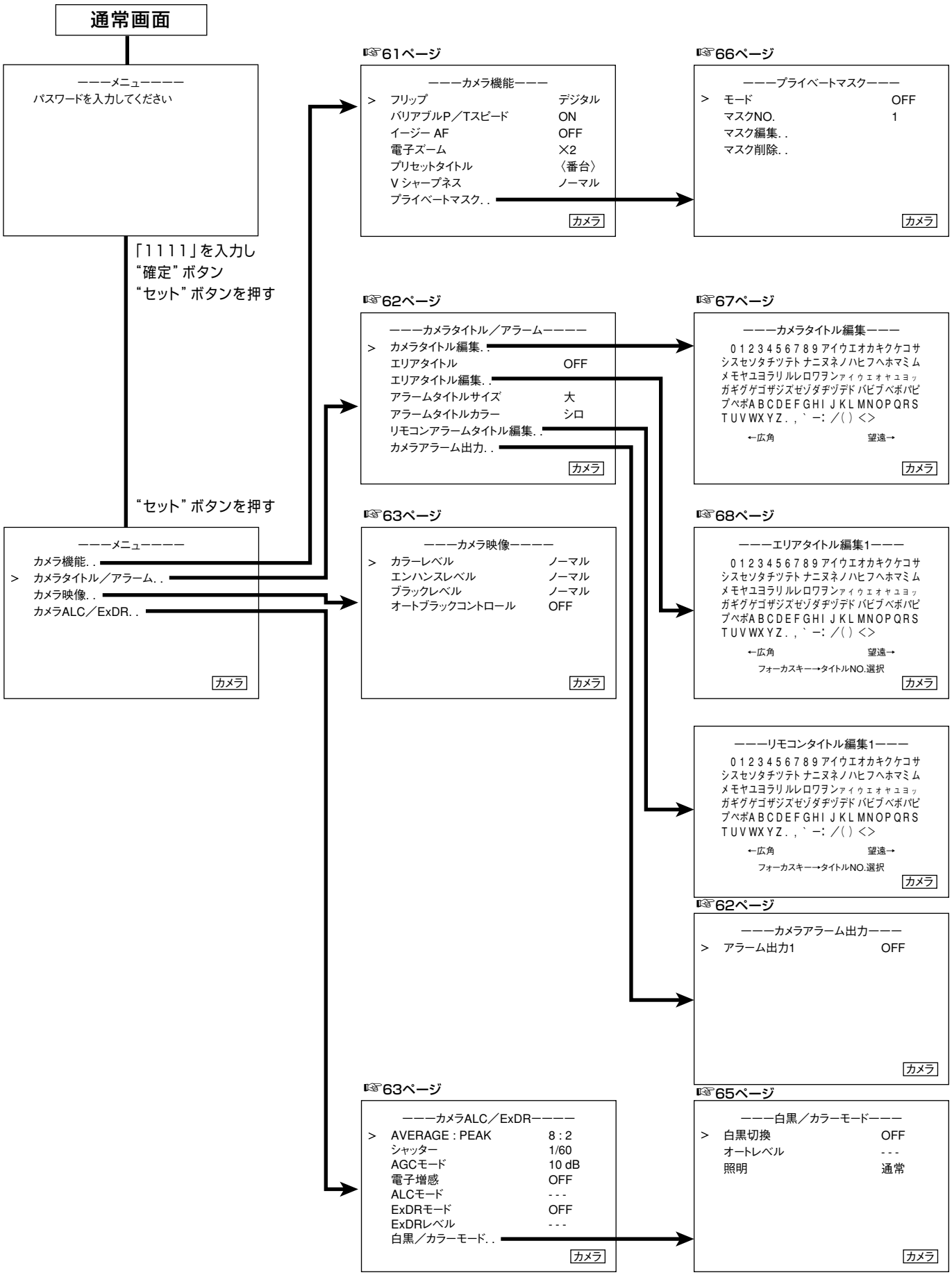
7. セットボタンを押す
・カメラ側のサブメニュー画面が表示されます。

8. “◀”“▶”ボタンを押し、項目の値を変更する
・数値は、“テンキー”＋“確定”ボタンで入力することもできます。(カメラ番号、プリセットポジション番号等の数値による項目設定値に限ります。)
“テンキー”で入力中には、“確定”ボタンを押すまで、設定値が点滅します。
・項目の設定値を変更すると左図のような変更マーク(＊)が表示されます。
サブメニューの設定方法の詳細は次ページ以降をご覧ください。

9. メニューボタンを押す
項目の設定が終わったら、メニューボタンを押し、上位メニュー画面にもどします。

メニュー画面の流れ

メニュー画面は下図のような流れになっています。（詳細は各項目内に記載されている参照ページをご覧ください）



カメラ機能画面

カメラのもつ機能を設定します。

項　目	機　能　と　設　定　値	初　期　値
フリップ	OFFに設定したときは、垂直回転動作をすると、本機は真下を向いたところで停止します。被写体が真下を通過する場合のカメラ操作は、①真下に向ける②水平に 180° 回転させる③上に向ける。この 3 つの手順が必要です。 オートフリップ機能を使うと、この手順を減らすことができます。カメラの真下を通る被写体を撮影するときに設定します。 OFF　　：オートフリップ 機能は動作しません。 デジタル ：カメラが真下を過ぎ135° の位置で、映像の上下左右が反転します。 オート　：カメラが真下の位置にくると 180° 水平回転し、止まります。	デジタル
バリアブルＰ／Ｔスピード	レンズのズームに応じて、パン（水平回転）、チルト（垂直回転）の動作速度を自動的に可変します。ズームレンズを望遠側にすると、パン、チルトの速度は遅くなり、広角側にすると、パン、チルトの速度は早くなります。ズーム比の異なる被写体を撮影する場合に設定します。 OFF ：機能しません。 ON　：機能します。	ON
イージー AF	ON に設定すると手動でパン、チルト、ズーム操作をおこなっている間、自動的にオートフォーカス（AF）が働きます。手動で操作することが多い場合、カメラを動かすごとにフォーカスを取り直す必要がなく便利です。 OFF ：機能しません。 ON ：機能します。 **MEMO** オートフォーカスは被写体によって十分にピントが合わないことがあります。 (☞5ページ) その場合は手動でピントを合わせてください。	OFF
電子ズーム	ズームズを望遠側にすると、光学ズームが機能しその後電子ズームが機能します。この電子ズーム機能の最大値を設定します。 [設定値：× 1，× 2] **MEMO** ●電子ズームは映像をデジタル処理するため、多少映像品質が劣化します。 ●電子ズームの倍率を上げていくと、画面中心が左上方向にずれますが、これは本機の特性であり故障ではありません。 ●光学ズームから電子ズームへ連続動作しません。光学ズームがTELE端にきたら、TELEボタンを押し直してください。	×２
プリセットタイトル	プリセットポジション番号を選択した時に、番号のあとに表示される文字を設定します。（ポジション番号 1000 の例） ＜番台＞　　：1000 番台 ＜PO-＞　　：PO-1000 ＜NO．＞　：NO．1000 NUMBER　：1000（ポジション番号のみ表示） NONE　　：（なし）（ポジション番号も表示されません）	〈番台〉
Ｖシャープネス	映像の垂直方向に対する鮮明度を設定します。 ノーマル　：鮮明度は普通です。 高い　　：鮮明な映像になります。 **MEMO** “高い”に設定時、次のような現象が見られることがありますが、故障ではありません。 ・高輝度の被写体を写すと横しまが発生することがあります。 ・低照度時にうすい横しまが発生することがあります。	ノーマル
プライベートマスク. .	撮影画面の中で、映したくない部分を設定し、その部分だけを灰色にし、映さないようにする機能です。設定した部分は、パン、チルト、ズームに連動して移動します。 ☞66 ページ「プライベートマスクの設定」	―

カメラタイトル／アラーム画面

タイトルおよびアラームについての設定をします。

項　目	機　能　と　設　定　値	初　期　値
カメラタイトル編集..	画面左下に常に表示されるタイトルを設定します。タイトルは最大16文字まで設定できます。 ☞67ページ「カメラタイトル の設定」	**──**
エリアタイトル	水平回転範囲360°を16エリアに等分し、各エリアに16文字のタイトルを設定することができます。カメラを手動でパンニング（水平回転)させると、設定したエリアタイトルを表示します。 ON　：エリアタイトルを表示します。 OFF　：エリアタイトルを表示しません。	**OFF**
エリアタイトル編集..	エリアタイトルの設定画面です。 ☞68ページ「エリアタイトル の設定」	**──**
アラームタイトルサイズ	アラーム時に表示するタイトルのサイズを設定します。 小 ：メニュー画面の文字と、同じサイズです。 大 ：メニュー画面の文字に比べ縦・横2 倍サイズです。	**大**
アラームタイトルカラー	アラーム時に表示するタイトルの色を設定します。 [設定値：シロ，ミドリ，ミズイロ，キイロ]	**シロ**
リモコンアラームタイトル編集..	アラーム時に表示するタイトルの設定画面です。 ☞69ページ「リモコンアラームタイトル の設定」	**──**
カメラアラーム出力..	天井取付金具にあるアラーム出力端子についての設定をおこないます。	**──**
アラーム出力	アラーム出力 1 端子についての設定をおこないます。 OFF ：アラームは出力しません。 白黒 ：本機が白黒モードになった時、アラーム信号を出力します。 ***MEMO*** ● ALARM OUT1端子は、メカニカルリレーを使用しているため、静かな場所ではリレーの動作音が気になる場合があります。 ● ALARM OUT1端子は、メカニカルリレーを使用しているため、頻繁にアラームとなる信号で使用した場合、リレーの寿命を縮めてしまいますので御注意ください。リレーの寿命は20万動作です。リレーは消耗部品であり、保証期間内であっても交換は有料となります。	**OFF**

カメラ映像画面

項　目	機　能　と　設　定　値	初　期　値
カラーレベル	映像信号の色レベル調整をおこないます。 色を**薄く**する·····数を小さく 色を**濃く**する·····数を大きく **[設定値 ：－５～ノーマル～5]**	ノーマル
エンハンスレベル	モニター画面上の鮮明さを強調する輪郭補正調整をおこないます。 画質を**ソフト**にする·····数を小さく 画質を**シャープ**にする·····数を大きく **[設定値 ：－５～ノーマル～5]**	ノーマル
ブラックレベル	映像信号のペデスタルレベル(黒の基準)の調整をおこないます。 画質を**暗く**する·····数を小さく 画質を**明るく**する·····数を大きく **[設定値 ：－５～ノーマル～5]**	ノーマル
オートブラック コントロール	AGC(自動ゲイン調整)でゲインを上げても映像の暗い部分が見えにくいときに設定します。 **ON**　：映像信号の黒レベルが低いと、黒の基準となるペデスタルレベルが自動的に上がり、暗い部分を見えやすくします。 **OFF**　：オートブラックコントロールは機能しません。	OFF

カメラ ALC/ExDR 画面

項　目	機　能　と　設　定　値	初　期　値
AVERAGE:PEAK	露出検出のしかたを平均値とピーク値の割合で設定します。 · **AVERAGE 値大**：画面のハイライト部以外が暗くつぶれ気味のとき設定します。(例　10:0) · **PEAK 値大**　：画面のハイライト部がハレーション気味のとき設定します。(例　5：5) **[設定値 10：0，9：1，8：2，7：3，6：4，5：5]**	8：2
シャッター	電子シャッターのスピードを設定します。 電子増感項目を×２以上に設定すると、可変できる設定値は1/60と1/100のみです。 ExDRモード項目をONに設定すると、可変できる設定値は1/60と1/100のみです。 **[設定値： 1/60, 1/100, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000, 1/4000, 1/10000]** ***MEMO*** ●商用電源周波数50Hz地域ではシャッタースピードを1/100に、60Hz地域では1/60に設定すると、蛍光灯などのチラツキを軽減することができます。 ●シャッタースピードは、高速になるほど明るい光源の上下に白い帯のような線が発生するCCD特有のスミア現象が強調されます。	1/60
AGC モード	光量の少ない被写体で電気的に感度を上げるAGC（自動ゲイン調整)の最大ゲインを設定します。 OFF　：自動ゲイン調整はおこないません。 10 dB　：被写体の明るさに応じて最大10 dB までゲインを上げます。 20 dB　：被写体の明るさに応じて最大20 dB までゲインを上げます。 スーパー：20 dB に設定しても明るさが不足のときに設定します。 ***MEMO*** ●白黒 項目がオ―ト に設定されている場合は、AGC モード 項目がスーパー のときは［スーパー］を、その他の設定時は［20 dB］を表示して、表示した値までゲインを上げます。 ●ゲインを上げると暗い場所では画面がザラ付きます。 ●スーパーに設定すると、急激なレベル変化に対しては動作時間がかかることがあります。	10 dB

カメラALC/ExDR画面（つづき）

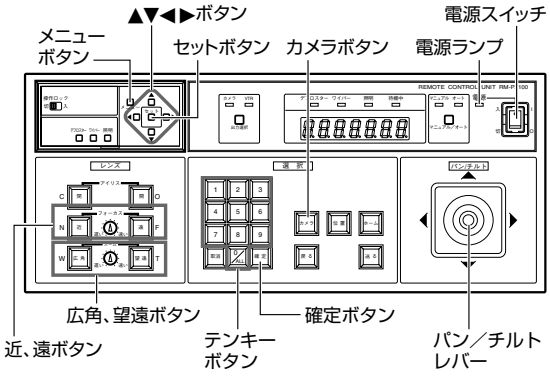
項　目	機　能　と　設　定　値	初　期　値
電子増感	電子増感は、露光時間を長くして感度を上げる機能です。（電子感度アップ） この項目では被写体が暗くなったとき、感度が自動的に何倍まで上るかを設定します。 × 32 の場合、標準レベルに比べ 32 倍まで自動的に連続で感度があがります。感度が上がるとシャッタースピードが遅くなるため動きは不自然なものとなります。シャッター項目を 1/250 以上に設定すると“- - -”と表示され電子増感は機能しません。 [設定値：OFF, × 2, × 4, × 8, × 16, × 24, × 32] ***MEMO*** 電子増感の倍率を上げると、画面がザラついたり白っぽくなったり、白キズが現れる場合がありますが、異常ではありません。	**OFF**
ALC モード	被写体が暗くなったとき、動きを優先するか、画像を優先するかを設定します。 ウゴキ優先　：動きを優先します。 被写体が暗くなると、AGC（自動ゲイン調整)が優先的に機能するため、動きの早い被写体に適しています。 ガシツ優先　：画像を優先します。 被写体が暗くなると、電子増感（電子感度アップ）が優先的に機能するため、画像を優先する被写体に適しています。 ***MEMO*** ● AGC モード 項目と電子増感 項目どちらか一方でもOFF に設定されていると“---”と表示されALCモード 設定できません。 ● 白黒項目がオートに設定されている場合はALCモード項目はウゴキ優先モードとなり“---”と表示されます。	**ウゴキ優先**
ExDR モード	ExDR 機能は、シャッタースピード1/100 秒で撮影した映像と高速シャッターで撮影した映像を合成することにより、照度差のある被写体でも撮影することができます。 シャッター項目を 1/250 以上に設定すると“- - -”と表示され ExDR は機能しません。 OFF　：ExDR は機能しません。 ON　：ExDR は機能します。	**OFF**
ExDR レベル	ExDR モード時、被写体のどの明るさを見やすくするかを設定します。 ・被写体の低輝度部を見やすく・・・・・数字を大きく ・被写体の高輝度部を見やすく・・・・・数字を小さく [設定値：－ 5 ～ ノーマル ～ 5] ***MEMO*** ● 被写体の照度差が大きい場合、ExDR レベルを可変させても映像が変化しない場合がありますが、これは本機の特性で故障ではありません。 ● シャッター項目を1/250以上に設定すると“---”と表示され、ExDR レベル項目の設定変更はおこなえません。 ● ExDRモード項目がOFFに設定されているとExDRレベル項目の設定変更はおこなえません。	**ノーマル**

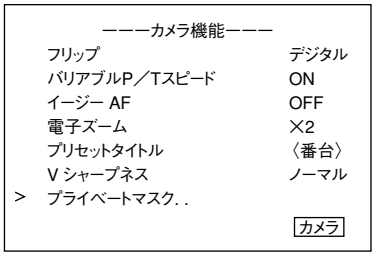
カメラALC/ExDR画面（つづき）

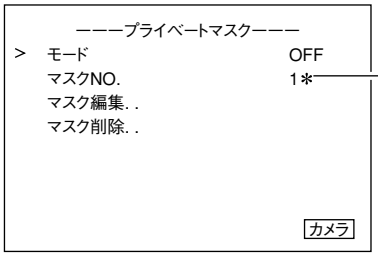
項　目	機　能　と　設　定　値	初　期　値
白黒／カラーモード..	白黒／カラーの切り換えに関する設定をおこないます。 **── *MEMO* ──** 白黒モードでは可視光域と近赤外光域両方に感度をもつため、光源の種類によってはカラーモードから白黒モードに切り換えるとフォーカスがずれることがあります。この時は白黒モードでフォーカスを合わせなおしてください。 また、必要に応じて赤外照明を使用してください。	──
白黒切換	カラーから白黒モードに切り換える機能について設定します。 OFF　：白黒モードには切り換わりません。 ON　：いつも白黒モードとなります。 オート　：被写体の輝度が高い場合はカラーモード、低い場合は白黒モードに自動的に切り換わります。 アラーム入力１：天井取付金具のアラーム入力1端子にアラーム入力があった場合、白黒モードになります。 接点がショート（メイク）時は白黒モードON、オープン（ブレイク）時は白黒モードOFF となります。 **── *MEMO* ──** 白黒／カラー切り換えを確実に行なうために： 白黒 項目をオート に設定すると、被写体の明るさに応じて白黒／カラーの切り換えをおこなうことができますが、照明の条件や画角によっては切り換わらないことがあります。 より確実に切り換えを行なうためには、外部センサー（別途購入ください）の信号を本機のアラーム入力1端子へ入力し、切り換えを行なうことをおすすめしたします。	**OFF**
オートレベル	白黒項目がオートに設定されている場合、白黒モードに切り換わる被写体の信号レベルを設定します。 低 ：被写体の信号レベルが低輝度で白黒モードに切り換わります。 中 ：被写体の信号レベルが標準で白黒モードに切り換わります。 高 ：被写体の信号レベルが高輝度で白黒モードに切り換わります。 **── *MEMO* ──** 白黒項目がオート以外に設定されている場合は“---”と表示され、オートレベル項目設定変更はおこなえません。	**中**
照明	白黒モード時、被写体を照らす照明により設定します。 通常 ：通常の照明はこの設定にします。 赤外 ：赤外発光の照明を使用する場合に設定します。 **── *MEMO* ──** 通常の太陽光、蛍光灯下で赤外に設定すると、カラーから白黒モードに正常に切り換わりません。	**通常**

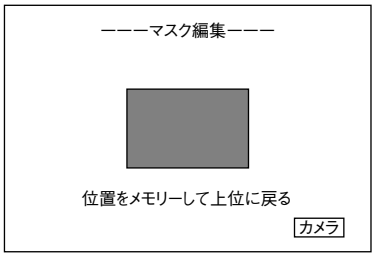
プライベートマスクの設定

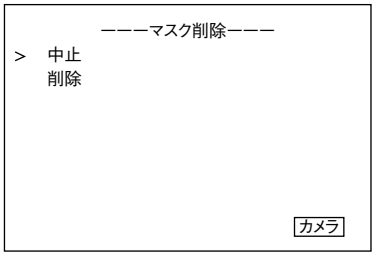
撮影画面で映したくない部分を灰色にするプライベートマスクの設定をおこないます。
設定は表示画面中に 4 か所、カメラ全体で 8 か所設定できます。











1. カメラを選択(☞RM-P2100(C)「取扱説明書」)
カメラボタン→テンキーボタン(カメラ番号)→確定 ボタン
選択カメラの映像が出力されます。

2. 画角を設定
・パン/チルト レバーおよびレンズボタンでプライベートマスクを機能させる画角を設定します。

3. メニュー画面を表示(☞59 ページ *2.*～ *5.*)
メニュー画面が表示されます。

4. "▲" "▼" ボタンでカーソル(>)をカメラ機能項目に移動し、セットボタンを押す
カメラ機能画面が表示されます。

5. カーソル(>)をプライベートマスク 項目に移動し、セット ボタンを押す
プライベートマスク画面が表示されます。

6. 機能の ON/OFF を設定
モード項目がONでプライベートマスクが機能、OFFで機能しません。
(初期値：OFF)

7. マスク番号を選択
マスク NO. 1 ～ 8 でプライベートマスクするNO を選択してからカーソルをマスク編集 項目に移動します。
一画面に設定できるのはそのうちの 4 か所のみです。
すでに設定されたマスク番号を選択した時は(＊)マークが表示されます。

8. マスク範囲を設定
・マスク編集 項目にカーソルを移動し、セット ボタンを押しマスク編集 画面を表示させます。(マスクエリアが灰色に表示されます)
・パン/チルト レバーでマスクをかける中心に灰色部を移動させます。
・望遠 ボタン、広角 ボタンでマスクをかける範囲を設定します。

9. メニューボタンを押す
・上位メニュー画面(プライベートマスク 画面)にもどります。
・プライベートマスクエリアを消去する場合は、マスク削除 項目を選択し、削除 にカーソルを移動し、セット ボタンを押します。
データ消去後に、プライベートマスク 画面にもどります。
消去をやめる場合は、中止項目を選択しセットボタンを押します。

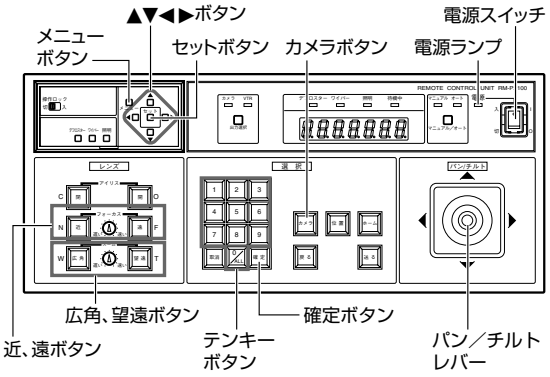
10. *6.*～ *9.* を繰り返す

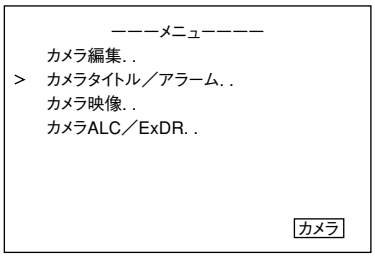
11. メニューボタンを押す
上位メニュー(カメラ機能 画面)にもどります。

MEMO
- 設定されたプライベートマスク範囲でもカメラの向きによっては映ってしまう場合があります。
- 電源投入直後の初期動作時は、プライベートマスク機能は正常に動作しません。
- 電子増感 の倍率が高いほどプライベートマスク範囲でもカメラの向きによっては映ってしまう場合があります。
- マスクが5 つ以上設定されている画面を映した場合は、全画面にマスクが表示されます。

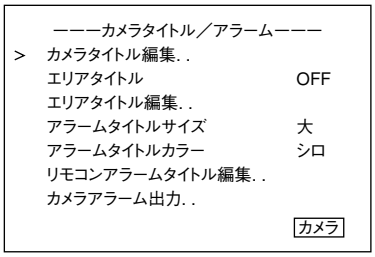
カメラタイトルの設定

タイトルを最大 16 文字まで設定できます。
画面左下に常に表示されます。

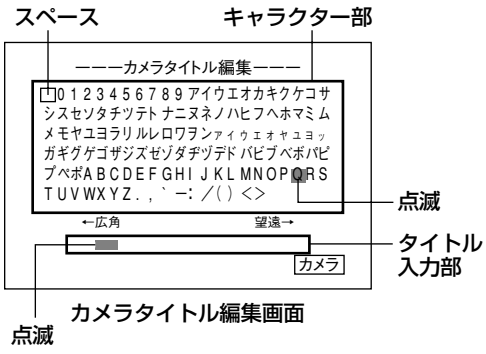




メニュー画面



カメラタイトル／アラーム画面



カメラタイトル編集画面

1. カメラを選択(☞RM-P2100(C)「取扱説明書」)カメラボタン→テンキーボタン(カメラ番号)→確定ボタン

選択カメラの映像が出力されます。

2. メニュー画面を表示(☞59 ページ *2.*～ *5.*)

メニュー画面が表示されます。

3. “▲”“▼”ボタンでカーソル(>)をカメラタイトル／アラーム項目に移動し、セットボタンを押す

カメラタイトル／アラーム 画面が表示されます。

4. カメラタイトル編集にカーソル(>)があることを確認し、セットボタンを押す

・カメラタイトル 画面が表示されます。
・キャラクター部とタイトル入力部の 1 文字目が反転表示し、入力状態となります。

5. “▲”“▼”“◀”“▶”ボタンを押して上下左右に動かし、キャラクター部から1文字目を選択する

・選択した文字は反転表示します。
・選択した文字はタイトル入力部に表示されます。

6. 望遠ボタンを押す

・タイトルの 1 文字目が確定し、2 文字目が入力状態となります。
・広角ボタンを押すと、タイトル入力部の点滅位置が左に移動します。設定したタイトルを修正するときに使用します。

7. *5.*～ *6.*を繰り返す

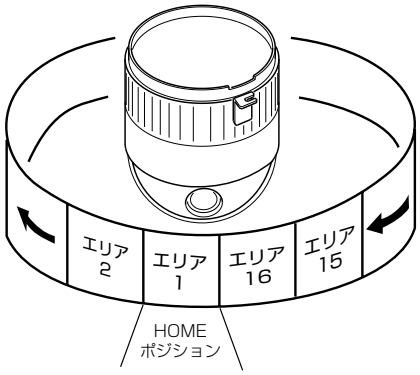
カメラタイトルを全て入力します。

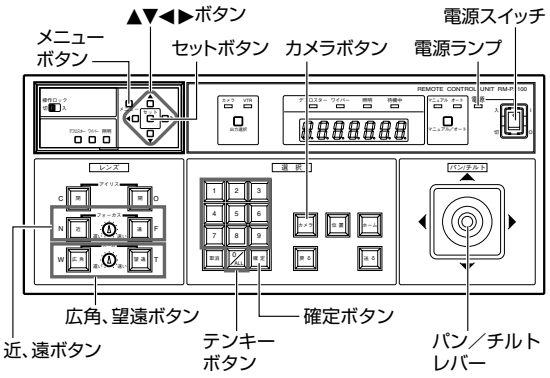
8. メニューボタンを押す

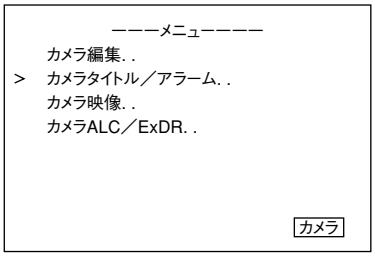
・上位メニュー画面が表示されます。
・複数のカメラタイトルを設定する場合は、*1.*～ *7.*を繰り返しおこなってください。

エリアタイトルの設定

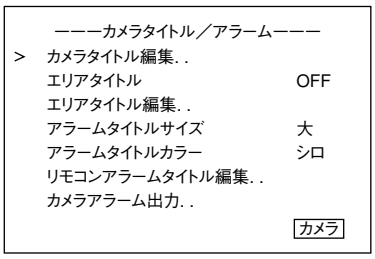
360°のパンニング(水平回転)範囲を 16 エリアに等分割し、カメラを手動で回転させるとき、エリアタイトルを画面に表示します。各エリアに 16 文字まで設定できます。(エリアタイトル表示の入 / 切 ☞ 62 ページエリアタイトル項目)



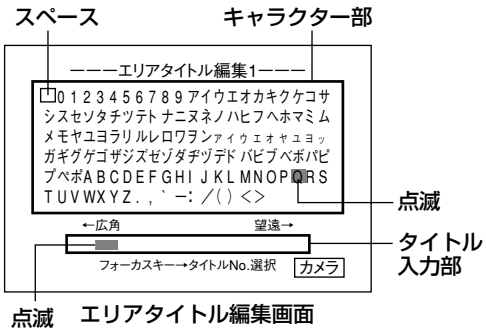




メニュー画面



カメラタイトル／アラーム画面



エリアタイトル編集画面

1. カメラを選択(☞ RM-P2100(C)「取扱説明書」)
カメラボタン→テンキーボタン（カメラ番号）
→確定ボタン

選択カメラの映像が出力されます。

2. メニュー画面を表示(☞59 ページ *2.*～ *5.*)

メニュー画面が表示されます。

3. “▲”“▼”ボタンでカーソル(>)をカメラタイトル／アラーム項目に移動し、セットボタンを押す

カメラタイトル／アラーム 画面が表示されます。

4. エリアタイトル編集項目にカーソル(>)を移動しセットボタンを押す

・エリアタイトル 1 画面が表示されます。
(ホームポジションはエリアタイトル 1 に対応)
・キャラクター部とタイトル入力部の 1 文字目が反転表示し、入力状態となります。

5. “▲”“▼”“◀”“▶”ボタンを押して上下左右に動かし、キャラクター部から1文字目を選択する

・選択文字は反転表示します。
・選択文字はタイトル入力部に表示されます。

6. 望遠ボタンを押す

・タイトルの 1 文字目が確定し、2 文字目が入力状態となります。
・広角ボタンを押すと、タイトル入力部の点滅位置が左に移動します。設定したタイトルを修正するときに使用します。

7. 遠ボタンを押す

・カメラが次のエリアに移動し、エリアタイトル2画面が表示されます。
・近ボタンを押すと前のエリアに戻り、前のエリアタイトル 1 画面が表示されます。

8. *5.*～ *7.* を繰り返す

・全てのエリアタイトルを入力します。

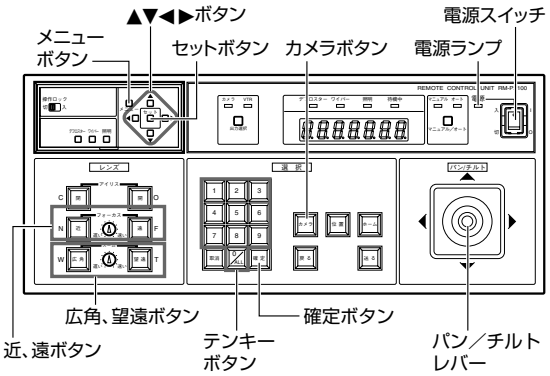
9. メニューボタンを押す

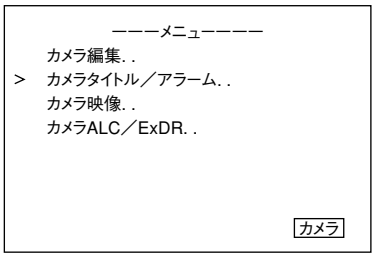
・上位メニュー画面が表示されます。

リモコンアラームタイトルの設定

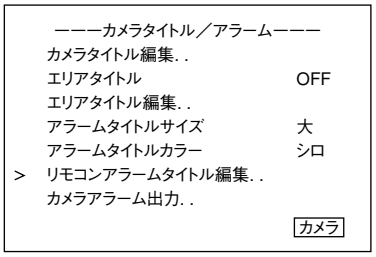
アラーム入力時、表示するタイトルを設定します。

タイトルは 10 種類(リモコンアラームタイトル 1 ～ 10)設定でき、それぞれ 12 文字設定できます。

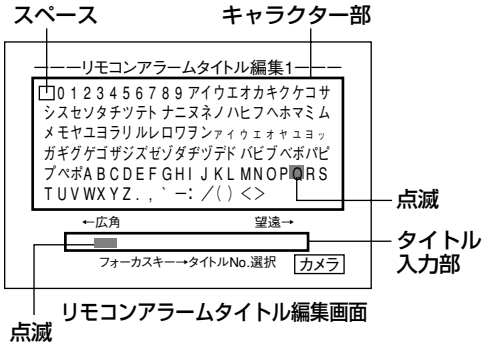




メニュー画面



カメラタイトル／アラーム画面



リモコンアラームタイトル編集画面

1. カメラを選択(☞ RM-P2100(C)「取扱説明書」)カメラボタン→テンキーボタン（カメラ番号）→確定ボタン

選択カメラの映像が出力されます。

2. メニュー画面を表示(☞59 ページ *2.* ～ *5.*)

メニュー画面が表示されます。

3. “▲” “▼” ボタンでカーソル(>)をカメラタイトル／アラーム項目に移動し、セットボタンを押す

カメラタイトル／アラーム 画面が表示されます。

4. リモコンアラームタイトル編集項目にカーソル(>)を移動しセットボタンを押す

・リモコンアラームタイトル 1 画面が表示されます。
・キャラクター部とタイトル入力部の 1 文字目が反転表示し、入力状態となります。

5. “▲” “▼” “◀” “▶” ボタンを押して上下左右に動かし、キャラクター部から1文字目を選択する

・選択文字は反転表示します。
・選択文字はタイトル入力部に表示されます。

6. 望遠ボタンを押す

・タイトルの 1 文字目が確定し、2 文字目が入力状態となります。
・広角ボタンを押すと、タイトル入力部の点滅位置が左に移動します。設定したタイトルを修正するときに使用します。

7. 遠ボタンを押す

・次のアラーム入力(リモコンアラームタイトル 2)画面が表示されます。
・近ボタンを押すと、前のアラーム入力画面に戻ります。

8. *5.* ～ *7.* を繰り返す

・全てのアラーム入力画面(リモコンアラームタイトル 1 ～ 10)において、タイトルを設定します。

9. メニューボタンを押す

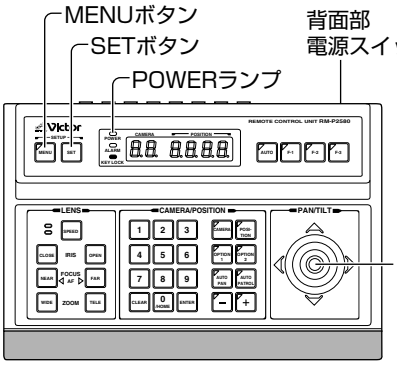
上位メニュー画面が表示されます。

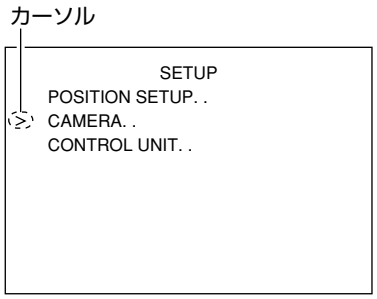
RM-P2580からカメラの設定を変える

設定方法

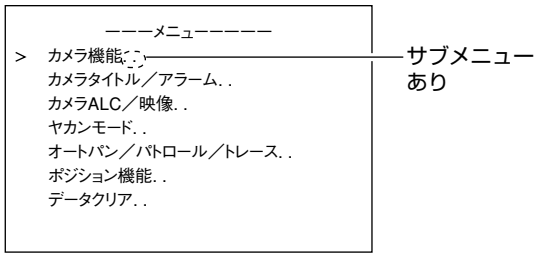
リモートコントロールユニットRM-P2580 を使用したシステムの場合、カメラ側メニューをリモコンから呼び出し、機能設定をおこなうことができます。
（RM − P2580 の「取扱説明書」をあわせてご覧ください。）

＜ RM-P2580 からカメラ側メニューの設定をおこなう方法＞

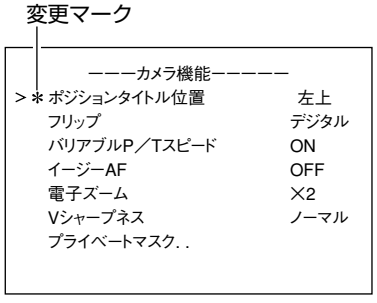




SETUP画面



メニュー画面



サブメニュー画面例

1. 背面部電源スイッチを“ON”にする
POWER ランプが点灯します。

2. MENUボタンを3秒間押す
・MENU ボタンLED が点灯します。
・MONITOR OUTPUT-1 からリモコン側のSET UP 画面が表示されます。

3. PAN/TILTレバーを下に動かし、カーソル（>）を、CAMERA項目に移動する
・レバーを上側(▲)に押すと、カーソルは上に移動します。
・レバーを下側(▼)に押すと、カーソルは下に移動します。

4. SETボタンを押す
・メニュー画面が表示されます。
・項目の最後に“･･”が付いているものは、サブメニューがあります。

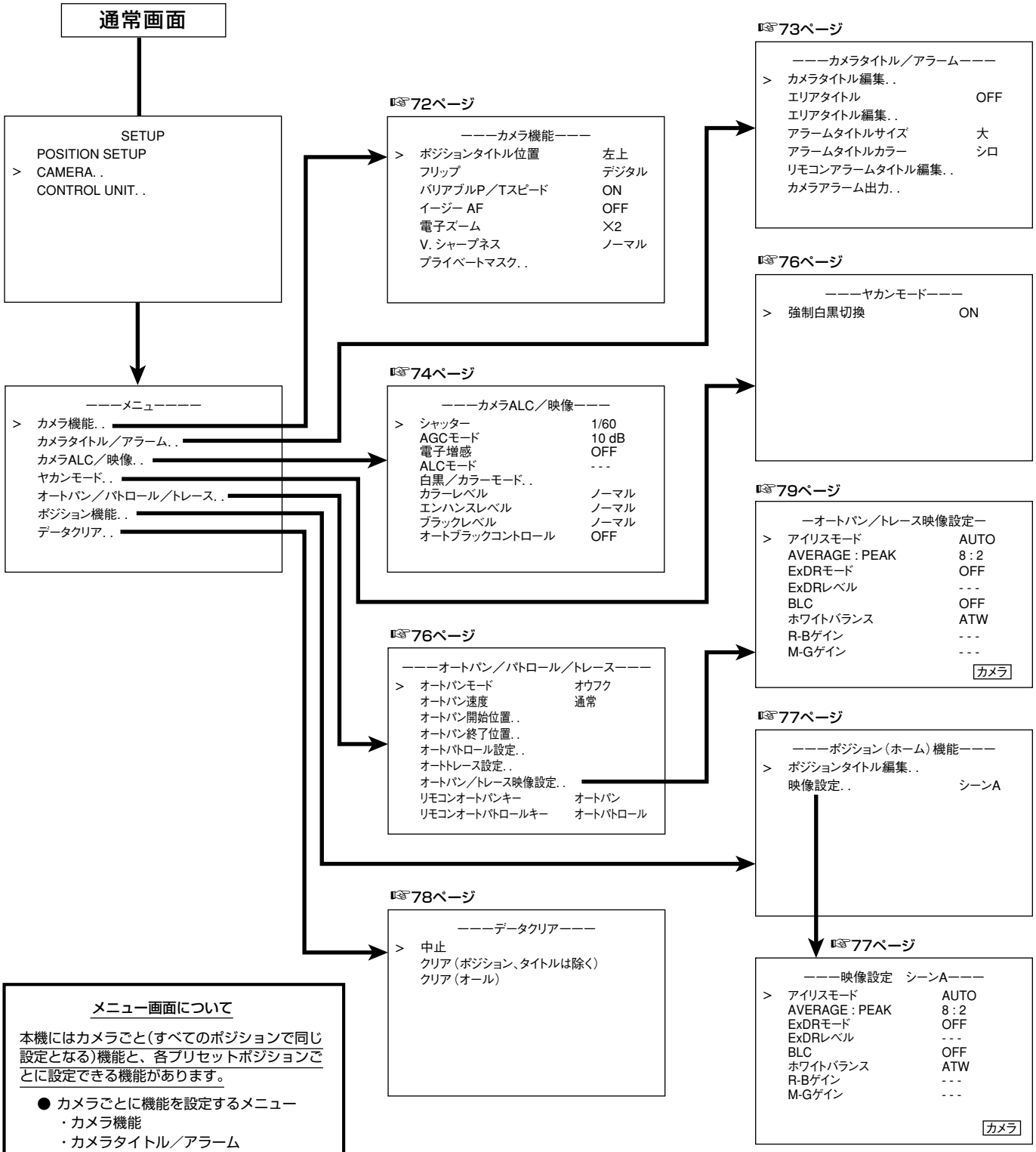
5. PAN/TILTレバーを上下に動かし項目を選択する

6. PAN/TILTレバーを左右に動かし項目の値を変更する
・レバーを左側(◀)に押すと、数値が小さくなります。
・レバーを右側(▶)に押すと、数値が大きくなります。
項目の設定値を変更すると左図のような変更マーク(＊)が表示されます。
サブメニューの設定方法の詳細は次ページ以降をご覧ください。

7. MENUボタンを押す
項目の設定が終わったら、MENU ボタンを押し、上位メニュー画面にもどします。

メニュー画面の流れ

メニュー画面は下図のような流れになっています。(詳細は参照ページをご覧ください)



メニュー画面について

本機にはカメラごと(すべてのポジションで同じ設定となる)機能と、各プリセットポジションごとに設定できる機能があります。

- カメラごとに機能を設定するメニュー
  - ・カメラ機能
  - ・カメラタイトル／アラーム
  - ・カメラ ALC／映像
  - ・ヤカンモード
  - ・オートパン／パトロール／トレース
- 各プリセットポジションに対して設定するメニュー
  - ・ポジション設定→映像設定

ポジションごとの映像設定で用いるシーンファイルについて

本機では、ポジションごとに細かな映像設定ができるよう、あらかじめ A-H ８種のシーンファイルを用意しています。
各シーンファイルの内容は自由に設定し保存しておくことができます。そして、各プリセットポジションごとに A-H のうち好みのシーンファイルを選ぶことで、各プリセットポジションへの映像設定を行ないます。

カメラ機能 画面

項 目	機 能 と 設 定 値	初 期 値
ポジション タイトル位置	ポジションタイトル、エリアタイトルの表示位置を設定します。 左上 ：画面の左上部に表示します。 中上 ：画面の中央上に表示します。 左下 ：画面の左下部に表示します。 右上 ：画面の右上部に表示します。 中下 ：画面の中央下に表示します。 右下 ：画面の右下部に表示します。 [設定値：左上，中上，左下，右上，中下，右下]	左上
フリップ	OFFに設定したときは、垂直回転動作をすると、本機は真下を向いたところで停止します。被写体が真下を通過する場合のカメラ操作は、①真下に向ける②水平に 180° 回転させる③上に向ける。この 3 つの手順が必要です。 オートフリップ機能を使うと、この手順を減らすことができます。カメラの真下を通る被写体を撮影するときに設定します。 OFF ：オートフリップ機能は動作しません。 デジタル ：カメラが真下を過ぎ135°の位置で、映像の上下左右が反転します。 オート ：カメラが真下の位置にくると 180° 水平回転し、止まります。	デジタル
バリアブルP／ Tスピード	レンズのズームに応じて、パン（水平回転)、チルト（垂直回転)の動作速度を自動的に可変します。ズームレンズをTELE（望遠)側にすると、パン、チルトの速度は遅くなり、WIDE（広角)側にすると、パン、チルトの速度は早くなります。ズーム比の異なる被写体を撮影する場合に設定します。 OFF ：機能しません。 ON ：機能します。	ON
イージー AF	ON に設定すると手動でパン、チルト、ズーム操作をおこなっている間、自動的にオートフォーカス（AF)が働きます。手動で操作することが多い場合、カメラを動かすごとにフォーカスを取り直す必要がなく便利です。 OFF ：機能しません。 ON ：機能します。 **— MEMO —** オートフォーカスは被写体によって十分にピントが合わないことがあります。 （☞5ページ） その場合は手動でピントを合わせてください。	OFF
電子ズーム	ズームレンズをTELE（望遠)側にすると、光学ズームが機能しその後電子ズームが機能します。この電子ズーム機能の最大値を設定します。 [設定値：× 1，× 2] **— MEMO —** ●電子ズームは映像をデジタル処理するため、多少映像品質が劣化します。 ●電子ズームの倍率を上げていくと、画面中心が左上方向にずれますが、これは本機の特性であり故障ではありません。 ●光学ズームから電子ズームへ連続動作しません。光学ズームがTELE端にきたら、TELEボタンを押し直してください。	×2
Vシャープネス	映像の垂直方向に対する鮮明度を設定します。 ノーマル ：鮮明度は普通です。 高い ：鮮明な映像になります。 **— MEMO —** “高い”に設定時、次のような現象が見られることがありますが、故障ではありません。 ・高輝度の被写体を写すと横しまが発生することがあります。 ・低照度時にうすい横しまが発生することがあります。	ノーマル
プライベートマスク..	撮影画面の中で、映したくない部分を設定し、その部分だけを灰色にし、映さないようにする機能です。設定した部分は、パン、チルト、ズームに連動して移動します。 ☞81 ページ「プライベートマスクの設定」	—

カメラタイトル／アラーム画面

タイトルおよびアラームについての設定をします。

項　目	機　能　と　設　定　値	初　期　値
カメラタイトル編集..	画面左下に常に表示されるタイトルを設定します。タイトルは最大16文字まで設定できます。 ☞82 ページ「カメラタイトル の設定」	**──**
エリアタイトル	水平回転範囲360°を16エリアに等分し、各エリアに16文字のタイトルを設定することができます。カメラを手動でパンニング（水平回転)させると、設定したエリアタイトルを表示します。 ON　：エリアタイトルを表示します。 OFF ：エリアタイトルを表示しません。	**OFF**
エリアタイトル編集..	エリアタイトルの設定画面です。 ☞83 ページ「エリアタイトル の設定」	**──**
アラームタイトル サイズ	アラーム時に表示するタイトルのサイズを設定します。 小 ：メニュー画面の文字と、同じサイズです。 大 ：メニュー画面の文字に比べ縦・横 2 倍サイズです。	**大**
アラームタイトル カラー	アラーム時に表示するタイトルの色を設定します。 [設定値：シロ，ミドリ，ミズイロ，キイロ]	**シロ**
リモコンアラーム タイトル編集..	アラーム時に表示するタイトルの設定画面です。 ☞84 ページ「リモコンアラームタイトル の設定」	**──**
カメラアラーム 出力..	天井取付金具にあるアラーム出力端子についての設定をおこないます。	**──**
アラーム出力 1	アラーム出力 1 端子についての設定をおこないます。 OFF ：アラームは出力しません。 白黒 ：本機が白黒モードになった時、アラーム信号を出力します。 ***MEMO*** ● アラーム出力端子は、メカニカルリレーを使用しているため、静かな場所ではリレーの動作音が気になる場合があります。 ● アラーム出力端子は、メカニカルリレーを使用しているため、頻繁にアラームとなる信号で使用した場合、リレーの寿命を縮めてしまいますので御注意ください。リレーの寿命は20万動作です。リレーは消耗部品であり、保証期間内であっても交換は有料となります。	**OFF**

カメラ ALC ／映像画面

明るさにより自動的に調整をおこないます。
カラーレベル、輪郭強調などカメラの映像信号についての設定をおこないます。

項　目	機　能　と　設　定　値	初　期　値
シャッター	電子シャッターのスピードを設定します。 電子増感項目を×2以上に設定すると、可変できる設定値は1/60と1/100のみです。 **[設定値： 1/60, 1/100, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000, 1/4000, 1/10000]** ***MEMO*** ●商用電源周波数50Hz地域ではシャッタースピードを1/100に、60Hz地域では1/60に設定すると、蛍光灯などのチラツキを軽減することができます。 ●シャッタースピードは、高速になるほど明るい光源の上下に白い帯のような線が発生するCCD特有のスミア現象が強調されます。	1/60
AGC モード	光量の少ない被写体で電気的に感度を上げるAGC（自動ゲイン調整)の最大ゲインを設定します。 OFF　：自動ゲイン調整はおこないません。 10 dB　：被写体の明るさに応じて最大 10 dB までゲインを上げます。 20 dB　：被写体の明るさに応じて最大 20 dB までゲインを上げます。 スーパー　：20 dB に設定しても明るさが不足のときに設定します。 ***MEMO*** ●白黒 項目がオート に設定されている場合は、AGC モード 項目がスーパー のときは［スーパー］を、その他の設定時は［20 dB］を表示して、表示した値までゲインを上げます。 ●ゲインを上げると暗い場所では画面がザラ付きます。 ●スーパーに設定すると、急激なレベル変化に対しては動作時間がかかることがあります。	10 dB
電子増感	電子増感は、露光時間を長くして感度を上げる機能です。（電子感度アップ） この項目では被写体が暗くなったとき、感度が自動的に何倍まで上るかを設定します。 × 32 の場合、標準レベルに比べ 32 倍まで自動的に連続で感度があがります。感度が上がるとシャッタースピードが遅くなるため動きは不自然なものとなります。シャッター項目を 1/250 以上に設定すると“- - -”と表示され電子増感は機能しません。 [設定値：OFF, × 2, × 4, × 8, × 16, × 24, × 32] ***MEMO*** 電子増感の倍率を上げると、画面がザラついたり白っぽくなったり、白キズが現れる場合がありますが、異常ではありません。	OFF
ALC モード	被写体が暗くなったとき、動きを優先するか、画像を優先するかを設定します。 ウゴキ優先 ：動きを優先します。 被写体が暗くなると、AGC（自動ゲイン調整)が優先的に機能するため、動きの早い被写体に適しています。 ガシツ優先 ：画像を優先します。 被写体が暗くなると、電子増感（電子感度アップ）が優先的に機能するため、画像を優先する被写体に適しています。 ***MEMO*** ●AGC モード 項目と電子増感 項目どちらか一方でもOFF に設定されていると“---”と表示されALCモード 設定できません。 ●白黒項目がオートに設定されている場合はALCモード項目はウゴキ優先モードとなり“---”と表示されます。	**ウゴキ優先**

カメラALC／映像画面（つづき）

項　目	機　能　と　設　定　値	初　期　値
白黒／カラーモード. .	白黒／カラーの切り換えに関する設定をおこないます。 **── *MEMO* ──** 白黒モードでは可視光域と近赤外光域両方に感度をもつため、光源の種類によってはカラーモードから白黒モードに切り換えるとフォーカスがずれることがあります。この時は白黒モードでフォーカスを合わせなおしてください。 また、必要に応じて赤外照明を使用してください。	──
白黒	カラーから白黒モードに切り換える機能について設定します。 OFF　：白黒モードには切り換わりません。 ON　：いつも白黒モードとなります。 オート　：被写体の輝度が高い場合はカラーモード、低い場合は白黒モードに自動的に切り換わります。 アラーム入力１：本機のアラーム入力１端子、7 ページ ❼ にアラーム入力があった場合、白黒モードになります。 接点がショート（メイク）時は白黒モード ON、オープン（ブレイク）時は白黒モード OFF となります。 **── *MEMO* ──** 〈白黒／カラー切り換えを確実に行なうために〉 白黒 項目をオート に設定すると、被写体の明るさに応じて白黒／カラーの切り換えをおこなうことができますが、照明の条件や画角によっては切り換わらないことがあります。 より確実に切り換えを行なうためには、外部センサー（別途購入ください）の信号を本機のアラーム端子へ入力し、切り換えを行なうことをおすすめしたします。	OFF
オートレベル	白黒項目がオートに設定されている場合、白黒モードに切り換わる被写体の信号レベルを設定します。 低　：被写体の信号レベルが低輝度で白黒モードに切り換わります。 中　：被写体の信号レベルが標準で白黒モードに切り換わります。 高　：被写体の信号レベルが高輝度で白黒モードに切り換わります。 **── *MEMO* ──** 白黒項目がオート以外に設定されている場合は“---”と表示され、オートレベル項目設定変更はおこなえません。	中
照明	白黒モード時、被写体を照らす照明により設定します。 通常　：通常の照明はこの設定にします。 赤外　：赤外発光の照明を使用する場合に設定します。 **── *MEMO* ──** 通常の太陽光、蛍光灯下で赤外に設定すると、カラーから白黒モードに正常に切り換わりません。	通常
カラーレベル	映像信号の色レベル調整をおこないます。 色を薄くする　……　数を小さく 色を濃くする　……　数を大きく [設定値：－ 5 ～ ノーマル ～ 5]	ノーマル
エンハンスレベル	モニター画面上の鮮明さを強調する輪郭補正調整をおこないます。 画質をソフトにする　…… 数を小さく 画質をシャープにする　…… 数を大きく [設定値：－ 5 ～ ノーマル ～ 5]	ノーマル
ブラックレベル	映像信号のペデスタルレベル（黒の基準)の調整をおこないます。 画質を暗くする　…… 数を小さく 画質を明るくする　…… 数を大きく [設定値：－ 5 ～ ノーマル ～ 5]	ノーマル
オートブラックコントロール	AGC（自動ゲイン調整)でゲインを上げても映像の暗い部分が見えにくいときに設定します。 ON　：映像信号の黒レベルが低いと、黒の基準となるペデスタルレベルが自動的に上がり、暗い部分を見えやすくします。 OFF　：オートブラックコントロールは機能しません。	OFF

ヤカンモード画面

（RM-P2580では、ヤカンモード画面で夜間モードに入ったときの設定を変更することができますが実際に夜間モードに切換えることはできません。）

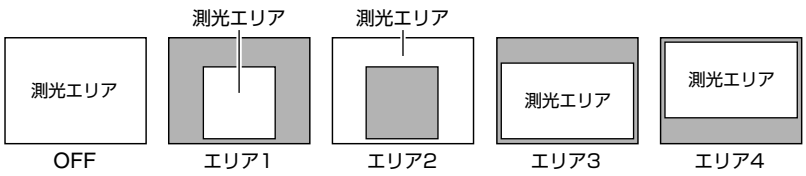
項　目	機　能　と　設　定　値	初　期　値
強制白黒切換	夜間モード時の白黒制御を設定します。 OFF　：夜間時の白黒制御しません。 ON　：夜間時の白黒制御します。	**ON**

オートパン／パトロール／トレース画面

ゆっくり水平回転するオートパン機能、ポジションを順番に切り換えるオートパトロール機能、手動でカメラ操作した内容を再現するオートトレース機能に関する設定をおこないます。

項　目	機　能　と　設　定　値	初　期　値
オートパンモード	オートパン時の回転方向を設定します。 オウフク　：スタート位置と反転位置の往復 右回転　：右回転 左回転　：左回転 ☞85 ページ「オートパン の設定」	**オウフク**
オートパン速度	オートパン時の回転速度を設定します。 低速　：低速回転 通常　：標準回転 高速　：高速回転	**通常**
オートパン開始位置..	オートパン時の開始位置を設定します	―
オートパン終了位置..	オートパン時の反転位置を設定します。	―
オートパトロール設定..	オートパトロール機能の設定をおこないます。 ☞86 ページ「オートパトロールの設定」	―
オートトレース設定..	オートトレースの設定をおこないます。 ☞87 ページ「オートトレースの設定」	―
オートパン／トレース映像設定..	オートパン／トレース時の映像を設定します。	―
リモコンオートパンキー	リモコンの AUTO PAN ボタンを押すと動作する機能を設定します。 オートパン　　：オートパン機能 オートパトロール　：オートパトロール機能 オートトレース　：オートトレース機能	**オートパン**
リモコンオートパトロールキー	リモコンの AUTO PATROL ボタンを押すと動作する機能を設定します。 オートパン　　：オートパン機能 オートパトロール　：オートパトロール機能 オートトレース　：オートトレース機能	**オートパトロール**

ポジションホーム機能設定画面

項　目	機　能　と　設　定　値	初　期　値
ポジションタイトル編集..	設定されたポジション(63ヵ所)とホームポジション(1ヵ所)のタイトルを16文字まで設定し、画面に表示します。 ☞88 ページ「ポジションタイトル の設定」	―
映像設定..	映像に関する設定をおこないます。 A～Hの８種のシーン設定をおこないます。	シーン A
アイリスモード	レンズアイリスの調整方法を設定します。 AUTO　：自動でアイリスを標準状態に調整します。 AUTO+　：自動でアイリスを標準状態より明るめに調整します。 AUTO －　：自動でアイリスを標準状態より暗めに調整します。 MANUAL　：手動でアイリスを調整するときに設定します。	AUTO
AVERAGE : PEAK	露出検出のしかたを平均値とピーク値の割合で設定します。 ・AVERAGE 値大　：画面のハイライト部以外が暗くつぶれ気味のとき設定します。(例　10:0) ・PEAK 値大　：画面のハイライト部がハレーション気味のとき設定します。(例　5：5) [設定値 10：0，9：1，8：2，7：3，6：4，5：5]	8：2
ExDR モード	ExDR 機能は、シャッタースピード1/100 秒で撮影した映像と高速シャッターで撮影した映像を合成することにより、照度差のある被写体でも撮影することができます。 シャッター項目を 1/250 以上に設定すると“- - -”と表示され ExDR は機能しません。 OFF　：ExDR は機能しません。 ON　：ExDR は機能します。	OFF
ExDR レベル	ExDR モード時、被写体のどの明るさを見やすくするかを設定します。 ・被写体の低輝度部を見やすく　…… 数字を大きく ・被写体の高輝度部を見やすく　…… 数字を小さく [設定値：－ 5 ～ ノーマル ～ 5] **MEMO** ● 被写体の照度差が大きい場合、ExDR レベルを可変させても映像が変化しない場合がありますが、これは本機の特性で故障ではありません。 ● シャッター項目を1/250以上に設定すると“---”と表示され、ExDR レベル項目の設定変更はおこなえません。 ● ExDRモード項目がOFFに設定されているとExDRレベル項目の設定変更はおこなえません。	ノーマル
BLC	逆光補正機能を設定します。被写体の背景に明るい光源などがあり、オートアイリス機能で被写体が暗くなってしまう場合に設定します。不要な光源が測光エリア外となるようにします。  **MEMO** ExDR モード 項目（☞77ページ）がON に設定されている場合、BLC 項目はOFF に設定され“---”と表示されます。この時BLC項目の設定変更はおこなえません。	OFF

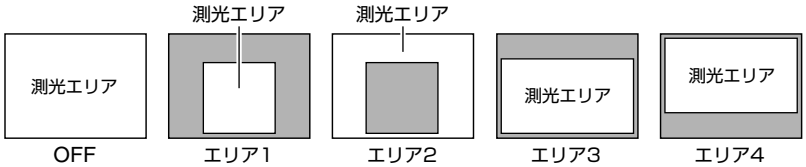
ポジション機能設定画面（つづき）

項　目	機　能　と　設　定　値	初　期　値
ホワイトバランス	ホワイトバランス調整機能を設定します。色温度2500K～8000Kの範囲内の照明に対して調整できます。 ATW ：Auto-Tracking White Balance（自動色温度追尾)モードになります。照明の色温度に応じて自動的にホワイトバランスを調整します。ATW 設定時は、R-B ゲイン , M-G ゲイン 項目は“- - -”と表示され、色相調整はおこなえません。 AWC ：Auto White Control（自動白バランス調整)モードとなり、“セットキーで開始します”と表示されます。SET ボタンを押すとAWCが機能し、白バランスを調整します。	ATW
R-B ゲイン	AWC 時のR（赤)、B（青)の色相を調整します。 青色を強調　…… 数字を小さく 赤色を強調　…… 数字を大きく [設定値　0 ～ 255]	95
M-G ゲイン	AWC 時のM（マゼンタ)、G（緑)の色相を調整します。 緑色を強調　…… 数字を小さく マゼンタ色を強調　…… 数字を大きく [設定値　0 ～ 255]	63

データークリア画面

項　目	機　能　と　設　定　値	初　期　値
データクリア	メニューで設定した値を初期値にもどします。SET ボタンを押すと約 20 秒間“クリア中です”と表示し、設定値を初期値にもどします。 終了時に”データをクリアしました“と表示します。 中止　：初期値にもどしません。 クリア　：設定値を初期値にもどします。 （ポジション、タイトルは除く）ただし、設定ポジション、ポジションごとの設定データと各種タイトルは初期値にもどりません。 クリア（オール）：タイトル、設定ポジションを含め、全ての設定値を初期値にもどします。	—

オートパン／パトロール／トレース映像設定画面

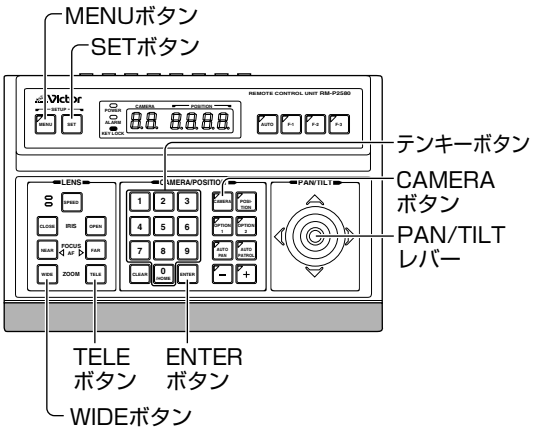
項　目	機　能　と　設　定　値	初　期　値
映像設定 ..	映像に関する設定をおこないます。	
アイリスモード	レンズアイリスの調整方法を設定します。 AUTO　：自動でアイリスを標準状態に調整します。 AUTO+　：自動でアイリスを標準状態より明るめに調整します。 AUTO －　：自動でアイリスを標準状態より暗めに調整します。 MANUAL　：手動でアイリスを調整するときに設定します。	**AUTO**
AVERAGE : PEAK	露出検出のしかたを平均値とピーク値の割合で設定します。 ・AVERAGE 値大　：画面のハイライト部以外が暗くつぶれ気味のとき設定します。（例　10:0） ・PEAK 値大　：画面のハイライト部がハレーション気味のとき設定します。（例　5：5） [設定値 10：0，9：1，8：2，7：3，6：4，5：5]	**8：2**
ExDR モード	ExDR 機能は、シャッタースピード1/100 秒で撮影した映像と高速シャッターで撮影した映像を合成することにより、照度差のある被写体でも撮影することができます。 シャッター項目を 1/250 以上に設定すると“- - -”と表示され ExDR は機能しません。 OFF　：ExDR は機能しません。 ON　：ExDR は機能します。	**OFF**
ExDR レベル	ExDR モード時、被写体のどの明るさを見やすくするかを設定します。 ・被写体の低輝度部を見やすく　…… 数字を大きく ・被写体の高輝度部を見やすく　…… 数字を小さく [設定値：－ 5 ～ ノーマル ～ 5] ***MEMO*** ● 被写体の照度差が大きい場合、ExDR レベルを可変させても映像が変化しない場合がありますが、これは本機の特性で故障ではありません。 ● シャッター項目を1/250以上に設定すると“---”と表示され、ExDR レベル項目の設定変更はおこなえません。 ● ExDRモード項目がOFFに設定されているとExDRレベル項目の設定変更はおこなえません。	**ノーマル**
BLC	逆光補正機能を設定します。被写体の背景に明るい光源などがあり、オートアイリス機能で被写体が暗くなってしまう場合に設定します。不要な光源が測光エリア外となるようにします。  ***MEMO*** ExDR モード 項目（☞79ページ）がON に設定されている場合、BLC 項目はOFF に設定され“---”と表示されます。この時BLC項目の設定変更はおこなえません。	**OFF**

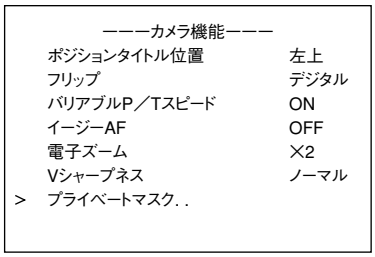
オートパン／パトロール／トレース映像設定画面（つづき）

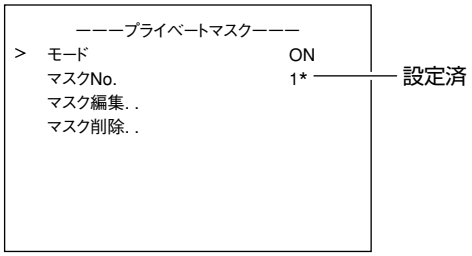
項　目	機　能　と　設　定　値	初　期　値
ホワイトバランス	ホワイトバランス調整機能を設定します。色温度2500K～8000Kの範囲内の照明に対して調整できます。 ATW ：Auto-Tracking White Balance（自動色温度追尾)モードになります。照明の色温度に応じて自動的にホワイトバランスを調整します。ATW 設定時は、R-B ゲイン , M-G ゲイン 項目は“- - -”と表示され、色相調整はおこなえません。 AWC ：Auto White Control（自動白バランス調整)モードとなり、“セットキーで開始します”と表示されます。SET ボタンを押すと AWC が機能し、白バランスを調整します。	ATW
R-B ゲイン	AWC 時の R（赤)、B（青)の色相を調整します。 青色を強調　…… 数字を小さく 赤色を強調　…… 数字を大きく [設定値　0 ～ 255]	95
M-G ゲイン	AWC 時の M（マゼンタ)、G（緑)の色相を調整します。 緑色を強調　…… 数字を小さく マゼンタ色を強調　…… 数字を大きく [設定値　0 ～ 255]	63

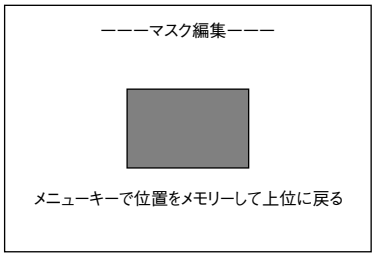
プライベートマスクの設定

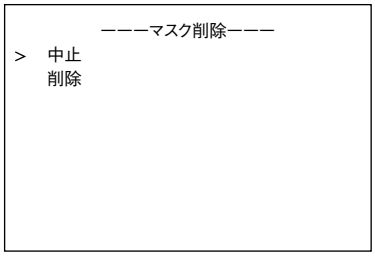
撮影画面で映したくない部分を灰色にするプライベートマスクの設定をおこないます。
設定は表示画面中に 4 か所、カメラ全体で 8 か所設定できます。











1. カメラを選択(☞ RM-P2580「取扱説明書」)
CAMERA ボタン→テンキーボタン（カメラ番号）→ENTER ボタン

選択カメラの映像が出力されます。

2. 画角を設定

・PAN／TILT レバーおよびレンズボタンでプライベートマスクを機能させる画角を設定します。

3. メニュー 画面表示(☞ 70 ページ *2.* ～ *4.*)

メニュー画面が表示されます。

4. PAN/TILT レバーを上下に動かし、カーソル(>)をカメラ機能項目に移動し、SET ボタンを押す

カメラ機能 画面が表示されます。

5. カーソル(>)をプライベートマスク 項目に移動し、SET ボタンを押す

プライベートマスク 画面が表示されます。

6. 機能の ON/OFF を設定

モード項目がONでプライベートマスクが機能、OFFで機能しません。(初期値：OFF)

7. マスク番号を選択

マスク NO1 ～ 8 でプライベートマスクするNO を選択してからカーソルをマスク編集 項目に移動します。
一画面に設定できるのはそのうちの 4 か所のみです。
すでに設定されたマスク番号を選択した時は(＊)マークが表示されます。

8. マスク範囲を設定

・マスク編集 項目にカーソルを移動し、SETボタンを押しマスク編集画面を表示させます。（マスクエリアが灰色に表示されます）
・パン/チルト レバーでマスクをかける中心に灰色部を移動させます。
・TELE ボタン、WIDE ボタンでマスクをかける範囲を設定します。

9. MENU ボタンを押す

・上位メニュー画面(プライベートマスク 画面)にもどります。
・プライベートマスクエリアを消去する場合は、マスク削除 項目を選択し、削除 にカーソルを移動し、SET ボタンを押します。
データ消去後に、プライベートマスク 画面にもどります。
消去をやめる場合は、中止項目を選択し SET ボタンを押します。

10. *6.* ～ *9.* を繰り返す

11. MENU ボタンを押す

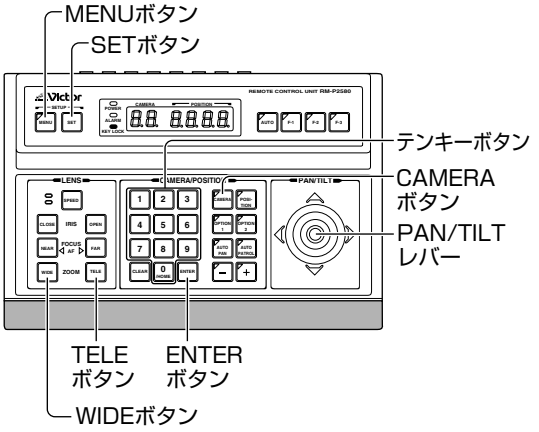
上位メニュー(カメラ機能 画面)にもどります。

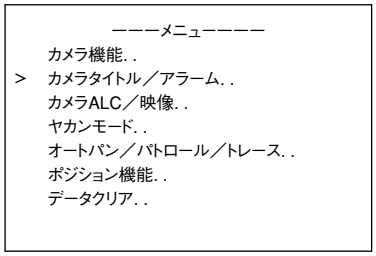
MEMO

- 設定されたプライベートマスク範囲でもカメラの向きによっては映ってしまう場合があります。
- 電源投入直後の初期動作時は、プライベートマスク機能は正常に動作しません
- 電子増感 の倍率が高いほどプライベートマスク範囲でもカメラの向きによっては映ってしまう場合があります。
- マスクが5 つ以上設定されている画面を映した場合は、全画面にマスクが表示されます。

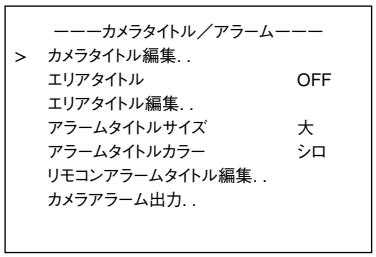
カメラタイトルの設定

タイトルを最大 16 文字まで設定できます。
画面左下に常に表示されます。

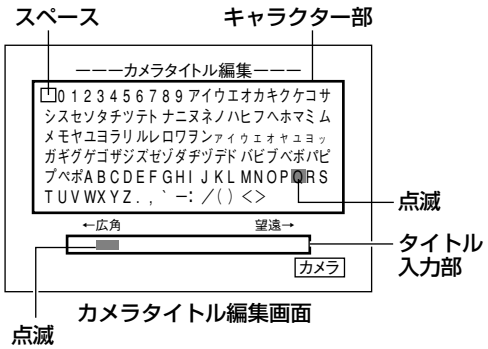




メニュー画面



カメラタイトル／アラーム画面



カメラタイトル編集画面

1. カメラを選択(☞RM-P2580「取扱説明書」)

CAMERA ボタン → **テンキー**ボタン(カメラ番号) → ENTER ボタン

選択カメラの映像が出力されます。

2. メニュー画面を表示

(☞70 ページ *2.*～ *4.*)

MENU ボタン(3 秒)→PAN/TILT レバーで CAMERA 項目選択 → SET ボタン

3. PAN/TILTレバーを上下に動かし、カーソル(>)をカメラタイトル／アラーム項目に移動し、セットボタンを押す

カメラタイトル／アラーム画面が表示されます。

4. カメラタイトル編集にカーソル(>)があることを確認し、SETボタンを押す

- カメラタイトル画面が表示されます。
- キャラクター部とタイトル入力部の1文字目が点滅し入力状態となります。

5. PAN/TILTレバーを上下左右に動かし、キャラクター部から1文字目を選択する

- 選択した文字は点滅表示します。
- 選択した文字はタイトル入力部に表示されます。

6. TELEボタンを押す

- タイトルの1文字目が確定し、2文字目が入力状態となります。
- WIDEボタンを押すと、タイトル入力部の点滅位置が左に移動します。設定したタイトルを修正するときに使用します。

7. *5.*～*6.*を繰り返す

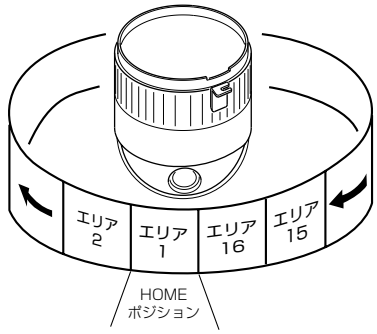
カメラタイトルを全て入力します。

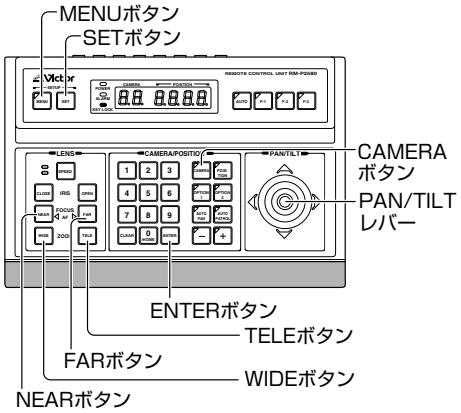
8. MENUボタンを押す

- 上位メニュー画面が表示されます。
- 複数のカメラタイトルを設定する場合は、*1.*～*7.*を繰り返しおこなってください。

エリアタイトルの設定

360°のパンニング(水平回転)範囲を 16 エリアに等分割し、カメラを手動で回転させるとき、エリアタイトルを画面に表示します。各エリアに 16 文字まで設定できます。(エリアタイトル表示の入 / 切 ☞73 ページエリアタイトル項目)



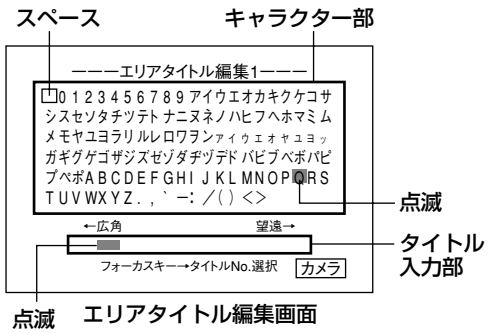



```
        ーーーメニューーーー
    カメラ機能. .
>   カメラタイトル／アラーム. .
    カメラALC／映像. .
    ヤカンモード. .
    オートパン／パトロール／トレース. .
    ポジション機能. .
    データクリア. .
```

メニュー画面

```
    ーーーカメラタイトル／アラームーーーー
    カメラタイトル編集. .
    エリアタイトル                OFF
>   エリアタイトル編集. .
    アラームタイトルサイズ        大
    アラームタイトルカラー        シロ
    リモコンアラームタイトル編集. .
    カメラアラーム出力. .
```

カメラタイトル／アラーム画面



1. カメラを選択(☞ RM-P2580「取扱説明書」)
CAMERAボタン→テンキーボタン（カメラ番号)→ENTERボタン

選択カメラの映像が出力されます。

2. メニュー画面を表示(☞70 ページ *2.* ～ *4.*)
MENUボタン（3 秒）→PAN／TILTレバーでCAMERA項目選択→SETボタン

3. PAN／TILTレバーを上下に動かし、カーソル(>)をカメラタイトル／アラーム項目に移動し、セットボタンを押す

カメラタイトル／アラーム 画面が表示されます。

4. エリアタイトル編集項目にカーソル(>)を移動し、SET ボタンを押す

・エリアタイトル 1 画面が表示されます。
(ホームポジションはエリアタイトル 1 に対応)
・キャラクター部とタイトル入力部の 1 文字目が点滅し、入力状態となります。

5. PAN ／ TILT レバーを上下左右に動かし、キャラクター部から 1 文字目を選択する

・選択した文字は点滅表示します。
・選択した文字はタイトル入力部に表示されます。

6. TELE ボタンを押す

・タイトルの 1 文字目が確定し、2 文字目が入力状態となります。
・WIDE ボタンを押すと、タイトル入力部の点滅位置が左に移動します。設定したタイトルを修正するときに使用します。

7. FAR ボタンを押す

・カメラが次のエリアに移動し、エリアタイトル2画面が表示されます。
・NEAR ボタンを押すと前のエリアに戻り、前のエリアタイトル 1 画面が表示されます。

8. *5.* ～ *7.* を繰り返す

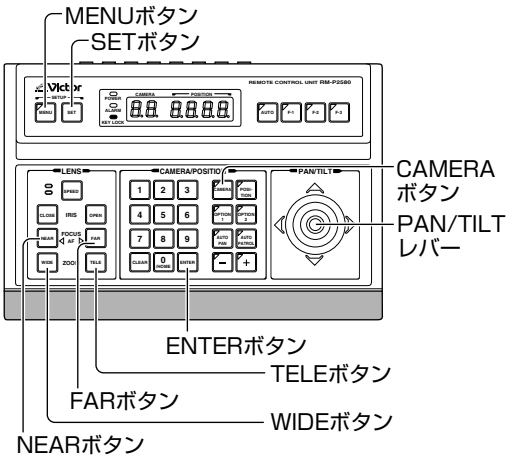
・全てのエリアタイトルを入力します。

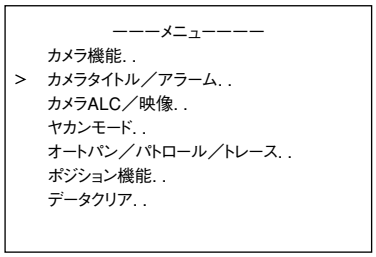
9. MENU ボタンを押す

・上位メニュー画面が表示されます。

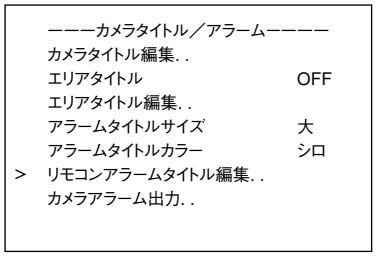
リモコンアラームタイトルの設定

RM-P2580の背面パネルのアラーム入力端子へアラーム入力時､表示するタイトルを設定します。タイトルは 10 種類(リモコンアラームタイトル 1 ～ 10)設定でき、それぞれ 12 文字設定できます。

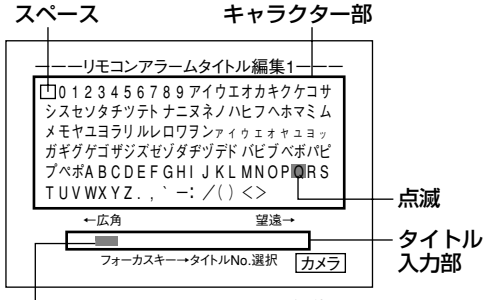




メニュー画面



カメラタイトル／アラーム画面



リモコンアラームタイトル編集画面

点滅

1. カメラを選択(☞ RM-P2580「取扱説明書」)
CAMERA ボタン→テンキーボタン(カメラ番号)→ ENTER ボタン

選択カメラの映像が出力されます。

2. メニュー画面を表示(☞70 ページ *2.* ～ *4.*)
MENUボタン（3 秒）→PAN／TILTレバーでCAMERA項目選択→SETボタン

3. PAN ／ TILT　レバーを上下に動かし、カーソル(>)をカメラタイトル／アラーム項目に移動し、SETボタンを押す

カメラタイトル／アラーム 画面が表示されます。

4. リモコンアラームタイトル編集項目にカーソル(>)を移動しSETボタンを押す

・リモコンアラームタイトル 1 画面が表示されます。
・キャラクター部とタイトル入力部の 1 文字目が点滅し、入力状態となります。

5. PAN ／ TILT レバーを上下左右に動かし、キャラクター部から1文字目を選択する

・選択文字は点滅表示します。
・選択文字はタイトル入力部に表示されます。

6. TELE ボタンを押す

・タイトルの 1 文字目が確定し、2 文字目が入力状態となります。
・WIDE ボタンを押すと、タイトル入力部の点滅位置が左に移動します。設定したタイトルを修正するときに使用します。

7. FAR ボタンを押す

・次のアラーム入力(リモコンアラームタイトル 2)画面が表示されます。
・NEAR ボタンを押すと、前のアラーム入力画面に戻ります。

8. *5.*～*7.* を繰り返す

・全てのアラーム入力画面(リモコンアラームタイトル1 ～ 10)において、タイトルを設定します。

9. MENU ボタンを押す

上位メニュー画面が表示されます。

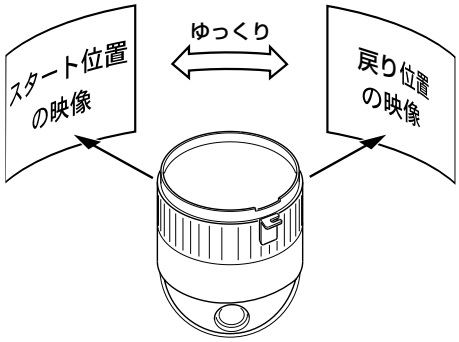
アラーム時に設定したタイトルを表示させるには、RM-P2580 のメニュー設定が必要です。

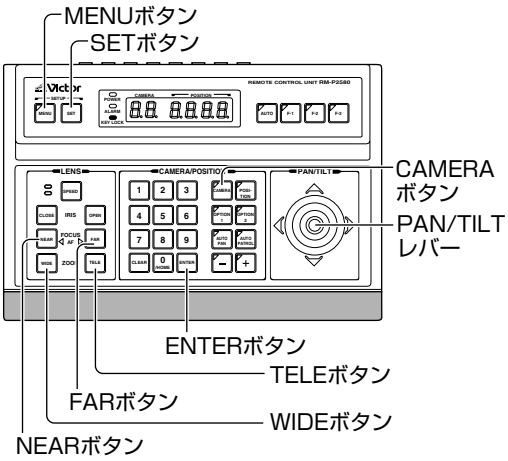
1. MENU ボタンを 3 秒間押し、リモコン(RM-P2580)の SETUP 画面を表示する。
2. リモコンの CONTROL UNIT 画面→ DATA I/O 画面→ INPUT ASSIGMENT 画面の順に画面を選択する。
3. リモコンのALARM TEXT項目でEDIT1を選択すると､リモコンアラームタイトル1で設定したタイトルがモニターに表示されます。

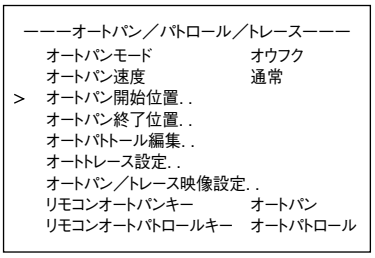
※アラーム信号は、RM-P2580 背面部　DATA　I/O 端子から入力します。

オートパンの設定

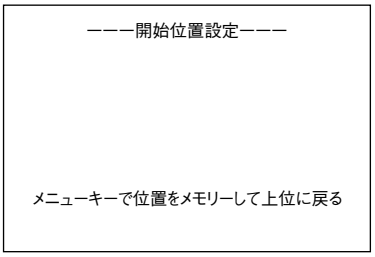
ゆっくり水平方向に回転するオートパン機能を設定します。
オートパンモードには、2 点間をオウフク，右回転，左回転の 3 つのモードがあります。



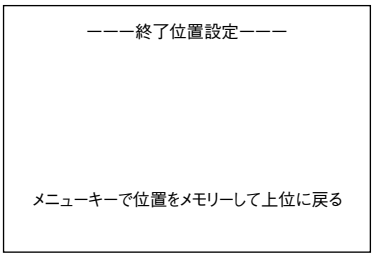




オートパン／トレース画面



開始位置設定画面



終了位置設定画面

1. カメラを選択(☞RM-P2580「取扱説明書」)

CAMERA ボタン → **テンキー**ボタン(カメラ番号) → ENTER ボタン

選択カメラの映像が出力されます。

2. メニュー画面を表示 (☞70 ページ *2.* ～ *4.*)

MENU ボタン(3 秒)→PAN/TILT レバーで CAMERA 項目選択 → SET ボタン

3. PAN/TILTレバーを上下に動かし、カーソル(>)をオートパン/パトロール/ トレース項目に移動し、SETボタンを押す

オートパン／パトロール／トレース画面が表示されます。

4. モードとスピードを設定

- オートパンモード項目でオートパンの動作を設定します。
  オウフク(2 点間の往復)、右回転、左回転
- オートパン速度項目で、オートパンの回転速度を設定します。
  低速、中速、高速

5. オートパン開始位置項目にカーソル(>)を移動し、SETボタンを押す

開始位置設定画面が表示されます。

6. スタート位置の画角を合わす

- PAN/TILTレバー、FOCUS、ZOOMボタンで画面を合わせます。
- 戻り位置で上下方向およびFOUCUS、ZOOMなどのレンズ操作はおこなえません。

7. MENUボタンを押す

- オートパン／パトロール／トレース画面に"データをメモリーしました"と表示されスタート位置の画角が登録されます。

8. オートパン終了位置項目にカーソル(>)を移動しSETボタンを押す(オウフクモードのみ)

終了位置設定画面が表示されます。

9. 戻り位置の画角を合わす(オウフクモードのみ)

左右パン方向にカメラを移動し、画角を合わせます。

MEMO

- 戻り位置での上下(チルト)方向の移動およびレンズ操作はおこなえません。
- カメラが移動中に、SETボタン、またはMENUボタンを押すと、正しい設定データが書き込まれません。必ずカメラが停止していることを確認してからSETボタンまたはMENUボタンを押してください。

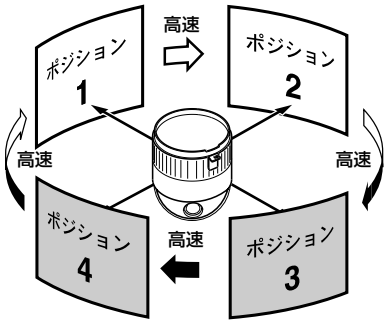
10. MENUボタンを押す

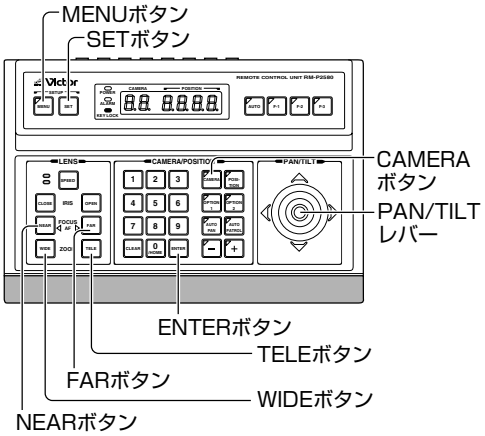
上位メニュー画面にもどります。

設定後、カメラをオートパン動作させるには、RM-P2580 の AUTO PAN ボタンを押します。
☞ RM-P2580 取扱説明書「オートパン動作」

オートパトロールの設定

複数のポジションを高速で移動するオートパトロール機能を設定します。
モード 1 ～ 3、各モード にパトロール 1 ～ 64 まで設定できます。（モード は曜日や時間帯、例えばモード 1 は夜、モード 2 は昼のように設定すると便利です。）






```
―――オートパン／パトロール／トレース―――
    オートパンモード              オウフク
    オートパン速度                通常
    オートパン開始位置. .
    オートパン終了位置. .
>   オートパトロール編集. .
    オートトレース設定. .
    オートパン／トレース映像設定. .
    リモコンオートパンキー        オートパン
    リモコンオートパトロールキー  オートパトロール
```

オートパン／パトロール／トレース画面

```
―――オートパトロール　モード1―――
>   パトロール1     ホーム          10秒
    パトロール2     ポジション1     10秒
    パトロール3     ポジション2     10秒
    パトロール4     ポジション3     10秒
    パトロール5     ポジション4     10秒
    パトロール6     ポジション5     10秒
    パトロール7     ポジション6     10秒
    パトロール8     ポジション7     10秒
ズームキー→ページ移動　フォーカスキー→モード選択
```

オートパトロール　モード1画面
（パトロール1～8表示例）

```
―――オートパトロール　モード1―――
>   パトロール9     ホーム          10秒
    パトロール10    ポジション8     10秒
    パトロール11    ポジション9     10秒
    パトロール12    ポジション10    10秒
    パトロール13    ポジション11    10秒
    パトロール14    ポジション12    10秒
    パトロール15    ポジション13    10秒
    パトロール16    ポジション14    10秒
ズームキー→ページ移動　フォーカスキー→モード選択
```

オートパトロール　モード1画面
（パトロール9～16表示例）

1. **カメラを選択(☞ RM-P2580「取扱説明書」)**
CAMERA ボタン→ **テンキー**ボタン(カメラ番号)→ ENTER ボタン
選択カメラの映像が出力されます。

2. **メニュー画面を表示(☞70 ページ *2.*～ *4.*)**
MENU ボタン（3 秒）→PAN/TILT レバーで CAMERA 項目選択 → SET ボタン

3. **PAN/TILTレバーを上下に動かしカーソル(>)をオートパン／パトロール／トレース項目に移動し、SET ボタンを押す**
オートパン／パトロール／トレース画面が表示されます。

4. **オートパトロール項目にカーソル(>)を移動し、SET ボタンを押す**
オートパトロール 1 画面が表示されます。

5. **PAN/TILT レバーを上下に動かし、カーソル(>)を設定したいパトロール番号に移動する**
・次の設定ページ(パトロール 9～16)を表示するには **TELE** ボタンを押します。
・前のページを表示するには、**WIDE** ボタンを押します。

6. **ポジションを設定する**
POSITION ボタン→ **テンキー**ボタン(ポジション番号)→ENTER ボタン
・初期設定値はパトロール 1 ～64 にホーム～63 が順番に設定されています。

7. **時間を設定する**
・PAN/TILT レバーを左右に動かし、時間を設定します。(秒, 分)
・選択できる時間 : スキップ、10 秒、20 秒、30 秒、40 秒、1 分、2 分（スキップを設定すると、オートパトロール時スキップ(とばされ)され、選択されません）
・初期設定値は全て 10 秒に設定されています

8. ***5.*** **～** ***7.*** **を繰り返す**
・全てのパトロール番号のポジションと時間を設定します。

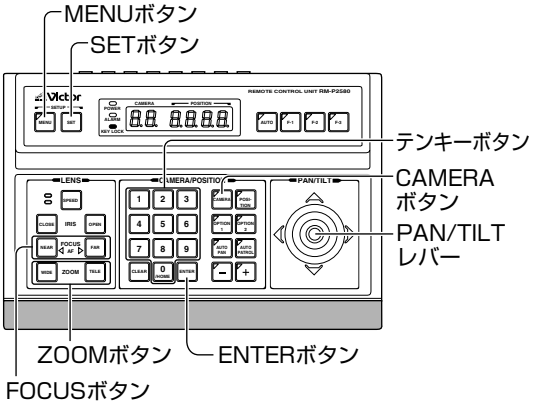
9. **モードを切換える**
・FAR ボタン、NEAR ボタンでモードを切り換えます。
・モードを切換えたら、***5.*** ～ ***8.*** を繰り返してください。

10. **MENU ボタンを押す**
上位メニューに戻ります。

・設定後、カメラをオートパトロールさせるには、RM-P2580 の AUTO PATROL ボタンを押します。
・設定後、オートパトロールのモードを切換えるにはオートパトロールモード画面を表示し、FARボタンNEARボタンでおこなってください。
・オートパトロールはRM-P2580からのみ設定できます。他のリモートコントロールユニットのオートシーケンス動作とは異なります。

オートトレースの設定

手動でカメラ操作した内容を再現するオートトレース機能(約 30 秒間)を設定します。



---メニュー---
カメラ機能. .
カメラタイトル／アラーム. .
カメラALC／映像. .
ヤカンモード. .
> オートパン／パトロール／トレース. .
ポジション機能. .
データクリア. .

---オートパン／パトロール／トレース---
オートパンモード　オウフク
オートパン速度　通常
オートパン開始位置. .
オートパン終了位置. .
オートパトトール編集. .
> オートトレース設定. .
オートパン／トレース映像設定. .
リモコンオートパンキー　オートパン
リモコンオートパトロールキー　オートパトロール

---オートトレース設定---
セットキー→メモリー開始

---オートトレース設定---
メモリー中です

1. カメラを選択(☞RM-P2580「取扱説明書」) CAMERAボタン→テンキーボタン(カメラ番号)→ ENTER ボタン

選択カメラの映像が出力されます。

2. メニュー画面を表示(☞70 ページ *2.* ～ *4.*)MENU ボタン(3 秒)→ PAN ／ TILT レバーで CAMERA 項目選択→ SET ボタン

3. PAN／TILTレバーを上下に動かし、カーソル(>)をオートパン／パトロール／トレース項目に移動し、SETボタンを押す

オートパン／パトロール／トレース 画面が表示されます。

4. カーソルをオートトレース設定項目に移動し、SETボタンを押す

オートトレース設定 画面が表示されます。

5. 開始位置の設定

PAN/TILT レバー、FOCUS, ZOOM ボタンなどでオートトレース機能の開始位置を設定します。

6. SET ボタンを押す(記憶開始)

- オートトレース記憶状態となりますので、PAN/TILT レバー、FOCUS, ZOOM ボタンでカメラを操作します。
- オートトレース機能は最大約 3 0 秒間記憶され、その間“メモリー中です”と表示されます。
- 約 30 秒経過後、自動的に記憶は終了します。
- 30 秒以内に記憶を終了する場合のみ 7. をおこなってください。
- 操作する内容により、記憶する時間は短くなることがあります。(最小約 10 秒)

7. SET ボタンを押す(記憶終了)

- オートトレース記憶状態は終了します。

8. MENU ボタンを押す。

オートパン／パトロール／トレース 画面にもどります。

MEMO

- 電子ズームは最大2倍まで設定・動作できます。

オートトレース動作をさせるには

設定後カメラをオートトレース動作させるには、まず RM-P2580 の AUTO PAN あるいは AUTO PATROL ボタンにオートトレース機能を設定する必要があります。

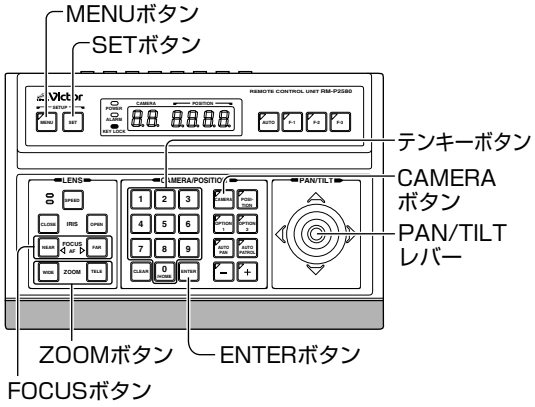
☞76 ページ「リモコンオートパンキー 項目、リモコンオートパトロールキー項目」

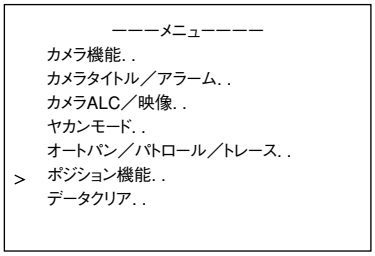
オートトレース機能を設定したボタンを押すと、ボタンランプが点灯し、オートトレース動作を開始します。オートトレース動作は動作終了後 30 秒間停止したのち繰り返し動作します。

動作を終了するには、オートトレース機能を設定したボタンをもう一度押しボタンランプを消灯させます。

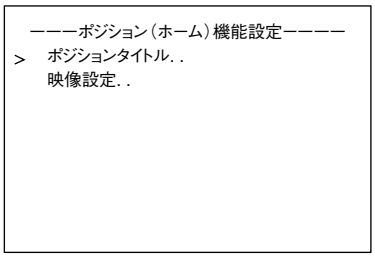
ポジションタイトルの設定

ポジション選択時に表示するタイトルを設定します。
各ポジションごとに 16 文字まで設定できます。

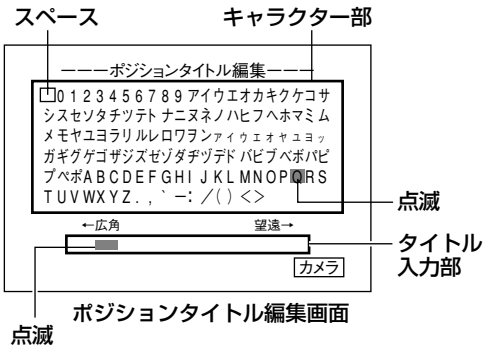




メニュー画面



ポジション機能設定画面



ポジションタイトル編集画面

〈ポジションタイトルを設定する前に必ずポジションを設定してください〉

1. カメラを選択（☞RM-P2580「取扱説明書」）
CAMERAボタン→テンキーボタン（カメラ番号）→ENTER ボタン

2. メニュー画面を表示（☞70ページ*2.*～*4.*）MENUボタン（3秒）→PAN／TILTレバーでCAMERA項目選択→SETボタン

3. PAN/TILTレバーを上下に動かし、カーソル（>）をポジション機能 項目に移動し、SETボタンを押す
ポジション機能設定 画面が表示されます。

4. ポジションタイトル 項目にカーソル（>）があることを確認し、SET ボタンを押す
・ポジションタイトル 画面が表示されます。
・キャラクター部とタイトル入力部の 1 文字目が点滅し、入力状態となります。

5. ポジションを選択(☞RM-P2580「取扱説明書」)
POSITIONボタン→_テンキーボタン（ポジション番号）→ENTER ボタン
・選択ポジションの映像が出力します。
・次のポジションは、＋ボタンでも選択できます。

6. PAN/TILTレバーを上下左右に動かし、キャラクター部から1 文字目を選択する
・選択文字は点滅表示します
・選択文字はタイトル入力部に表示されます。

7. TELEボタンを押す
・タイトルの 1 文字目が確定し、2 文字目が入力状態となります。
・WIDE ボタンを押すと、タイトル入力部の点滅位置が左に移動します。設定したタイトルを修正するときに使用します。

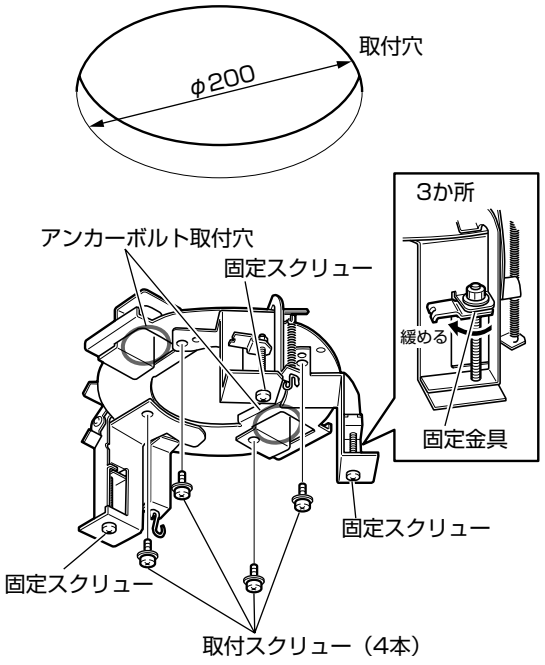
8. *5.*～ *7.*を繰り返す
・次のポジションを選択すると“データをメモリーしました”と3秒間表示されポジションタイトルは登録されます。
・全てのポジションにおいてタイトルを設定します。

9. MENU ボタンを押す
上位メニューに戻ります。

その他

天井埋込ブラケット(WB-S575：別売)の取り付け方

天井埋込ブラケット（WB-S575：別売）を使って、カメラを天井に埋め込むことができます。
天井材は厚さ 5mm ～ 31mm を使用してください。

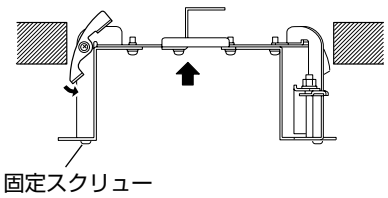


1. 穴(φ 200)を天井にあける

2. 準備する

・固定スクリューをいっぱいに緩めます。(反時計方向)
・固定金具を図のように内側に寄せます。
・取付スクリュー４本をはずします。

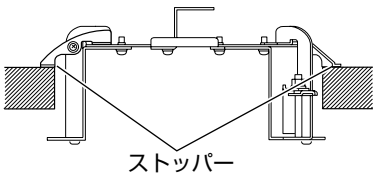
(1)



3. 固定する

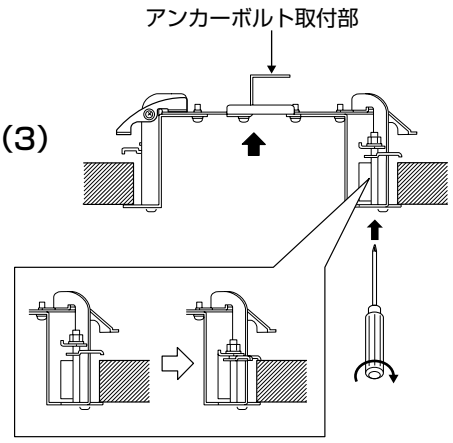
(1) 天井埋込ブラケットを天井に埋込みします。

(2)



(2) ストッパーが天井裏にかかっていることを確認する。

(3)



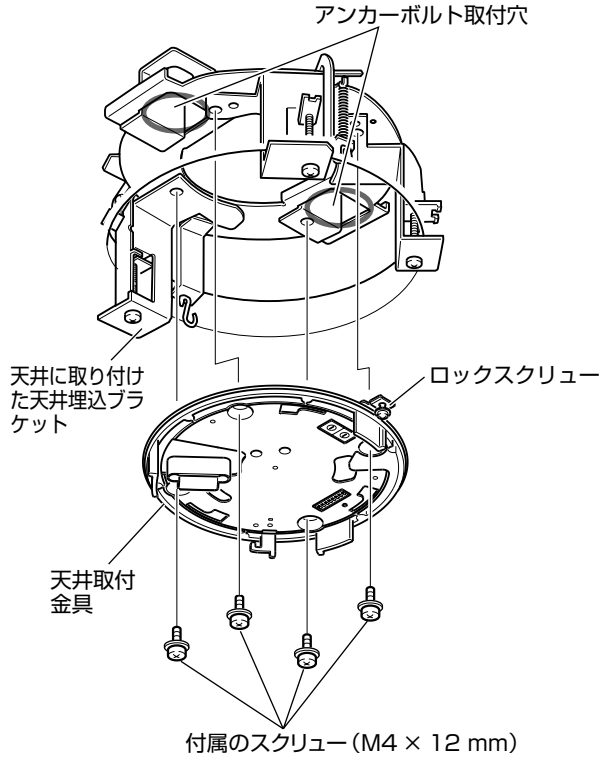
(3) 天井埋込ブラケットをいっぱいまで押し上げて固定スクリュー３ヶ所を締め付けます。(時計方向)

⚠注意

- 固定金具を天井に確実にはさみ込ませてください。
- 締め付けてもガタがあるようでしたら、固定スクリューを一度いっぱいまで緩めてから再度締めつけてください。

アンカーボルトも利用できる場合、アンカーボルトにM8～M10(または 3/8 インチ)のナットで取り付けます。

天井埋込ブラケット（WB-S575:別売）の取り付け方（つづき）



4. 天井取付金具にケーブル類を接続する

☞15 ページ「ケーブルの接続」

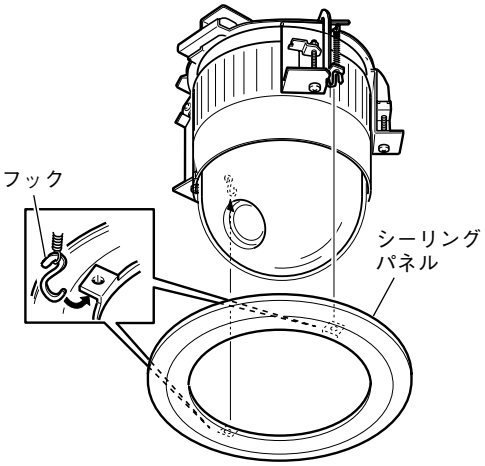
5. 天井取付金具に落下防止ワイヤーを付ける

万一の落下に備え、天井スラブまたはチャンネルと天井取付金具をワイヤーで接続してください。
天井取付金具とワイヤーの接続は、安全ワイヤー取付穴をご利用ください。

☞17 ページ「***1.*** 落下防止ワイヤーをつける」

6. 天井取付金具を天井埋込ブラケットに取り付ける

- 接続ケーブルをはさみ込まない様に注意して、天井取付金具を天井埋込ブラケットに取り付けます。
- 付属のスクリュー（M4×12 mm）4本を必ず使用してください。***2.*** ではずしたスクリューを使用すると、カメラが正しく取り付かず落下の危険があります。
- 天井埋込ブラケットのアンカーボルト取付穴に、天井取付金具のロックスクリューがくるように取り付けてください。



7. カメラ本体を天井取付金具に取り付ける

☞17 ページ「カメラの取り付け」

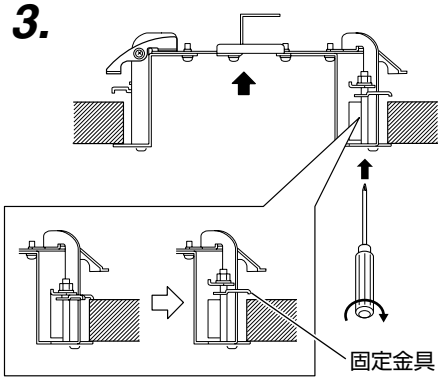
8. シーリングパネルを取り付ける

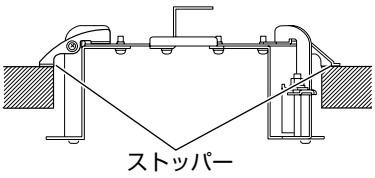
天井埋込ブラケット付属の**シーリングパネル**を 2 ヵ所のフックで片側ずつ引っ掛けます。

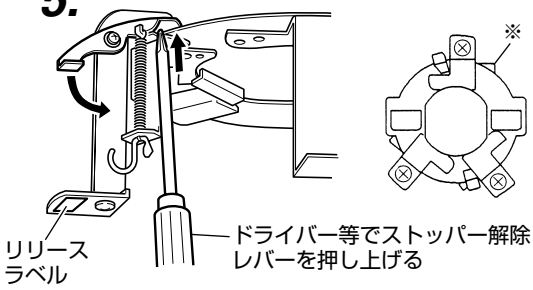
MEMO

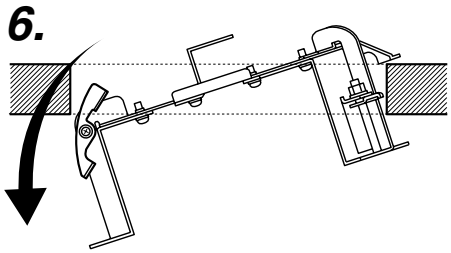
天井埋込ブラケット、および天井取付金具の落下防止は、天井構造物と絶縁できるようにしてください。
天井構造物が金属の場合、カメラと絶縁をとらないと映像にノイズが入ることがあります。

天井埋込ブラケット(WB-S575：別売)のはずし方









〈リリースラベルをよくご覧のうえはずしてください。〉

1. シーリングパネルを取りはずす

シーリングパネルを引っ張り、2ヵ所のフックをはずします。

2. カメラ本体を取りはずす

取り付けと逆の手順でカメラ本体を取りはずします。

☞16ページ「カメラの取り付け」

3. 天井埋込ブラケットの固定スクリューを緩める

・3ヵ所の固定スクリューを緩めます。(反時計方向)

・固定金具が内側に寄っていることを確認してください。

4. ストッパーが天井裏にかかるまで下げる

5. ※部のストッパー解除レバーをドライバーで押し上げる

・落下しないよう下からささえながら、ストッパー解除レバー3ヵ所のうち、※の1ヵ所をドライバーなどで押し上げます。

・天井が厚くはずしにくいときは、2ヵ所(※を含む)を押し上げてください。

6. 天井穴より抜きとる

天井埋込ブラケットを傾け、斜め下に動かして取付穴より抜きとります。

間違った設定をした場合の表示について

RM-P2100(C)を使用して**TK-S655**の設定を変える場合は、パスワード「1、1、1、1」でメニュー画面を開く必要があります。あやまってパスワード「2、2、2、2」で開いた場合や、**TK-S655**以外のカメラ設定の後に“送る”ボタンで**TK-S655**を選択した場合、メニュー画面の項目名と設定値は下記のように異なります。

（正しい設定の場合、メニュー画面に **カメラ** と表示され、あやまった設定の場合は何も表示されません。）

正しい設定 (パスワード「1111」) メニュー画面に **カメラ** 表示あり		誤った設定 (パスワード「2222」) メニュー画面に **カメラ** 表示なし		正しく設定した後に、誤った設定でメニュー画面を開くと、下記表示となります。
項 目 名	設 定 値	項 目 名	設 定 値	
AGC モード	OFF, 10 dB, 20 dB, スーパー	**AGC モード**	OFF, 10 dB, 20 dB	スーパーは10 dBと表示されます。
カラーレベル	−5, −4, −3, −2, −1, ノーマル , 1, 2, 3, 4, 5	**カラーレベル**	0, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10	−5は0と表示、−4は1と表示、ノーマルは5と表示、5は10と表示されます。
エンハンスレベル	−5, −4, −3, −2, −1, ノーマル , 1, 2, 3, 4, 5	**エンハンサー**	LOW/HIGH	• −5〜−1は、LOWと表示されます。 • 1 〜 5、ノーマルはHIGHと表示されます • LOWと設定した場合は−5となります。 • HIGHと設定した場合はノーマルとなります。
シャッター	1/60,1/100,1/250, 1/500,1/1000, 1/2000,1/4000, 1/10000	**シャッター**	NORMAL, 1/100, 1/125, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000, 1/4000, 1/10000	• 1/125 で設定した場合は 1/100 で動作します。 • ExDR項目をONに設定した場合は、NORMALあるいは1/60, 1/100のみ有効です。 • 電子増感項目を OFF 以外に設定した場合は、NORMAL あるいは 1/60, 1/100 のみ有効です。
AVERAGE : PEAK	10:0, 9:1, 8:2, 7:3, 6:4, 5:5	**AV/PK レベル**	10/0, 9/1, 8/2, 7/3, 6/4, 5/5	
BLC	(なし)	**BLC モード**	OFF, AREA1, AREA2, AREA3, AREA4	• 誤った設定において、ホームポジションの映像設定でも BLC を設定した場合、ExDR 項目を ON にすると、表示は、切り換わりますが、BLC モードは機能しません。
プリセットタイトル	<番号>, <PO->, <NO.> NUMBER, NONE	**プリセットタイトル**	バンダイ , PO-, NO., 番号のみ , なし	

■メニュー表示について

メニュー内容によっては、**TK-S655** のメニュー中(パスワード「1、1、1、1」)に「送る」、「戻る」ボタンを押すと次のカメラ、前のカメラへ移動できます。

この時、

- **移動先カメラが TK-S576, TK-S576B, TK-S655 の場合**
  59 ページ手順 ***5.*** のメニュー画面が表示されます。
- **移動先カメラが TK-S576, TK-S576B, TK-S655 以外の場合**
  画面左下に **カメラ** が表示されますが、メニュー画面は表示されません。
  この時、メニューボタンを押すと、パスワード画面にもどります。

故障かな？と思ったら

症　　状	原因（インフォメーション）	処　　置
電源が入らない	● 天井取付金具の端子台へケーブル類が正しく接続されていますか？	● ケーブル類を正しく接続します。
一旦電源が入るが、回転台が動作すると電源がすぐ落ちる	● 本機と電源ユニット間のケーブルに問題はありませんか？ （ケーブルが長すぎたり、細いものを使用するとケーブルの抵抗値が大きくなり回転台動作中電流が流れ電圧が低下してしまいます。）	● 電源ケーブルの抵抗値を低いもの（太いもの、短かいもの）にかえてください。

CCU接続システムの場合

症　　状	原因（インフォメーション）	処　　置
映像が出ない	● CCU、電源ユニットの両方の電源が“入”となっていますか？ （本機はCCU、電源ユニットの両方の電源が“入”となってはじめて映像が出力します。CCUの電源を“入”にしただけでは映像は出力しません。）	● CCU、電源ユニット両方の電源が“入”となっているか確認してください。
	● 本機と電源ユニットを接続する電源ケーブルに問題はありませんか？ （電源ケーブルが長すぎたり又は細いとケーブルの抵抗値が大きくなり正しい電圧が供給されない可能性があります。）	● 抵抗値の低いケーブルを正しいケーブル長で接続してください。 （本機の動作中（定格電流が流れた状態）にて本機端子での供給電圧が定格の電圧となっていることを確認してください。）
映像の同期がみだれる	● 使用ケーブル長に応じて、設定スイッチ1,2の設定が正しくおこなわれていますか？	● 使用ケーブル長により**設定スイッチ**を切り換えてください。（☞13ページ）
● リモコンの操作がきかない **● リモコンの操作に対し、カメラの動作がスムーズでない** **● パン／チルトレバーの操作はできるが、メニュー画面が表示できない**	● 設定スイッチ4, 5の設定が正しくおこなわれていますか?	● スイッチを正しく設定します（☞13ページ）

CCU非接続システムの場合

症　　状	原因（インフォメーション）	処　　置
映像が出ない **電源が入らない**	● 電源ケーブルの太さは十分ですか？	● 正しい太さのケーブルを使ってください（☞15ページ）
	● スイッチ7は“ON”になっていますか？	● “ON”に設定します（☞13ページ）
● リモコンの操作がきかない **● リモコンの操作に対し、カメラの動作がスムーズでない** **● パン／チルトレバーの操作はできるが、メニュー画面が表示できない**	● 設定スイッチ 4, 5, 8 の設定が正しくおこなわれていますか?	● スイッチを正しく設定します（☞13ページ）
	● 制御信号ケーブルの接続は正しくおこなわれていますか？	● ケーブルをを正しく接続します（☞15ページ）

SW-2600システムの場合

症　　状	原因（インフォメーション）	処　　置
映像が出ない	● SW-2600、電源ユニットの両方の電源が“入”となっていますか? （本機はSW-2600、電源ユニットの両方の電源が“入”となってはじめて映像が出力します。SW-2600の電源を“入”にしただけでは映像は出力しません。）	● SW-2600、電源ユニット両方の電源を“入”にします。
	● 本機と電源ユニットを接続する電源ケーブルに問題はありませんか? （電源ケーブルが長すぎたり又は細いとケーブルの抵抗値が大きくなり正しい電圧が供給されない可能性があります。）	● 抵抗値の低いケーブルを正しいケーブル長で接続してください。 （本機の動作中（定格電流が流れた状態）にて本機端子での供給電圧が定格の電圧となっていることを確認してください。）
SW-2600の過電流保護回路が動作し、カメラの電源が入らない （**画面に“カデンリュウを検出しました!”と表示される**）	● 天井取付金具の設定スイッチ7の設定は正しくおこなわれていますか？	● スイッチを正しく設定します。 スイッチ7“OFF” （☞13ページ）
● リモコンの操作がきかない **● リモコンの操作に対し、カメラの動作がスムーズでない** **● パン／チルトレバーの操作はできるが、メニュー画面が表示できない**	● 設定スイッチ4, 5の設定が正しくおこなわれていますか? ● RM-P2600のメニューでカメラタイプの設定が“通信制御カメラ”に設定されていますか？	● スイッチを正しく設定します （☞13ページ） ● カメラタイプの設定を“通信制御カメラ”に設定します。 （☞ RM-P2600「取扱説明書」）

保証とアフターサービス

保証書の記載内容ご確認と保存について

この商品には保証書を別途添付してあります。保証書はお買い上げ販売店でお渡ししますので、所定事項の記入及び記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

● 保証期間について

保証期間はお買い上げ日より1年間です。
保証書の記載内容によりお買上げ販売店が修理いたします。なお、修理保証以外の補償はいたしかねます。
故障その他による営業上の機会損失は補償致しません。その他詳細は保証書をご覧ください。

● 消耗部品について

下表は消耗部品の一覧です。これらの部品の交換にともなう部品代および技術料、出張料を含む修理費用は保証期間内でも有償となります。

部品名	備　考
撮像素子(CCD等)	一年保証のみ。 追加延長保証の対象外です。
ズームレンズ組み立て スリップリング 冷却ファン アラーム出力1用リレー	消耗部品

● 保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料にて修理いたします。

● メンテナンス契約のご案内

本機は、機械的可動部分を持つため定期的な保守、点検が必要です。安心してご使用いただくためメンテナンス契約されることをおすすめします。詳しくはお買い上げの販売店又は最寄りのビクターサービスにご相談ください。

● アフターサービスについてのお問い合わせ先

その他アフタサービスについてご不明の点は、お買上げ販売店又は別紙ビクターサービス窓口ご案内をご覧のうえ、最寄りのビクターサービス窓口にご相談ください。

修理を依頼されるときは

調子が悪いときは、この取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。簡単な調整で直ることがあります。それでも具合が悪いときは、お買上げ販売店又はビクターサービスにご相談ください。

・機種名：TK-S655
・故障の状態をできるだけ詳しく：
・ご購入年月日：
・ご住所、ご氏名、電話番号

商品廃棄について

この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例にしたがって適正に処理してください。

仕様

カメラ部

撮像素子	1/4型、インターライン転送方式CCD 768(H)×494(V)
同期方式	外部同期(専用CCUからの特殊複合同期信号による) 内部同期
映像出力	CCU接続時　：専用CCUに適合 CCU非接続時：VBS 1V(p-p)75 Ω
走査周波数	水平15.734 kHz、垂直59.94 Hz
S/N	50 dB(標準)(AGC:OFF、エンハンサ:−5)
最低被写体照度	カラー時： 2.0 lx　(50%出力, AGC 20 dB, WIDE端) 0.07 lx (50%出力, AGC 20 dB, WIDE端, 電子感度アップ32倍) 0.6 lx　(25%出力, AGC 20 dB, WIDE端, 電子感度アップ2倍) 白黒時： 0.06 lx (50%出力, AGC 20 dB, WIDE端)
ダイナミックレンジ	50 dB(ExDR時)
ホワイトバランス	TTL自動追尾／手動
電子シャッター	1/60秒(標準) 1/100秒(50 Hzフリッカーレス)
逆光補正	可、測光エリアは4ヵ所を選択可
カラーレベル調整	可
輪郭補整	水平、垂直両効き(レベル調整可)

レンズ部

ズーム比	約25倍(電子ズーム時：約50倍)
焦点距離	3.8 mm～95 mm
最大口径比	F1.6(WIDE)～F3.7(TELE)

回転台部

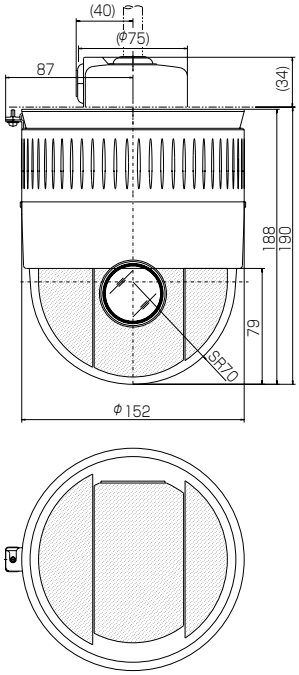
水平回転範囲	360°エンドレス旋回
水平回転速度	1°/秒～300°/秒
垂直回転範囲	0°～180°(水平～真下～水平)
垂直回転速度	1°/秒～180°/秒

総　合

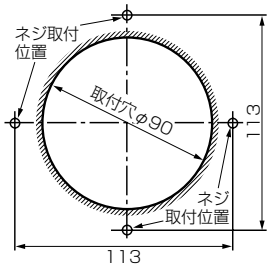
電源	AC24 V　18 W (CCU:DC15 V～DC21 V, 28 mA)
プリセットポジション数	64
適合コントロールユニット	RM-P2200, RM-P2100, RM-P2580, RM-P2600
周囲温度	−10 ℃～50 ℃(動作) 0 ℃～40 ℃(推奨)
湿度	35%～90%RH(結露なきこと)
防滴性	JIS防滴Ⅱ型(IP52)
質量	2.4 kg
添付物・付属品	取扱説明書 ..... 1 保証書 ..... 1 ビクターサービス窓口案内 ..... 1 天井取付金具 ..... 1 スクリュー(M3×12 mm) ..... 1 スクリュー(M4×12 mm) ..... 4 ケーブル取付金具 1

仕様（つづき）

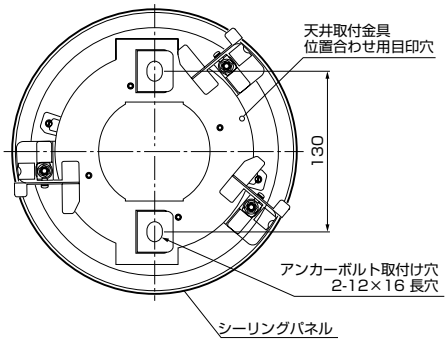
●外形寸法図　[単位：mm]



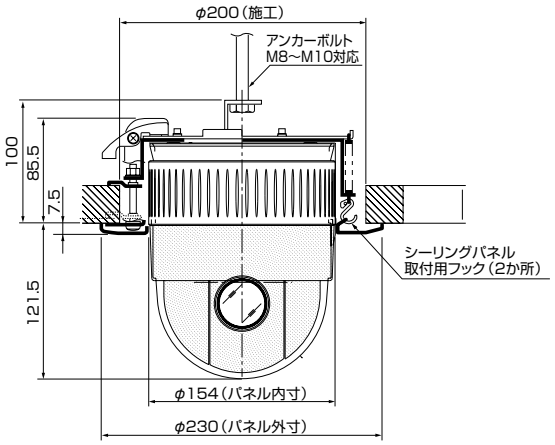
●天井取付穴



● WB-S575
（天井埋込ブラケット＋シーリングパネル）

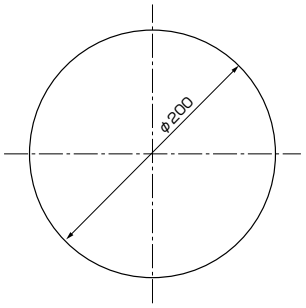


● WB-S575 を組み合わせた寸法



● WB-S575 天井取付穴

天井取付け穴（板厚:5 mm - 31 mm）



※本機ならびに関連商品の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

TK-S655　コンビネーションカメラ

お客様ご相談センター

フリーダイヤル
0120－2828－17

携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は

電話 (045)450-8950［代表］

FAX (045)450-2275

〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ビクターホームページ　http://www.victor.co.jp/

日本ビクター株式会社

〒192-8620　東京都八王子市石川町2969-2　　電話（0426）60-7203

© 2006 Victor Company of Japan, Limited

LWT0049-001F-H